

2019年度 第1回
歯科衛生士模擬試験

解 答・解 説

—解答・解説の見方—

解説の記載は基本的に①問題に対する総論的解説、②選択肢ごとの○×、③各選択肢の解説という構成になっています。ただし、設問の性質その他によって上記の一部を記載していない問題もあります。

選択肢については内容が正しい肢に○、誤っている肢に×を付しています。

<注意>

選択肢の○×は内容主体に付されています。

正しい選択肢を問う問題については内容の正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

一方、誤っている選択肢を問う問題についても内容が正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

ex.

[正しい選択肢を問う問題の場合]

<p>問 魚類について正しいのはどれか。</p> <p>a 光合成を行う。</p> <p>b えら呼吸を行う。</p> <p>c 羽毛がある。</p> <p>d 胎生である。</p>		<p>解答 b</p> <p>a × 光合成を行うのは植物の性質である。</p> <p>b ○</p> <p>c × 羽毛があるのは鳥類である。</p> <p>d × 胎生は哺乳類の特徴である。</p>
---	--	---

[誤っている選択肢を問う問題の場合]

<p>問 魚類について誤っているのはどれか。</p> <p>a えら呼吸を行う。</p> <p>b 水中を移動する。</p> <p>c 光合成を行う。</p> <p>d 卵を産む。</p>		<p>解答 c</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c × 光合成を行うのは植物の性質である。</p> <p>d ○</p>
--	--	---

正解であるcに“×”が付きます

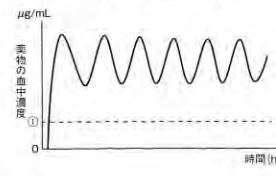
問題 A	解答・解説
人体と歯・口腔の構造と機能	
<p>1 結合組織でみられる細胞について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 肥満細胞は抗体を産生する。</p> <p>b 形質細胞はヒスタミンを産生する。</p> <p>c 線維芽細胞は膠原線維を産生する。</p> <p>d マクロファージ(大食細胞)は老廃物や異物を貪食・処理する。</p> <hr style="border: 0; border-top: 1px dashed #000; margin: 5px 0;"/> <p>▶keyword: 結合組織、線維芽細胞、マクロファージ、形質細胞、肥満細胞、脂肪細胞、膠原線維</p>	<p>解答: c, d</p> <p>結合組織は他の組織を結合し、支持し、強固にし、保護し、区画する。結合組織はさまざまな種類の細胞と、線維と基質からなる細胞外マトリックスからなる。結合組織の細胞には、細胞外基質を産生する線維芽細胞、細菌などの異物と細胞内老廃物を食作用で飲み込んで処理するマクロファージ(大食細胞)、免疫抗体を分泌する形質細胞、炎症反応を引き起こすヒスタミンを産生する肥満細胞、脂質を蓄える脂肪細胞、血液から遊走した白血球が存在する。</p> <p>a × 肥満細胞はアレルギー反応に関与するヒスタミンを産生する。</p> <p>b × 形質細胞は免疫抗体(免疫グロブリン)を産生する。</p> <p>c ○ 線維芽細胞は膠原線維(コラーゲン)、細網線維、弾性線維からなる線維を産生する。</p> <p>d ○ マクロファージ(大食細胞)は組織内の細菌などの異物や老廃物を食作用で処理する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 25-26</p>
<p>2 脊柱を構成する骨の写真(別冊 No.1)を別に示す。</p> <p>この骨の名称はどれか。</p> <p>a 頸椎</p> <p>b 胸椎</p> <p>c 腰椎</p> <p>d 仙骨</p> <hr style="border: 0; border-top: 1px dashed #000; margin: 5px 0;"/> <p>▶keyword: 頸椎、胸椎、腰椎、仙骨、尾骨、脊柱</p>	<p>解答: b</p> <p>脊柱は体の支柱となる骨格で、上下に連結された32~34個の椎骨よりなる。椎骨はその位置と形態により頸椎(7個)、胸椎(12個)、腰椎(5個)、仙椎(5個)、尾椎(3~5個)に分けられるが、成人では仙椎と尾椎はそれぞれ癒合して1個の仙骨と尾骨になる。第3~7頸椎は椎体が全体に比べ小さく、三角形の椎孔は大きく、横突起に横突孔が存在する。胸椎はハート形の椎体と円形の椎孔をもち、発達した横突起と棘突起がみられる。横突起と椎体には肋骨と関節する関節面がみられる。腰椎は体重を支えるために発達した腎臓形の椎体がみられ、肋骨突起(退化した肋骨が癒着したもの)と棘突起がみられる。仙椎は成人では骨結合して三角形の仙骨をつくる。</p> <p>a × 頸椎は小さな椎体と三角形の椎孔をもち、横突起に横突孔が存在する。</p> <p>b ○ ハート形の椎体と円形の椎孔をもち、発達した横突起と棘突起が認められるので胸椎である。</p> <p>c × 腰椎には発達した腎臓形の椎体と肋骨突起や強大な棘突起をもつ。</p> <p>d × 成人では仙椎が癒合して三角形の仙骨をつくっている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 51-52</p>

問題 A		解答・解説
3	<p>下顎を前進させる筋はどれか。</p> <p>a 咬筋 b 側頭筋 c 外側翼突筋 d 内側翼突筋</p> <p>▶keyword: 咀嚼筋、下顎運動</p>	<p>解答: c</p> <p>咀嚼筋の起始、停止、作用、支配神経の知識は、咀嚼を考えるうえで基本的な事項である。筋の起始は動きが少ないほう、あるいは体の中心に近いほうで、停止は動きが大きいほう、あるいは体の中心から遠いほうである。咀嚼筋の場合、起始は頭蓋骨に、停止は下顎骨にある。咀嚼筋のうち、咬筋、側頭筋の前部と中部、内側翼突筋の筋線維は垂直方向に走るので、下顎を挙上する(閉口:抗重力筋)。外側翼突筋の筋線維は水平方向に走るので、両側の筋が収縮すると下顎を前進させる(片側だけの場合は側方運動)。また、側頭筋の後部の筋線維も水平方向に走るので、下顎を後方に引く。支配神経はいずれも三叉神経の下顎神経支配である。</p> <p>a × 咬筋は閉口筋である。頬骨弓から起こり、下顎角外面(咬筋粗面)に付く。 b × 側頭筋は閉口筋である。側頭窩から起こり、下顎骨の筋突起に付く。 c ○ 外側翼突筋は二頭筋で、上頭は蝶形骨の側頭下稜と蝶形骨大翼の側頭下面から、下頭は蝶形骨の翼状突起外側板から起こり、下顎頭の翼状筋窩と関節円板または関節包に付く。筋線維は水平方向に走り、下顎を前進させる作用がある。 d × 内側翼突筋は閉口筋である。蝶形骨(翼状突起の翼突窩)から起こり、下顎角内面(翼突筋粗面)に付く。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 65-66 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 37-38 ポイントチェック 第5版 ① 73</p>
4	<p>歯列模型の写真(別冊 No.2)を別に示す。</p> <p>矢印が示す歯のFDI方式による表記はどれか。</p> <p>a 24 b 44 c 64 d 84</p> <p>▶keyword: 乳歯、歯式、歯の記号、FDI方式</p>	<p>解答: d</p> <p>FDI方式は歯の位置と歯種を2桁の数字で表す。永久歯の右上~左上~左下~右下はそれぞれ1~2~3~4(十の位)に歯の番号(一の位)を加えたものとなる。乳歯では同様に十の位を5~6~7~8、一の位はA~Eを1~5と表す。写真は下顎乳歯列の模型なので、十の位は下顎右側の8、一の位は第一乳白歯なので4となる。</p> <p>a × 24は上顎左側第一小白歯である。 b × 44は下顎右側第一小白歯である。 c × 64は上顎左側第一乳白歯である。 d ○ 84は下顎右側第一乳白歯である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 152、193、195</p>
5	<p>生体分子の構造の一部を示す。</p> $\begin{array}{c} R_1 & & R_2 & & R_3 \\ & & & & \\ H_2N-C-CO-NH-C-CO-NH-C-CO \cdots \\ & & & & \\ H & & H & & H \end{array}$ <p>この分子はどれか。</p> <p>a 糖質 b 脂質 c 核酸 d タンパク質</p> <p>▶keyword: ペプチド結合、タンパク質、アミノ酸</p>	<p>解答: d</p> <p>この分子は、C(炭素)、H(水素)、O(酸素)およびN(窒素)を含んでいるアミノ酸がペプチド結合したものである。このような構造をもつ分子をペプチドといい、さらにアミノ酸が多数結合して特定の機能をもっている分子をタンパク質という。アミノ酸は分子内にアミノ基(-NH₂)とカルボキシル基(-COOH)の両方をもつ。一方のアミノ酸のカルボキシル基ともう一方のアミノ酸のアミノ基が結合すると-CO-NH-の形になり、これをペプチド結合という。</p> <p>a × 糖質はC、H、Oからなる。糖質にはアルデヒド基(-CHO)またはケトン基(>C=O)が含まれる。 b × 脂質はC、H、Oからなる。脂質を構成する脂肪酸にはカルボキシル基(-COOH)が含まれる。 c × 核酸とはDNAやRNAのことで、五炭糖、有機塩基(窒素化合物)およびリン酸からなる化合物である。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 18-20</p>

問題 A		解答・解説
6	<p>全口腔法による検知閾が最も低い味物質はどれか。</p> <p>a 食塩 b ショ糖 c 酒石酸 d 塩酸キニーネ</p> <p>▶keyword: 全口腔法、検知閾、認知閾</p>	<p>解答: d</p> <p>味を感じることのできる化学物質の最小濃度を味覚閾値といい、検知閾(判断閾、一般閾)と認知閾(味覚閾、特殊閾)がある。検知閾は何かを感じるが、どの味であるかまでは判断できない濃度で、認知閾は「甘い」「苦い」などの味の質が分かる最小濃度である。一般的に味覚感受性を比較する際には、全口腔法による検知閾を用いることが多い。</p> <p>a × 食塩は塩味を呈し、検知閾は5基本味の中で最も高い。 b × ショ糖は甘味を呈し、検知閾は5基本味の中で、塩味に次いで高い。 c × 酒石酸は酸味を呈し、検知閾は5基本味の中で、苦味に次いで低い。 d ○ 塩酸キニーネは苦味を呈し、検知閾は5基本味の中で最も低い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 75-76</p>
7	<p>摂食嚥下の5期のうち声門閉鎖が起こるのはどれか。</p> <p>a 咀嚼期 b 口腔期 c 咽頭期 d 食道期</p> <p>▶keyword: 摂食嚥下の5期、鼻咽腔閉鎖、喉頭口閉鎖、声門閉鎖、嚥下時無呼吸</p>	<p>解答: c</p> <p>摂食と嚥下の一連の流れは、認知期(先行期)・咀嚼期(準備期)・口腔期・咽頭期・食道期の5期(摂食嚥下の5期)として理解されている。このうち食塊が咽頭を通過する期間である咽頭期には、食塊の鼻腔への流入を防ぐための鼻咽腔閉鎖、食塊の気道への流入防止のために喉頭口閉鎖と声門閉鎖が起こる。喉頭口と声門が閉鎖されるため、嚥下時無呼吸がみられるのもこの期間である。</p> <p>a × 咀嚼期は、嚥下に適した食塊を形成するための咀嚼を行う期間で、声門は閉鎖されない。 b × 口腔期は、咀嚼により形成された食塊が口腔から咽頭に運ばれる期間で、声門は閉鎖されない。 c ○ 咽頭期は、食塊が咽頭を通過する期間であり、食塊が気道に入るのを防ぐため、喉頭口とともに声門が閉鎖される。 d × 食道期は、咽頭を通過した食塊を食道の蠕動運動で胃に送る期間で、声門は閉鎖されない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 112-117</p>
8	<p>交感神経の活動が高まると起こるのはどれか。</p> <p>a 気管支の収縮 b 胃液分泌の増加 c 皮膚血管の収縮 d 水っぽい唾液の多量分泌</p> <p>▶keyword: 唾液、消化管の運動と分泌、自律神経系</p>	<p>解答: c</p> <p>自律神経系は循環、消化、分泌、生殖などの機能や心筋・平滑筋のような不随意筋の運動を調節する。交感神経と副交感神経に分けられ、通常は1つの器官に両方の神経が分布し(二重支配)、同一器官に対する両神経の作用は拮抗する(拮抗支配)。例外的に唾液分泌は両神経とも分泌を促す。また消化、吸収、泌尿、生殖系の運動や分泌では、交感神経は抑制的に、副交感神経は促進的に働く。</p> <p>a × 交感神経の活動が高まると気管支は拡張する。 b × 消化器の分泌や運動は、副交感神経の興奮によって促進され、交感神経の興奮によって抑制される。 c ○ 交感神経の活動が高まると皮膚血管は収縮する。副交感神経は皮膚血管の収縮や拡張に作用しない。 d × 唾液腺については、交感神経の活動が高まると粘性の唾液が少量分泌される。一方、副交感神経の活動が高まると水っぽい唾液が大量分泌される。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 100-101、165-167 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 138-142 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 74</p>

問題 A		解答・解説
疾病の成り立ち及び回復過程の促進		
9	好中球浸潤が著明なのはどれか。2つ選べ。 a 歯髄壊死 b 歯槽膿瘍 c 化膿性歯髄炎 d 侵襲性歯周炎 ▶keyword: 好中球、化膿性炎、瘻孔、膿瘍	解答: b、c 好中球は、分葉核をもつ白血球の1つで細菌を食食する。特に化膿性炎で主として浸潤する。遊走能が高く、炎症巣に最も早く集結し、急性炎症が多い。 a × 歯髄壊死は、歯髄組織全体が壊死しており、生きた細胞は存在しない。したがって、炎症細胞浸潤を認めない。 b ○ 膿瘍は、限局性の化膿性炎であり、好中球浸潤が著明である。 c ○ 化膿性歯髄炎は、組織学的には著名な好中球浸潤を特徴とする。臨床的には強い疼痛を認め、温熱刺激で症状が強くなる。 d × 侵襲性歯周炎は、慢性歯周炎とは異なり炎症反応が弱く、好中球浸潤もほとんどない。 文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 48
10	陥入歯の特徴はどれか。2つ選べ。 a 両側性に発生する。 b 上顎側切歯に好発する。 c 褐色の変色がみられる。 d 根尖性歯周炎を続発しやすい。 ▶keyword: 奇形歯、陥入歯	解答: b、d 陥入歯は、歯冠部のエナメル質および象牙質が歯髄腔内へ深く陥入した奇形歯で、歯内歯ともいう。この陥入により、深い溝が形成され不潔になりやすく、さらに歯質の厚みが薄いので、う蝕になりやすく歯髄炎にも進行しやすい。 a × 通常は単発性に生じ、両側性に生じることはほとんどない。 b ○ 上顎側切歯が好発部位である。 c × 陥入歯に褐色の変色が認められるという特徴はない。 d ○ 歯髄炎が進行し、歯髄死を経て根尖性歯周炎を引き起こしやすい奇形歯である。 文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 72 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 198
11	歯槽骨の吸収が著名なのはどれか。2つ選べ。 a 咬合性外傷 b 侵襲性歯周炎 c 遺伝性歯肉線維腫症 d 壊死性潰瘍性歯肉炎 ▶keyword: 歯槽骨の吸収	解答: a、b 炎症の波及が歯肉のみに局限している場合を歯肉炎、歯根膜の破壊や歯槽骨の吸収を伴う場合を歯周炎という。 a ○ 咬合性外傷は咬合力により歯槽骨に外傷性の吸収が生じる。 b ○ 侵襲性歯周炎では急速な歯周組織の破壊がみられる。 c × 遺伝性歯肉線維腫症はまれな遺伝性疾患で、歯肉の粘膜固有層に線維性組織の密な増生がみられる。なお、実際の症例では二次的に歯周炎を伴うこともあるが、歯槽骨吸収が著名であるとはいえない。 d × 壊死性潰瘍性歯肉炎は歯肉の壊死と潰瘍形成を特徴とする。壊死病変部が歯周靭帯（歯根膜）や歯槽骨まで広がった場合は壊死性潰瘍性歯周炎という。 文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 110-117

問題 A		解答・解説
12	自然免疫で働くのはどれか。2つ選べ。 a B細胞 b T細胞 c 好中球 d NK細胞 ▶keyword: 自然免疫、獲得免疫、免疫担当細胞	解答: c、d 微生物や異物などの非自己抗原が体内に侵入したときに、初期防御として相手を選ばず非特異的に働く免疫機構を自然免疫という。一方、一度侵入した抗原を記憶し、2回目以降の再侵入に際しては、抗原特異的に作用し、初回侵入時よりも迅速かつ強力で反応する免疫機構を獲得免疫という。自然免疫を担当する細胞には食細胞の好中球やマクロファージ、リンパ系のNK（ナチュラルキラー）細胞などがある。マクロファージやNK細胞には抗原提示やサイトカイン分泌などの役割もあり、自然免疫と獲得免疫の橋渡しをする重要な細胞でもある。 a × B細胞は獲得免疫を担うリンパ球で、抗原刺激により抗体産生細胞に分化する。 b × T細胞は獲得免疫を担うリンパ球で、司令塔役のヘルパーT細胞や細胞傷害性のキラーT細胞に分化する。 c ○ 好中球は自然免疫で食細胞の主役として働き、血液などの体液中に最も多く存在する。 d ○ NK細胞は自然免疫を担う細胞傷害性のリンパ球で、ウイルスや細胞内寄生細菌に感染した細胞、癌細胞などを認識し、非食食的に殺傷する。 文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 74-78、83-85
13	内毒素をもつのはどれか。2つ選べ。 a <i>Vibrio cholerae</i> b <i>Escherichia coli</i> c <i>Candida albicans</i> d <i>Staphylococcus aureus</i> ▶keyword: 内毒素、LPS、外膜、グラム陰性細菌	解答: a、b 内毒素 [リポ多糖 (LPS)] はすべてのグラム陰性細菌に共通する細胞壁の構造物である。LPSは細胞壁外膜の外層（外側）を構成するリポDとそこから外に向かって伸びた糖鎖からなり、細菌由来の代表的な起炎物質である。 a ○ <i>Vibrio cholerae</i> (コレラ菌) はビブリオ属のグラム陰性桿菌で内毒素をもつ。 b ○ <i>Escherichia coli</i> (大腸菌) は腸内細菌科のグラム陰性桿菌で内毒素をもつ。 c × <i>Candida albicans</i> (カンジダ・アルビカンス) は真核生物の真菌であり、外膜構造をもたず内毒素をもたない。 d × <i>Staphylococcus aureus</i> (黄色ブドウ球菌) はグラム陽性球菌であり、外膜がなく内毒素をもたない。 文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 19、27-28、38-39、70-71
14	口内炎の患者にアズレンスルホン酸ナトリウムを使用した。 この療法はどれか。 a 原因療法 b 対症療法 c 予防療法 d 補充療法 ▶keyword: 対症療法	解答: b 薬物療法には、原因療法、対症療法、補充療法、予防療法がある。原因療法とは、根本的に病気の原因を取り除く療法をいう。対症療法とは、不快症状を薬で抑え治癒を期待する療法で、鎮痛薬による鎮痛などがある。予防療法とは、病気の発生をあらかじめ抑える目的で用いる療法である。 a × 原因療法には、抗菌薬による病原微生物の殺滅や悪性腫瘍に対する抗悪性腫瘍薬などがある。 b ○ アズレンスルホン酸ナトリウムは抗炎症作用を有しており、含嗽薬として用いられる。炎症を薬で抑える療法は対症療法に該当する。 c × 予防療法には、インフルエンザに対するワクチン投与などがある。 d × 補充療法とは、ビタミンなどの不足物質を補充する療法である。 文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 3、200-201

問題 A	解答・解説
<p>15 アナフィラキシーショックにおける血管拡張や血管透過性の亢進に関与するのはどれか。</p> <p>a ドパミン b ヒスタミン c アセチルコリン d ノルアドレナリン</p> <p>▶keyword: アナフィラキシーショック</p>	<p>解答: b</p> <p>アレルギーは薬物に対する副作用の中でも頻度が高い。全身性にヒスタミンによる血管拡張、血圧低下などのI型アレルギー反応が起こり、生命に危険を及ぼすようなアレルギー反応をアナフィラキシーショックという。そばやピーナッツなどの食物やハチに刺された場合、ペニシリンなどの薬物アレルギーなどによって起こる。アレルギー反応にはI型からIV型までであるが、アナフィラキシーショックはI型アレルギー反応である。治療法としてはアドレナリンの筋肉内注射を行う。</p> <p>a × ドパミンは中枢における神経伝達物質である。 b ○ c × アセチルコリンは副交感神経の神経伝達物質である。 d × ノルアドレナリンは交感神経の神経伝達物質である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 38、121 最新歯科衛生士教本 微生物学 103-105</p>
<p>16 有効に投与された時間依存性抗菌薬の血中薬物濃度の変化を図に示す。</p>  <p>①は何か。</p> <p>a 最小発育阻止濃度 b 最大耐量投与時の血中濃度 c 最小中毒量投与時の血中濃度 d 最大有効量投与時の血中濃度</p> <p>▶keyword: 最小発育阻止濃度、抗菌薬</p>	<p>解答: a</p> <p>細菌の増殖を抑制するために、時間依存性抗菌薬の血中薬物濃度は常に最小発育阻止濃度 (MIC) 以上の濃度を維持することが必要である。</p> <p>a ○ 細菌の増殖を抑制するために必要な最小の薬物濃度である。 b × 最大耐量は、中毒症状が現れても、死亡することはない最大の量である。薬物の血中濃度が最大耐量を上回ると、死亡する可能性がある。 c × 最小中毒量は毒性が現れる最小の量で、最大有効量とほぼ同じである。薬物の血中濃度が最小中毒量を上回ると、中毒症状が現れる可能性がある。 d × 最大有効量は有効量の上限で、毒性を現さない最大量である。薬物の血中濃度が最大有効量を上回ると、中毒症状が現れる可能性がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 161</p>
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	
<p>17 歯ブラシによる清掃で除去できるのはどれか。</p> <p>a 歯石 b ペリクル c プラーク d 外来性色素沈着物</p> <p>▶keyword: 口腔清掃、歯ブラシ、歯・口腔の付着物</p>	<p>解答: c</p> <p>歯ブラシは、セルフケアによるプラークコントロールの最も一般的で重要な用具である。</p> <p>a × 歯石は歯ブラシでは除去できない。スケーラーを用いて機械的除去を行う。 b × ペリクルは歯ブラシでは除去できない。研磨用ポリッシングブラシなどを用いれば除去できる。 c ○ 歯ブラシの使用目的は歯面のプラーク除去などである。 d × 外来性色素沈着物は歯ブラシでは除去できない。スケーラーや研磨用ポリッシングブラシを用いて、プロフェッショナルケアを行う。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 117、119-123 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 21-23 デンタルスタッフの口腔衛生学・歯科衛生統計 161</p>

問題 A	解答・解説
<p>18 う蝕の第一次予防はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 抜歯 b 口腔衛生教育 c 小窩裂溝充填 d フッ化ジアンミン銀塗布</p> <p>▶keyword: う蝕の予防法、第一次予防</p>	<p>解答: b, c</p> <p>う蝕発生の予防は第一次予防、う蝕の処置を行うことによる病勢阻止は第二次予防、歯の喪失後などの機能回復は第三次予防である。第一次予防は健康増進と特異的防御で、健康問題のリスクファクターを減少させたり除去したりして、個人・集団の疾病発生を防ぐことである。</p> <p>a × 抜歯は根尖から骨への感染予防とともに病巣感染の予防にもつながる。機能喪失阻止なので第二次予防である。 b ○ 口腔衛生教育はう蝕などの歯科疾患予防のための健康増進手段なので第一次予防である。 c ○ 小窩裂溝充填は歯の形態修正によるう蝕予防のための特異的防御手段なので第一次予防である。 d × フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯う蝕の早期処置として行われるので第二次予防である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 5-7、150-151 デンタルスタッフの口腔衛生学・歯科衛生統計 129-130</p>
<p>19 フッ化物のう蝕予防機序として正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 初期脱灰部の再石灰化の抑制 b フルオロオパタイト生成の促進 c プラーク中の細菌の酵素作用の抑制 d ヒドロキシアパタイトの結晶性の低下</p> <p>▶keyword: 解糖系酵素、フルオロオパタイト</p>	<p>解答: b, c</p> <p>フッ化物は、歯質とプラーク中の細菌にそれぞれ作用し、う蝕を予防する。ヒドロキシアパタイトの結晶性の改善、フルオロオパタイト生成の促進、初期脱灰部の再石灰化促進により、歯質を強化し耐酸性を向上させる。また、プラーク中の細菌の解糖系酵素 (エノラーゼ) の作用を抑制し、酸産生を抑制する。</p> <p>a × フッ化物は初期脱灰部の再石灰化を促進する。 b ○ フッ化物はフルオロオパタイト生成を促進する。 c ○ フッ化物はプラーク中の細菌の酵素作用を抑制する。 d × フッ化物はヒドロキシアパタイトの結晶性を向上させる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 178 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 100-101</p>
<p>20 被検者の DMF 歯の合計と被検者数から求められるのはどれか。</p> <p>a DMF 者率 b DMF 歯率 c DMFT 指数 d DMFS 指数</p> <p>▶keyword: DMF、う蝕経験指数</p>	<p>解答: c</p> <p>DMF (永久歯のう蝕経験) は永久歯う蝕の状況を把握するための表現方法で、D (Decayed) は未処置歯、M (Missing) はう蝕による喪失歯、F (Filled) はう蝕による処置歯を表す。</p> <p>a × 被検者のうち DMF 歯がある人数を被検者数で割って求める。 b × 被検者の DMF 歯の合計を被検歯数で割って求める。被検歯数には現在歯 (D 歯、F 歯、健全歯) だけではなく、M 歯も含まれることに注意する。 c ○ 被検者の DMF 歯の合計を被検者数で割って求める。 d × 被検者の DMF 歯面の合計を被検者数で割って求める。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 39-40</p>

問題 A		解答・解説
27	結核の主な感染経路はどれか。 a 空気感染 b 垂直感染 c 接触感染 d 媒介物感染	<p>解答：a</p> <p>結核は、感染症法で二類感染症に分類され、結核菌を原因菌とする慢性感染症である。1950年までは我が国の死因第1位であったが、2017年では死因第30位となった。しかし、多剤耐性結核の発生や新規結核患者に占める高齢者の割合の高まりなどから、引き続き感染症対策の大きな課題である。</p> <p>a○ 患者の咳やくしゃみなどで飛散した結核菌を含む飛沫を直接吸入する（飛沫感染）か、その飛沫が乾燥し、粒子となって空气中を浮遊しているもの（飛沫核）を吸入することによって空気感染する。</p> <p>b× 胎盤、産道、母乳を介して母体から児に感染する経路である。</p> <p>c× 感染しているヒトや動物の体液・排泄物に直接接触することで感染する経路である。</p> <p>d× 汚染された食物や水、食器などを介して感染する経路である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 62、71 最新歯科衛生士教本 微生物学 10</p>
▶keyword：結核		
28	母子保健法で規定されている届出はどれか。2つ選べ。 a 出生 b 妊娠 c 障害児 d 低出生体重児	<p>解答：b、d</p> <p>母子保健法の目的は「母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健に関する原理を明らかにするとともに、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じ、もつて国民保健の向上に寄与すること」である。</p> <p>a× 戸籍法により規定されている。</p> <p>b○ 届出により母子健康手帳が交付される。</p> <p>c× 申請により障害者総合支援法で規定された自立支援医療（育成医療）を受けすることができる。</p> <p>d○ 出生時の体重が2,500g未満の場合に届出が義務づけられている。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 250-251 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 86</p>
▶keyword：母子保健法		

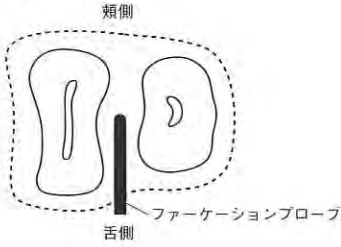
問題 A		解答・解説																												
29	学校感染症と学校長による出席停止措置を表に示す。	<p>解答：d</p> <p>学校感染症は学校保健安全法施行規則により第一種から第三種に指定された疾病で、罹った児童生徒については学校長による出席停止措置が講じられる。</p> <p>a× 表の③である。学校感染症第二種で、「発疹が消失するまで」が出席停止措置である。</p> <p>b× 表の④である。学校感染症第三種である。</p> <p>c× 表の①である。学校感染症第一種である。</p> <p>d○</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 272</p>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校感染症</th> <th colspan="2">出席停止措置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種</td> <td>①</td> <td>治癒するまで</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第二種</td> <td>②</td> <td>発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで</td> </tr> <tr> <td>百日咳</td> <td>特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで</td> </tr> <tr> <td>麻疹</td> <td>解熱した後3日を経過するまで</td> </tr> <tr> <td>流行性耳下腺炎</td> <td>耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>発疹が消失するまで</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>すべての発疹が痂皮化するまで</td> </tr> <tr> <td>咽頭結膜熱</td> <td>主要症状が消退した後2日を経過するまで</td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td>病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで</td> </tr> <tr> <td>髄膜炎 菌性髄膜炎</td> <td>病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで</td> </tr> <tr> <td>第三種</td> <td>④</td> <td>病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで</td> </tr> </tbody> </table> <p>②はどれか。 a 風しん b コレラ c ベスト d インフルエンザ</p>		学校感染症	出席停止措置		第一種	①	治癒するまで	第二種	②	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで	百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	麻疹	解熱した後3日を経過するまで	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	③	発疹が消失するまで	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	髄膜炎 菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	第三種	④	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	
学校感染症	出席停止措置																													
第一種	①	治癒するまで																												
第二種	②	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで																												
	百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで																												
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで																												
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで																												
	③	発疹が消失するまで																												
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで																												
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで																												
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで																												
	髄膜炎 菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで																												
	第三種	④	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで																											
▶keyword：学校感染症、学校保健安全法																														
30	歯科衛生士法施行規則はどれか。 a 法律 b 政令 c 省令 d 条例	<p>解答：c</p> <p>国の法令には、憲法、条約、法律、政令、省令がある。さらに地方自治体（都道府県・市町村）の法令には条例、規則がある。最も優先的な効果があるのは憲法および条約で、法律、政令、省令、条例、規則と続く。</p> <p>a× 法律は憲法に基づき、国会で制定される。民法、刑法、医療法、歯科衛生士法、歯科技工士法、歯科医師法などがある。</p> <p>b× 政令は内閣が定める命令をいう。行政機関が制定する命令のなかでは最も優先的な効力を有する。歯科衛生士法施行令などがある。</p> <p>c○ 省令は、各省の大臣が制定する命令をいう。歯科衛生士法施行規則は歯科衛生士法、歯科衛生士法施行令を執行させるために厚生労働大臣が定めた省令である。</p> <p>d× 条例は地方自治体の議会が定めた立法である。法律の範囲内で制定される。多くの道府県で歯と口腔の健康づくりに関する条例が制定されているのは、その一例である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 19 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第9版 31</p>																												
▶keyword：法律、政令、省令、条例																														

問題 A		解答・解説
31	介護保険制度について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 保険者は都道府県である。 b 自己負担は原則1割である。 c 根拠法は健康保険法である。 d 第1号被保険者は65歳以上の者である。	解答 : b, d 我が国の介護保険制度は、①自立支援、②利用者本位、③社会保険方式という考えのもと、40歳以上の者が加入する。保険者は市町村および特別区、被保険者は年齢によって第1号(65歳以上)と第2号(40~64歳)に区分される。 a × 保険者は市町村および特別区である。 b ○ 自己負担(一部負担)は原則1割で、一定以上所得者のみ2割または3割である。 c × 根拠法は介護保険法である。 d ○ 第1号被保険者は65歳以上の者、第2号被保険者は40~64歳までの医療保険加入者である。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 108-109 ポイントチェック 第5版 ②148
歯科衛生士概論		
32	歯科衛生士の業務で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 診療の補助 b 療養上の世話 c 歯牙および口腔の疾患の予防処置 d 歯科衛生士の名称を用いて行う歯科保健指導	解答 : c, d 歯科衛生士の業務は歯科衛生士法で規定されている。歯科衛生士は、歯牙および口腔の疾患の予防処置を業とし、歯科診療の補助および歯科衛生士の名称を用いた歯科保健指導を業とすることができる。また、看護師の業務は保健師助産師看護師法で規定されている。看護師は、傷病者もしくははじょく婦に対する療養上の世話または診療の補助を行うことを業とする。 a × 診療の補助は看護師の業務独占である。歯科衛生士は、歯科診療の補助に限り行うことができる。 b × 療養上の世話は看護師の業務独占である。 c ○ d ○ 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 42-47、100 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 2-6 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 7-9、14-17
33	医療面接で医療者に求められる姿勢・態度として適切なのはどれか。2つ選べ。 a 傾聴 b 共感 c 既成概念 d パターナリズム	解答 : a, b 医療面接では、患者の全身疾患に関する情報など医療を安全に進めるうえで必要な情報のほか、患者の治療への希望や生活背景などに関する情報の収集を行う必要がある。そのため、医療者には、患者の話に耳を傾け、共感的態度を示すことにより患者との信頼関係を構築し、患者の自己決定権を尊重する態度が求められる。 a ○ 傾聴とは、相手の話に注意深く耳を傾け、相手の気持ちを汲み取り、理解しようとする聴き方であり、患者の心情を聞き出すうえで重要な面接技法である。 b ○ 共感的態度とは、相手の話に注意深く耳を傾け、相手の感情を理解しようとする態度のことであり、患者との信頼関係の構築には不可欠である。 c × 既成概念とは、一般的に社会で認められている考え方であり、この考え方にとらわれない態度で患者に接することが必要である。 d × パターナリズムとは、父権主義を意味し、患者は医療者の指示に従っていればよい(「医師中心の医療」)というような上下的な関係性を示すものである。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版 4-7、63-64 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 71

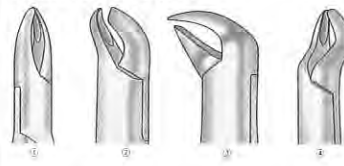
問題 A		解答・解説
34	歯科衛生士が業務上知り得た患者(人)の情報を他人に漏らしてはならないことを定めているのはどれか。 a 刑法 b 民法 c 歯科衛生士法 d 個人情報の保護に関する法律	解答 : c 歯科衛生士の守秘義務(秘密保持義務)は、歯科衛生士法に規定される。 a × 刑法に守秘義務が規定されるのは医師、歯科医師、薬剤師などであり、歯科衛生士の守秘義務の規定はない。 b × 民法は、市民生活における市民相互の関係を規律するものであり、歯科衛生士の守秘義務の規定はない。 c ○ 歯科衛生士の守秘義務は、歯科衛生士法第13条の6に規定されている。 d × 個人情報の保護に関する法律は、個人情報(診療録など)の開示について規定しており、歯科衛生士の守秘義務の規定はない。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 36
35	歯科医療機関の安全管理体制を規定しているのはどれか。 a 医療法 b 歯科医師法 c 労働安全衛生法 d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	解答 : a 医療法では、歯科医療機関を含むすべての医療機関の安全管理体制について規定している。 a ○ 歯科医療機関の安全管理体制について規定しているのは、医療法である。 b × 歯科医師法は、歯科医師の身分について規定している。 c × 労働安全衛生法の目的は、「職場における労働者の安全と健康を確保」するとともに、「快適な職場環境を形成する」ことである。 d × 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)は、感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関し必要な措置を定めた法律である。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 106
臨床歯科医学		
36	ビスホスホネート系薬剤が投与されている可能性がある疾患はどれか。2つ選べ。 a 喘息 b 乳がん c 高血圧症 d 骨粗鬆症	解答 : b, d ビスホスホネート(BP)系薬剤は、悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症や多発性骨髄腫による骨病変、乳がん、前立腺がんなどの溶骨性骨転移に対する治療に使用される。また、骨粗鬆症に対して臨床的有用性の高い薬剤の1つで、骨痛や病的骨折の予防や治療に広く使用されている。副作用として、抜歯などの観血処置後に顎骨壊死・骨髄炎を発症する可能性があるため、BP系薬剤を投与されている可能性がある患者に対しては、医療面接で服用の有無を確認する必要がある。 a × b ○ c × d ○ 文献 : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 85
37	炎症の検査はどれか。 a CRP b AST c BUN d HbA1c	解答 : a CRP(C反応性タンパク)は、感染などによる炎症巣において、白血球が細菌を貪食する際に放出される炎症性サイトカインに反応し、肝臓において作られるタンパク質である。炎症の程度が強ければその値が上昇するので、炎症の指標とされている。また、組織の破壊によっても同じく上昇する。 a ○ b × AST(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)は肝機能の検査で、肝細胞の破壊により値が上昇する。 c × BUN(血中尿素窒素)は腎機能の検査で、腎臓の機能が低下すると尿素窒素が尿中に十分排泄されず、血液中に残存するため、値が高くなる。 d × HbA1c(グリコヘモグロビン)は血糖値のコントロールに関する検査で、赤血球の寿命(約120日)の約半分の期間の血糖値の平均的な状態を反映する。 文献 : 臨床検査 38

問題 A	解答・解説
<p>38 白歯部隣接面う蝕の有無の判定に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a コンタクトゲージ b エキスプローラー c トランスイルミネーター d レーザー蛍光強度測定装置</p> <p>▶keyword：隣接面う蝕の検査</p>	<p>解答：c、d</p> <p>白歯部隣接面う蝕の有無は、視診では判定することが難しいため、より確実な状態を把握するためにも検査が必須である。</p> <p>a × コンタクトゲージは、隣接接触点の強さを検査するための器具である。隣接接触点の消失は隣接面う蝕の原因となるため、隣接面う蝕の原因を調べるための検査器具としては適切であるが、隣接面う蝕の有無は判定できない。</p> <p>b × エキスプローラー（探針）はう蝕の硬さや範囲、修復物と歯質との段差を検査するのに有効であるが、隣接面う蝕は隣在歯が邪魔となるためエキスプローラーが挿入できない。</p> <p>c ○ トランスイルミネーターを用いた透照診は、透過光の明度の違いによって、隣接面う蝕や歯の亀裂を検出することができる。近年では白色LEDを用いることで光強度が強くなったため、前歯のみならず臼歯でも使用できるようになった。</p> <p>d ○ レーザー蛍光強度測定装置は、赤色の半導体レーザーを歯質に照射し、その際に発する蛍光強度の違いによってう蝕の有無を判定できる機器である。近年では機器の性能向上により、隣接面う蝕にも使用できるようになった。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 8-12 最新歯科衛生士教本 歯科機器 65-66</p>
<p>39 41歳の男性。上顎右側中切歯の変色を主訴として来院した。コンポジットレジン修復を行うこととした。初診時(別冊 No. 3 A)および窩洞形成終了後(別冊 No. 3 B)の口腔内写真を別に示す。</p> <p>次に必要なのはどれか。</p> <p>a 咬合紙 b 歯肉圧排用綿糸 c シェードガイド d プラスチックマトリックス</p> <p>▶keyword：隔壁法</p>	<p>解答：d</p> <p>写真Bはコンポジットレジン修復に先立ち、3級窩洞の形成が終了したところである。なお、挿入されているウェッジは歯間分離、歯肉排除（歯間乳頭の保護）、およびラバーダム固定を目的に行われたものである。こうすることで、隣接面の切削が容易になる。</p> <p>a × 咬合紙は咬合接触点を確認するために、ラバーダム装着前に用いる。</p> <p>b × 窩洞形成後の外形は明らかに歯肉縁上であるため、歯肉圧排は必要ない。</p> <p>c × シェードガイド（色見本）はシェードテイキング（色合わせ）に用いる。ラバーダム防湿後は歯が乾燥し、歯質の色が変化し、またラバーダムシートの色によって色調が判断しにくくなる。したがって、シェードテイキングはラバーダム防湿前に終わらせておくべきである。</p> <p>d ○ 3級窩洞では、接着処理前にプラスチックマトリックス（ポリエステル製の透明マトリックス）を用いた隔壁の装着を行う。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 87-88 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 113</p>
<p>40 慢性潰瘍性歯髄炎について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 瘻孔を生じる。 b 自覚症状が乏しい。 c 麻酔抜髄が適応である。 d 歯冠部にピンクスポットを生じる。</p> <p>▶keyword：慢性潰瘍性歯髄炎、麻酔抜髄</p>	<p>解答：b、c</p> <p>慢性潰瘍性歯髄炎は一般的によくみられる歯髄炎で、深いう蝕により露髄しているが、臨床症状がないことが多い。</p> <p>a × 瘻孔は歯髄疾患が原因では生じず、根尖性歯周組織疾患や、慢性歯周炎が原因で生じる。</p> <p>b ○ 通常はほとんど臨床症状がなく、食片圧入により痛みが生じることがある。</p> <p>c ○ 治療法は歯髄除去療法である。</p> <p>d × ピンクスポットは、歯の内部吸収により歯質が薄くなることで歯冠部に発現する。慢性潰瘍性歯髄炎ではピンクスポットは生じない。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 120、123 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 125-128</p>

問題 A	解答・解説
<p>41 超音波チップの写真(別冊 No. 4)を別に示す。</p> <p>用途はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 髄室開拓 b 根管洗浄 c 根管貼薬 d 根管内破折器具の除去</p> <p>▶keyword：超音波発振装置、根管洗浄、根管内破折器具の除去</p>	<p>解答：b、d</p> <p>写真は超音波発振装置に装着するファイルタイプのチップである。これを用いて根管洗浄や、根管充填材の除去、根管内破折器具の除去、窩洞狭窄部の感染物除去などを行う。</p> <p>a × 髄室開拓は、ダイヤモンドポイントやラウンドバーで行う。</p> <p>b ○ 超音波発振装置を併用することにより根管洗浄の効果が増強される。</p> <p>c × 液体の根管消毒薬はペーパーポイントやブローチ綿栓で貼薬し、ペーストタイプの根管消毒薬はシリンジで直接根管内に貼薬もしくはレンツロなどにより根管内に貼薬する。</p> <p>d ○ 根管内破折器具は超音波発振装置などで除去する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 186 最新歯科衛生士教本 歯科機器 97-98</p>
<p>42 上顎側切歯の感染根管治療を実施しても瘻孔が消失しなかった。</p> <p>今後行う処置はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯根切断法 b 根尖切除法 c 逆根管充填法 d ヘミセクション</p> <p>▶keyword：外科的歯内療法、根尖切除法、逆根管充填法</p>	<p>解答：b、c</p> <p>根尖性歯周炎に対しては感染根管治療が適応となる。しかし、感染根管治療を実施しても治癒しない場合もあり、そのような場合には、外科的歯内療法を行い治癒を目指すこととなる。</p> <p>a × 歯根切断法とは、上顎大臼歯などの複数根がある歯で、保存不可能な1根のみを歯頸部で切断・除去し、ほかの歯根と歯冠部はそのまま残して歯を保存する方法である。</p> <p>b ○ 根尖切除法は、通常の感染根管治療を行っても改善が見込めない際に、根尖部を一部切除して治癒を期待する方法である。</p> <p>c ○ 逆根管充填法とは、根尖切除法において露出した根管に対し、MTAセメントやEBAセメントにより根尖方向から封鎖する方法である。</p> <p>d × ヘミセクションは、下顎大臼歯において保存不可能な1根を歯冠部とともに除去し、ほかの1根を残す方法である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 172-179</p>
<p>43 歯肉縁上歯石について正しいのはどれか。</p> <p>a 部位特異性はない。 b 血液成分由来である。 c 細菌由来の物質を含む。 d 褐色から黒色を呈する。</p> <p>▶keyword：歯肉縁上歯石</p>	<p>解答：c</p> <p>歯石はその付着部位により歯肉縁上歯石と歯肉縁下歯石に分けられる。歯肉縁上歯石は唾液成分由来で白色から黄白色、歯肉縁下歯石は血液成分由来で褐色から黒色に近い色を呈する。</p> <p>a × 唾液腺開口部のある下顎前歯舌側、上顎臼歯頰側などに付着しやすい。</p> <p>b × 唾液成分由来である。</p> <p>c ○ プラークが石灰化したものであり、細菌由来の物質を含む。</p> <p>d × 白色から黄白色を呈する。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 31</p>

問題 A	解答・解説
<p>44 下顎第一大臼歯の舌側からファークーションプローブを挿入し停止したときの様子を模式図に示す。</p>  <p>根分岐部病変の評価で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a Glickman の分類 2 級 b Glickman の分類 3 級 c Lindhe & Nyman の水平的分類 1 度 d Lindhe & Nyman の水平的分類 2 度</p> <p>▶keyword: 根分岐部病変、Lindhe & Nyman の水平的分類、Glickman の分類</p>	<p>解答: a、d</p> <p>根分岐部病変の診査の基準には、Lindhe & Nyman の水平的分類と Glickman の分類がある。図では、プローブが歯冠頬舌径の約1/2挿入されたところで停止している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Lindhe & Nyman の水平的分類</p> <p>1 度: 骨の吸収が歯冠幅径の 1/3 以内のもの 2 度: 骨の吸収が歯冠幅径の 1/3 を越えるが、貫通しないもの 3 度: プローブを水平方向に挿入すると貫通するもの</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">Glickman の分類</p> <p>1 級: 根分岐部に病変があるが、臨床的・エックス線的に異常を認めない 2 級: 根分岐部の一部に歯槽骨の破壊と吸収が認められるが、歯周プローブを挿入しても根分岐部を貫通しない 3 級: 根分岐部直下の骨が吸収し、頬舌的あるいは遠遠心的に歯周プローブが貫通するが、根分岐部は歯肉で覆われている 4 級: 根分岐部が口腔内に露出しており、歯周プローブが貫通する</p> </div> <p>a <input type="radio"/> b <input checked="" type="radio"/> c <input checked="" type="radio"/> d <input type="radio"/></p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 60-63、144</p>
<p>45 口腔内の写真(別冊 No. 5)を別に示す。矢印が示すのはどれか。</p> <p>a 口蓋隆起 b 下顎隆起 c フラビーガム d 義歯性線維症</p> <p>▶keyword: 下顎隆起、骨隆起</p>	<p>解答: b</p> <p>選択肢はいずれも欠損部顎堤に生じるものであるが、その発生部位が異なる。いずれも義歯の設計に大きく関わる。写真の矢印は下顎舌側に生じた骨隆起を示している。</p> <p>a × 上顎口蓋正中に生じる骨隆起である。 b ○ 下顎舌側に生じる骨隆起である。 c × 不適切な義歯使用により、上顎前歯部に生じる可動性の大きい粘膜組織である。 d × 義歯と接する部分の粘膜が慢性刺激により反応性に肥大したものであり、歯肉と唇・頬の移行部に生じる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 88-89、94</p>
<p>46 支台築造の目的はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 保持力の増強 b 形成面の汚染防止 c 暫間的な審美回復 d 歯冠部歯質の強度増強</p> <p>▶keyword: 支台築造</p>	<p>解答: a、d</p> <p>支台築造は、人工材料を用いて支台歯形態を整える操作のことであり、主に歯冠部歯質の強度を高め、保持力を増強するために行われる。無髄歯で歯質欠損が広範囲に及ぶ症例で行われることが多い。模型上で金属鑄造体あるいはコンポジットレジンによる築造体を製作し築造窩洞に合着する間接法と、口腔内で直接コンポジットレジンで充填する直接法がある。</p> <p>a ○ 歯冠部歯質の欠損が大きい支台歯に行い、保持力を増強する。 b × 形成面の汚染防止は、テンポラリークラウンの目的である。 c × 暫間的な審美回復は、テンポラリークラウンの目的である。 d ○ 歯冠部歯質の欠損が大きい症例に対しては、支台築造を行うことで歯冠部歯質の強度を高める。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 77</p>

問題 A	解答・解説
<p>47 水平的顎間関係の記録法はどれか。</p> <p>a 顔面計測法 b パラトグラム c ゴシックアーチ描記法 d フェイスボウトランスファー</p> <p>▶keyword: 水平的顎間関係、ゴシックアーチ描記法</p>	<p>解答: c</p> <p>ゴシックアーチ描記法は、顎運動の水平面での軌跡を描記して顎間関係を記録するのに用いられる。口内法と口外法があり、中心位、左右の側方限界運動、前方運動の軌跡を描記針と描記板を用いて描記する。</p> <p>a × 垂直的顎間関係の計測に用いる。 b × ろう義歯試適の際の発音検査に用いる。 c ○ 水平的顎間関係の記録に用いる。 d × 頭蓋あるいは顎関節に対する上顎の三次元的位置関係を咬合器上に再現するのに用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 96</p>
<p>48 63歳の男性。上顎右側中切歯を抜歯し、固定性のブリッジにて補綴することとした。ポンティック基底面の形態として適切なのはどれか。</p> <p>a 鞍状型 b 有床型 c 離底型 d リッジラップ型</p> <p>▶keyword: ポンティック、リッジラップ型、固定性ブリッジ</p>	<p>解答: d</p> <p>上顎前歯部は審美性が要求される部位であるため、審美性に優れたポンティックを使用する必要がある。また、固定性のブリッジでは取り外して清掃することができないため、清掃性が悪いポンティックは使用できない。</p> <p>a × 基底面が鞍状に顎堤粘膜を覆い広い範囲で接触する。審美性や装着感がよいが、清掃性が悪いため可動性ブリッジのみに用いられる。 b × 基底面に歯肉色の床を有し、顎堤粘膜と広い範囲で接触する。審美性や装着感がよいが、清掃性が悪いため可動性ブリッジのみに用いられる。 c × 基底面が顎堤粘膜から離れている。清掃性に優れるが装着感、審美性に劣る。下顎臼歯部に用いられる。 d ○ 基底面が顎堤粘膜と T 字に接する。審美性、装着感に優れるが自浄性、清掃性はやや劣る。上顎によく用いられる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 50</p>
<p>49 口唇・口蓋裂で正しいのはどれか。</p> <p>a 下顎劣成長がみられる。 b 我が国の発生頻度は約1,000人に1人である。 c 生後まもなくからスピーチエイドを装着する。 d 口唇裂一次手術は生後3~4か月頃に行われることが多い。</p> <p>▶keyword: 口唇・口蓋裂</p>	<p>解答: d</p> <p>口唇・口蓋裂は、顔面に発生する裂奇形の1つであり、吸啜障害、哺乳障害、歯列不正、上顎劣成長、言語障害などの障害を伴う。手術には一次手術と、一次手術後に残った変形や障害を修正・改善する二次手術とがある。言語治療のみで正常な構音が獲得できない場合にスピーチエイドの装着が行われる。</p> <p>a × 上顎劣成長がみられる。 b × 発生頻度は、我が国では出生児500~600人に1人とされている。 c × 生後間もなくから装着するのは、吸啜力を改善し顎発育を促すためのホット床である。 d ○ 口唇裂一次手術は、生後3~4か月頃に行われることが多い。また、口蓋裂一次手術は、生後1歳6か月頃に行う。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 26-29</p>
<p>50 60歳の男性。舌の違和感を主訴に来院した。初診時、右側舌側縁部には膨隆とその周囲の硬結が認められた。最近になり急速に大きくなってきたという。初診時の口腔内写真(別冊 No. 6)を別に示す。</p> <p>考えられる疾患はどれか。</p> <p>a 舌癌 b 唾石症 c 多形腺腫 d ガマ腫(ラヌーラ)</p> <p>▶keyword: 舌癌</p>	<p>解答: a</p> <p>a ○ 舌癌はそのほとんどが扁平上皮癌で、臼歯部に相当する舌側縁部に好発し、凹凸不正、境界不明瞭、周囲に硬結を伴う潰瘍を呈する。好発年齢は50~70歳で、男性に多くみられる。写真と最近急速に増大してきたことなどから、舌癌と考えられる。 b × 唾石症は唾液腺導管の中に結石が形成される疾患である。 c × 多形腺腫は唾液腺腫瘍の1つで、耳下腺に好発する。口腔内では口蓋腺によくみられ、半球状の膨隆を示すが発育は緩慢である。 d × ガマ腫(ラヌーラ)は粘液嚢胞の1つで、顎下腺、舌下腺の排泄管であるワルトマン管の障害で発生し、口底粘膜が半球状に膨隆する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 98-100</p>

問題 A	解答・解説
<p>51 抜歯鉗子の図を示す。</p>  <p>下顎前歯部に用いるのはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword : 抜歯鉗子</p>	<p>解答 : c</p> <p>抜歯鉗子はそれぞれの歯の歯頸部の大きさと形に適合するように^{しよぶ}作られている。また、鉗子で歯を把持した際に歯軸と歯部の長軸が一致するように、歯部と把柄部が下顎用はモノアングル（単屈曲）、上顎用はバイアングル（複屈曲）になっている。上顎前歯部用抜歯鉗子に屈曲はない。</p> <p>a × 屈曲がないため、上顎前歯部用鉗子である。 b × モノアングルで先端が分かれていないため、下顎前歯部用鉗子である。 c ○ 下顎前歯部用鉗子である。 d × バイアングルで先端が分かれていないため、上顎前歯部用鉗子である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 236-237 最新歯科衛生士教本 歯科機器 134-136</p>
<p>52 Scammon の臓器発育曲線で上顎骨の成長パターンはどれか。</p> <p>a 一般型 b 神経系型 c 基本的に神経系型であるが一部で一般型の影響を受ける d 基本的に一般型であるが一部で神経系型の影響を受ける</p> <p>▶keyword : Scammon の臓器発育曲線、上顎骨の成長パターン</p>	<p>解答 : d</p> <p>Scammon の臓器発育曲線によると、身体の成長パターンは、一般型、神経系型、性器型、リンパ系型の4つに大別される。</p> <p>a × 一般型の成長発育をするのは下顎骨である。 b × 神経系型の成長発育をするのは頭蓋冠である。 c × 頭蓋底の成長発育は、基本的に神経系型であるが、顔面頭蓋との境にあることから一部で一般型の影響を受ける。 d ○ 上顎骨を含む鼻上顎複合体は、基本的に一般型であるが、前頭蓋底と接するため一部で神経系型の影響を受ける。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 17-18</p>
<p>53 口腔内写真（別冊 No. 7）を別に示す。両側中切歯の状態はどれか。</p> <p>a 移転 b 転位 c 翼状捻転 d 相対捻転</p> <p>▶keyword : 不正咬合、翼状捻転</p>	<p>解答 : c</p> <p>上顎両側中切歯がそれぞれ逆方向に捻転している状態を対称捻転という。捻転している向きによって翼状捻転（近心対称捻転）と相対捻転（遠心対称捻転）がある。</p> <p>a × 移転は歯がその位置を著しく変えた状態にあるものをいう。隣在歯と位置が入れ替わった状態をいう。写真の両側中切歯は、位置は正常である。 b × 転位は、歯列弓を咬合面からみたときに歯が歯列弓の正しい位置から外れている状態をいう。写真の両側中切歯は、位置は正常である。 c ○ 写真は上顎両側中切歯が近心方向に捻転しており、このような状態を翼状捻転（近心対称捻転）という。 d × 相対捻転（遠心対称捻転）とは、上顎両側中切歯が遠心方向に捻転している状態をいう。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 31-32</p>
<p>54 強い矯正力による歯の移動時に歯根膜の圧迫側に現れる変化はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 骨添加 b 硝子様変性 c 穿下性吸収 d 線維芽細胞増殖</p> <p>▶keyword : 歯の移動時の組織変化</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>矯正力が強い場合、歯根膜は強く圧縮されて貧血を起こし、硝子様変性が生じる。変性部分から離れた部分および骨の内部には破骨細胞が出現し、内部から骨を吸収する。これを穿下性吸収という。</p> <p>a × 牽引側にみられる変化である。 b ○ 圧迫側にみられる。 c ○ 圧迫側にみられる。 d × 牽引側にみられる変化である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 55-56</p>

問題 A	解答・解説
<p>55 矯正装置を装着した写真（別冊 No. 8）を別に示す。装置の名称はどれか。</p> <p>a ヘッドギア b タングクリブ c オトガイ帽装置 d 上顎前方牽引装置</p> <p>▶keyword : ヘッドギア</p>	<p>解答 : a</p> <p>写真が示す装置はヘッドギアである。ヘッドギアは顎外固定装置であり、矯正力の固定を口腔外に求めた可撤式装置である。</p> <p>a ○ ヘッドギアは頭部あるいは頸部を抵抗源として顎整形力を上顎複合体に伝え、上顎骨の前方成長の抑制を期待する装置である。上顎骨の前方位、もしくは上顎大臼歯の近心転位の改善、また上顎骨の発育抑制を目的としている。 b × タングクリブは口腔習癖除去装置である。歯性の開咬や上顎前突などの原因となる、舌突出癖や拇指吸引癖などの口腔習癖を除去するために用いられる。 c × オトガイ帽装置は、ゴムの牽引力によって下顎の後方移動および成長抑制をはかる装置である。オトガイ帽装置もヘッドキャップを用いるが、写真の装置とは異なり、オトガイ部にチンキャップを装着する。 d × 上顎前方牽引装置は、上顎骨の劣成長もしくは後方位と診断される下顎前突の改善を目的として、顎整形力を上顎複合体に伝える装置である。オトガイ部と前額部を抵抗として用いるフェイスルマスクタイプと、オトガイ帽装置を応用したホーンタイプがあり、固定式の口腔内装置と口腔外装置からなる。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 75-77</p>
<p>56 言語の発達について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 生後5~6か月頃、喃語を発するようになる。 b 1~1歳6か月頃になると、2語文を発するようになる。 c 2歳6か月頃になると、過去形や未来形を使えるようになる。 d 3~4歳になると、発音がほぼ完成する。</p> <p>▶keyword : 言語の発達</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>小児の精神発達は言語の発達とも関連が深く、言語の発達を理解することは重要である。</p> <p>a ○ b × 2語文を発するようになるのは2歳頃である。1~1歳6か月頃では1語文で、単語数も20程度である。 c ○ d × 発音がほぼ完成し、内容も文章化されたものとなるのは5歳以降である。3~4歳頃では単語数が1,500程度に増え、接続詞や助詞が使えるようになるが、まだ文章化された内容を話すまでには至らない。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 11</p>
<p>57 乳歯歯冠形態の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 乳切歯は後継永久歯よりも小さい。 b 乳白歯は後継永久歯と形態が似ている。 c 乳切歯では歯冠高径が近遠心幅径よりも小さい。 d 乳白歯では歯冠近遠心幅径が頬舌幅径よりも小さい。</p> <p>▶keyword : 乳歯</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>a ○ 乳切歯は歯冠高径や近遠心幅径が永久切歯より明らかに小さいが、形態は永久切歯に似ている。 b × 第一乳白歯は後継永久歯である第一小臼歯とほぼ同じ大きさであるが、形態は全く異なる。第二乳白歯の歯冠近遠心幅径は後継永久歯の第二小臼歯よりも大きく、その形態も大きく異なり、第一大臼歯と似ている。 c ○ 乳切歯では、歯冠高径が近遠心幅径よりも小さい。 d × 乳白歯は歯冠頬舌幅径が近遠心幅径よりも小さい。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 25-28 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 180-181</p>
<p>58 地域包括ケアシステムの構成要素はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 医療 b 家族 c すまい d 生きがい</p> <p>▶keyword : 地域包括ケアシステム</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>地域包括ケアシステムの構成要素は、予防、介護、医療、すまい、生活支援の5つである。</p> <p>a ○ b × 家族は地域包括ケアシステムの構成要素ではない。 c ○ d × 生きがいは地域包括ケアシステムの構成要素ではない。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 230 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 305</p>

問題 A	解答・解説
<p>59 パーキンソン病の4大症状はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 失語 b 徘徊 c 筋固縮 d 安静時振戦</p> <p>▶keyword: パーキンソン病、筋固縮、安静時振戦</p>	<p>解答: c, d</p> <p>パーキンソン病の4大症状として、①手足の震え(安静時振戦)、②動作が緩慢になったり、表情の変化が乏しくなる(無動・寡動)、③前傾姿勢になって転びやすくなる(姿勢反射障害)、④筋肉の緊張が亢進してこわばる(筋強剛・筋固縮)が典型的な症状として認められる。</p> <p>a × 認知症や脳血管疾患後に認められる高次脳機能障害の1つである。 b × 認知症の患者に認められる症状の1つである。 c ○ d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 59-60</p>
<p>60 在宅診療において、嚥下障害がある患者が座位にて食事をした後、誤嚥が疑われた時の対応として誤っているのはどれか。</p> <p>a 仰臥位をとらせる。 b 頸部聴診をして呼吸音を確認する。 c 力強くむせている場合は経過観察をする。 d チョークサインがみられたら窒息を疑う。</p> <p>▶keyword: 誤嚥、不顕性誤嚥、窒息、ドレナージ</p>	<p>解答: a</p> <p>在宅や施設の症例は慢性期であり、意思疎通が困難なことも多い。できる限り安全に経口摂取をする(させる)方法が食事支援である。しかし、嚥下障害の臨床では、どんなに適切と思われる嚥下訓練や食事支援を行っていても誤嚥が避けられないケースも多い。</p> <p>a × 右の気管支は左より太く角度も小さいため、通常座位での食事時は、誤嚥物は一般には右肺底部に流れる。そのため、誤嚥した後は右肺を上にした体位で保持すると、排誤嚥物に効果的である。左に傾斜した姿勢の場合は左肺に入る可能性が高くなり、リクライニング位の場合には背側に入る率が高くなるため、それぞれ左上体位、腹臥位も考慮する。このように肺内に入った誤嚥物を、重力を利用して中枢気道へ誘導排出する方法をドレナージという。ドレナージ後に誤嚥物が中枢気道に移動してくると、頸部でラ音が聴取されるようになるため、そのタイミングで咳嗽、喀出を行わせる。気管圧迫法、スクイーピング(呼吸介助)、ハフティング(強制呼出手技)などの対応があるが、ある程度の熟練を要する。</p> <p>b ○ 頸部聴診にて湿性音や嗽音があるとき、安静時では唾液や痰の喉頭付近での貯留が、嚥下後では嚥下した食品の咽頭残留や誤嚥が疑われる。また、嚥下時のむせに伴う喀出音が聴取された場合には誤嚥を疑う。</p> <p>c ○ 力強いむせがみられる場合は正常な喀出力があると判断されるため、経過観察のみでよい。</p> <p>d ○ チョークサインは窒息のサインである。摂食嚥下障害を自覚していない高齢者でも、予備力が低下していれば日常的な食品が原因となって窒息することはありうる。背部叩打、ハイムリッヒ法などで原因物の除去を試みると同時に、人を呼びドクターコールや119番への連絡など、救急要請をする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 168、181-184</p>

問題 A	解答・解説
<p>61 ICF (国際生活機能分類) の図を示す。</p>  <p>①はどれか。</p> <p>a 障害構造 b 能力不全 c 健康状態 d 社会的不利</p> <p>▶keyword: 障害</p>	<p>解答: c</p> <p>1980年にWHOより発表されたICIDH: International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps (国際障害分類)は、障害を「機能・形態障害」「能力不全」「社会的不利」の3つのレベルで捉えて説明している。しかし、ICIDHでは障害はマイナスのイメージが強いため、プラス面も含めて生活の機能を見直し、2001年に新たにICF: International Classification of Functioning, Disability and Health (国際生活機能分類)が発表された。</p> <p>a × 障害構造とは、障害を構造的にとらえることにより、障害を客観的に理解することをさす。1980年にWHOから発表された「障害構造モデル」がICIDHである。次いで2001年に発表されたのがICFである。</p> <p>b × ICIDHの障害構造モデルのdisability (能力不全)にあたる。たとえば、脳梗塞などの脳血管障害によって片麻痺といったImpairment (機能・形態障害)が生じ、歩行や移動、調理や食事などの動作が制限される状態である。</p> <p>c ○</p> <p>d × ICIDHの障害構造モデルのHandicap (社会的不利)にあたる。社会生活の面で不利や制約を生じる状態である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 3-5</p>
<p>62 認知症にみられる認知機能の障害のうち、見当識障害にあたるのはどれか。</p> <p>a 言葉が出てこない。 b 仕事に集中できない。 c 時間と場所の感覚がない。 d 今朝の朝食内容が思い出せない。</p> <p>▶keyword: 認知症、見当識障害</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 言語理解する大脳の損傷により、かかわる領域の言語機能が低下する状態は失語症である。たとえば、話すことはできなくても漢字で書くことはできるといった症状がある。</p> <p>b × 仕事に集中できなくなったなどの注意の持続困難や、作業が始まると他人の声掛けに反応できない注意の分配困難などの障害が生じるのは注意障害である。</p> <p>c ○ 見当識障害とは、時間と場所の感覚がない、自分がいる場所はどこなのか、誰と話しているかなどがわからなくなる、すなわち自分が置かれている環境・状況を認識する能力が障害された状態をいう。見当識とは現在の自己、および自己の置かれている状況を認識することをさす。</p> <p>d × 新しいことの記憶が困難で、最近のことが思い出せない。今朝の朝食の内容が思い出せない、昨日どこへ行ったか覚えていないなどの症状があるのは記憶障害である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 45-46</p>

問題 A

解答・解説

歯科予防処置論

63 歯周病の予防について正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 全身の健康を守ることにつながる。
 b 歯周基本治療は第一次予防である。
 c ブラークコントロールが基本となる。
 d プロフェッショナルケアを最優先する。

▶keyword: ブラークコントロール、歯周病と全身疾患の関連性、歯周病の予防段階

解答: a、c
 歯周病の予防も治療もブラークコントロールが基本となる。したがって、歯周病の治療段階ではなく、予防段階から正しい口腔清掃法を習得できるよう支援する。また、歯周病は全身の健康状態にも影響を受けるので、健康な状態を維持し、疾病に対する抵抗力をつけることが重要である。
 a ○
 b × 第一次予防は歯周病の発症を予防することである。第二次予防では、歯周病を早期に発見して歯周基本治療を開始し、口腔の機能喪失を予防するための歯周治療を行う。炎症がなくなった口腔内には補綴などの処置を行い、口腔機能回復を目的とした第三次予防を行う。
 c ○
 d × 歯周病の予防は、一般的に患者自身が歯ブラシやその他の清掃用具などを用いて歯肉縁上プラークをコントロールするセルフケアが基本となる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 8-9、28-30
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 44-46
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 189-193

64 歯周病のリスクファクターのうち宿主因子はどれか。2つ選べ。
 a 年齢
 b 薬剤
 c 糖尿病
 d 食生活

▶keyword: 歯周病のリスクファクター

解答: a、c
 歯周病の本態は、歯周病原細菌による歯周組織の炎症反応であるが、歯周病には細菌(病原)因子のほかにもさまざまな環境因子や宿主因子が関与している。

環境因子	宿主因子
喫煙	年齢
ストレス	人種
肥満	歯数
食生活・栄養	糖尿病などの全身疾患
薬剤	遺伝
口腔衛生の不良	
専門医への受診状態	

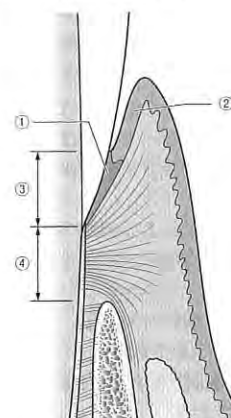
- a ○ 宿主因子である。
- b × 環境因子である。
- c ○ 宿主因子である。
- d × 環境因子である。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 188
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 31-36

問題 A

解答・解説

65 歯周組織の模式図を示す。



付着上皮はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

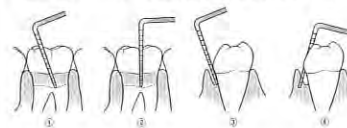
▶keyword: 歯周組織

解答: a

歯周組織は歯肉、歯根膜、歯槽骨、セメント質から構成されている。
 a ○ ①は付着上皮(接合上皮)である。
 b × ②は歯肉溝上皮である。
 c × ③は上皮性付着である。
 d × ④は結合組織性付着である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 14-15

66 歯周プローブの挿入角度を図に示す。



正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶keyword: 歯周プローブの挿入角度

解答: b、c

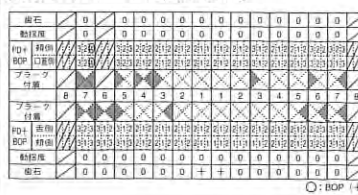
歯周プローブは執筆状変法把持法で軽く把持する。プローブの先端を歯面に適合させ、ポケット底まで挿入する。測定時にはプローブをできる限り歯軸と平行に保ち、斜めに傾けたり先端を歯面から浮き上がらせたりしないように注意する。ただし、隣接面の測定では、例外的にアプローチをやや傾けて挿入する。

- a × プローブが斜めに挿入されている。
- b ○
- c ○
- d × プローブの先端が歯面から離れている。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 140-141

問題 A	解答・解説
<p>67 19歳の女性。初診時に歯肉炎の状態を確認し、GIスコアは1.9であった。臨床的評価として適切なものはどれか。</p> <p>a 正常な歯肉である。 b 軽度の歯肉炎である。 c 中等度の歯肉炎である。 d 高度の歯肉炎である。</p> <p>▶keyword: 歯肉炎指数 (GI)</p>	<p>解答: c</p> <p>GI (gingival index; 歯肉炎指数) は、歯肉炎の広がりや炎症の強さを同時に評価する指標である。辺縁歯肉の歯との境界部付近の炎症の程度を評価するため、プローブを歯周ポケットのごく浅い部分で、ポケット内壁をぐるっと一周滑らせるようにして操作し評価する。評価は対象歯(6 2 4 / 4 2 6)または第三大臼歯を除く全歯の4歯面(頬舌側・近遠心)の炎症を、判定基準にしたがって測定する。</p> <p>a × 正常な歯肉の判定基準は、スコア0で、スティッピングがみられることである。 b × 軽度の歯肉炎の判定基準は、わずかな色調変化および組織の変調、プロービングで出血が認められないことであり、臨床的評価はGIスコア0.1~1.0である。 c ○ 中等度の歯肉炎の判定基準は、発赤、浮腫、腫脹、光沢化、プロービングによる出血であり、臨床的評価はGIスコア1.1~2.0である。 d × 高度の歯肉炎の判定基準は、著明な発赤・腫脹、自然出血傾向、明らかな炎症であり、臨床的評価はGIスコア2.1~3.0である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 108 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 142-143</p>
<p>68 歯周治療の流れを図に示す。</p> <p>①にあてはまるのはどれか。</p> <p>a FOP b SPT c MFT d ENAP</p> <p>▶keyword: 歯周治療のメインテナンス、サポーターペリオドンタルセラピー (SPT)</p>	<p>解答: b</p> <p>歯周治療における病状安定とは、歯周治療後に歯周組織の大半は健康を回復したが、一部に病変の進行が停止し症状が安定しているとみなされる4mm以上の歯周ポケットや根分岐部病変、歯の動揺などが認められる状態をいう。これらを対象として維持していく治療を、サポーターペリオドンタルセラピー (SPT、歯周病安定期治療) という。</p> <p>a × フラップ手術 (Flap Operation) の略であり、歯周外科治療にあてはまる。 b ○ サポーターペリオドンタルセラピー (Supportive Periodontal Therapy) の略である。 c × 口腔筋機能療法 (Myofunctional Therapy) の略であり、歯周基本治療における習癖の矯正にあてはまる。 d × 新付着術 (Excisional New Attachment Procedure) の略であり、歯周外科治療にあてはまる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 74-84、128-132 ポイントチェック 第5版 ⑤ 24</p>

問題 A	解答・解説
<p>69 グレーシートタイプキュレットの特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 部位特異的である。 b 刃部の断面は三角形を呈する。 c オフセットブレードが付与されている。 d 刃部両端にカッティングエッジがある。</p> <p>▶keyword: グレーシートタイプキュレット、オフセットブレード、カッティングエッジ</p>	<p>解答: a, c</p> <p>グレーシートタイプキュレットの刃部とシャンクの角度は、歯肉線下のスケーリングやルートプレーニングに合うよう設計されている。</p> <p>a ○ #1~14 (メーカーによって~#18) があり、部位によって使用するキュレットが異なる。 b × 刃部の断面は半円状を呈しており、片側に刃が作られている。 c ○ 第1シャンクに対して刃部内面が70度に傾斜している。この形態をオフセットブレードという。 d × 刃部片側のみカッティングエッジ (切縁) がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154-155 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 164-165</p>
<p>70 シャーピング操作で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 小さな力から徐々に大きな力で研ぐ。 b 刃部側面と砥石の角度を一定にする。 c 刃部のトウからヒールに向かってまっすぐ研ぐ。 d シャーピング前後にはスケーラーの切れ味を確認する。</p> <p>▶keyword: シャーピング</p>	<p>解答: b, d</p> <p>シャーピングとは、スケーラーの刃部の形態を変えずに、もとの切れ味に復元させることである。</p> <p>a × 比較的小さな力で、かつ一定の力で研ぐ。 b ○ 一定の角度で研ぐ。シクルスケーラー、キュレットスケーラーについては刃部内面と砥石との角度を100~110度にする。 c × 刃部のヒールからトウ (先端) に向かってまっすぐ研ぐ。その後、側面から先端に移行する部分を形態修正する。 d ○ シャーピング前後に視覚や触覚による切れ味の確認をする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 155-161 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 197-200</p>
<p>71 歯面研磨の操作で正しいのはどれか。</p> <p>a 歯面を乾燥させて行う。 b 強い圧で1か所に押し当てる。 c ハンドピースは低速回転で使用する。 d ポリッシングブラシは歯肉線下の研磨に用いる。</p> <p>▶keyword: 歯面研磨、ラバーカップ、ポリッシングブラシ</p>	<p>解答: c</p> <p>スケーリングで傷ついた歯面の滑沢化や、残留歯石、外来性沈着物の除去を目的として行われる。また、患者に爽快感や審美感を感じてもらうことで、口腔衛生の重要性再認識を図る意図も含まれる。</p> <p>a × 摩擦熱が生じないように、研磨剤を含めた湿潤状態を保つ。 b × 1か所に押し当てて行くと、摩擦熱によってエナメル質が摩耗することがあるため、断続的に操作する。 c ○ 低速回転で断続的に行う。 d × ポリッシングブラシは主に咬合面の研磨に用いる。歯肉線下は、ラバーカップの辺縁を用いて研磨する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174-178 ポイントチェック 第5版 ⑤ 41-42</p>

問題 A		解答・解説
72	<p>歯周基本治療後の患者の歯周組織検査と PCR のチャートを図に示す。</p>  <p>メンテナンスに移行する条件を満たしている項目はどれか。2つ選べ。</p> <p>a BOP b 歯の動揺度 c 口腔清掃状態 d 歯周ポケットの深さ</p> <p>▶keyword: メンテナンス</p>	<p>解答: b, c</p> <p>メンテナンスに移行するための基準は、歯周組織の形態的安定と全身状態の安定があげられる。歯周組織は咬合、歯列、歯の動揺、歯周ポケット、歯肉出血、歯肉の状態、口腔清掃状態、エックス線像などが基準となる。</p> <p>a × メンテナンスに移行するための基準は BOP の場合、「-」である。図は上顎右側第二大臼歯頰側、口蓋側の近心の BOP が「+」である。</p> <p>b ○ メンテナンスに移行するための基準は歯の動揺の場合、「生理的な範囲内 (0.2 mm 以内)」である。また、長期的に付着の喪失を伴わない程度の動揺が条件となっている。図の動揺度はすべて 0 度 (生理的動揺) であるため移行する条件を満たしている。</p> <p>c ○ メンテナンスに移行するための基準は口腔清掃状態の場合、「良好 (PCR 20% 以下)」である。</p> $PCR (\%) = \frac{\text{プラークが付着している歯面数}}{\text{被検歯数 } 27 \text{ 本} \times 4 \text{ 歯面}} \times 100$ $= \frac{19}{108 (27 \text{ 本} \times 4 \text{ 歯面})} \times 100 \approx 17.6$ <p>PCR 17.6% のため、移行条件を満たしている。</p> <p>d × メンテナンスに移行するための基準は歯周ポケットの場合、「3 mm 以下 (4 mm 未満)」である。図は上顎右側第二大臼歯頰側、口蓋側の近心が 4 mm である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第 2 版 130、140</p>
73	<p>19 歳の女性。2 種類のう蝕活動性試験の結果 (別冊 No. 9 A、B) を別に示す。</p> <p><i>Lactobacilli</i> の検査結果について正しいのはどれか。</p> <p>a プラークを検体とする。 b 培養時間は 24 時間である。 c この検査結果はローリスクである。 d この検査結果より未処置窩の存在が疑われる。</p> <p>▶keyword: う蝕活動性試験、Dentocult[®]-LB、<i>Lactobacilli</i></p>	<p>解答: d</p> <p>写真の A は Dentocult[®]-LB の測定結果で、B は Dentocult[®]-SM の測定結果である。混合唾液中の <i>Lactobacilli</i> の菌数レベルを平板状の選択培地上で測定するのは Dentocult[®]-LB である。</p> <p>a × 検体は唾液である。最低 3 分間パラフィンワックスを咀嚼させた後に採取した唾液を、寒天スライド両面に注ぐ。</p> <p>b × 37°C で 4 日間の培養が必要である。</p> <p>c × 写真より「クラス 2」と判定できるためハイリスクである。</p> <p>d ○ <i>Lactobacilli</i> のレベルが高い場合、未処置窩の存在や不適合補綴装置・充填物の存在が疑われるため、これらの処置を優先する必要がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 123、125 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第 2 版 39</p>
74	<p>う蝕活動性試験の結果の写真 (別冊 No. 10) を別に示す。</p> <p>正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 混合唾液を検体とする。 b 結果はローリスクと判定される。 c 体温 (32~37°C) で 5 分間保温後、判定する。 d 細菌のレサズリン試薬に対する還元作用を利用した試験法である。</p> <p>▶keyword: RD テスト[®]、スクリーニング、レサズリン還元作用</p>	<p>解答: a, d</p> <p>写真は、RD テスト[®] である。</p> <p>a ○ 咀嚼刺激による混合唾液を検体とする。ただし採唾が困難な幼児の場合は、スポイトにて直接口腔内から唾液を採取し、よく混合してから検体とする。</p> <p>b × ハイリスク (ピンク色) である。ローリスク: 青色、ミドルリスク: 紫色の色調変化を標準比色表と対比して判定する。</p> <p>c × RD を挟んだ透明フィルムを上腕内側に貼付し、体温 (32~37°C) で 15 分間保温後、ディスクの色調変化によってリスクを判定する。</p> <p>d ○ 唾液中のう蝕原性グラム陽性細菌のレサズリン試薬に対する還元作用を利用した試験法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 119-120 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第 2 版 129-130</p>

問題 A		解答・解説
75	<p>フッ化物歯面塗布後の注意事項で誤っているのはどれか。</p> <p>a 口に溜まった唾液は飲み込むよう指導する。 b 定期的な塗布が効果的であることを説明する。 c フッ化物塗布の効果やその限界について説明する。 d 甘味食品の摂取の仕方や制限を含めた食生活習慣について指導する。</p> <p>▶keyword: フッ化物歯面塗布、塗布後の保健指導</p>	<p>解答: a</p> <p>フッ化物歯面塗布は、歯質強化によるう蝕の予防を目的とする。効果を継続させ、しかしその効果を過信しないように保健指導をする必要がある。正しい選択肢の保健指導以外にも「塗布後 30 分間はうがいや飲食を避けること」も指導する。</p> <p>a × 口に溜まった唾液は、そのまま吐き出すように指導する。</p> <p>b ○</p> <p>c ○ 「フッ素を塗ったらむし歯にならない」というような誤解が生まれないように、フッ化物の効果だけではなく限界についても必ず説明を行う。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 195 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 169</p>
76	<p>6 歳の男児 (体重 25 kg)。フッ化物洗口をしていたところ、0.2% フッ化ナトリウム溶液 10 mL を誤って飲み込んでしまった。含まれていたフッ素量はどれか。</p> <p>a 2 mg b 9 mg c 22.5 mg d 50 mg</p> <p>▶keyword: フッ化物洗口法</p>	<p>解答: b</p> <p>フッ化物洗口法は、毎日法と週 1 回法がある。毎日法では 0.05% フッ化ナトリウム溶液 (225 ppm) または 0.1% フッ化ナトリウム (450 ppm)、週 1 回法では 0.2% フッ化ナトリウム溶液 (900 ppm) を使用する。使用する薬剤・方法による効果はほとんど差はないとされている。習慣的・継続的に行うことにより効果が得られるため、毎日法を推奨することが多いが、小・中学校における実施の場合は、週 1 回法で行われることが多い。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 0.2% フッ化ナトリウム溶液 1 mL 中に 0.9 mg のフッ素が含まれている。よって、10 mL では 9 mg のフッ素が含まれる。</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-199 ポイントチェック 第 5 版 ⑤ 53-54</p>
77	<p>フッ化物配合歯磨剤に用いられるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a フッ化第一スズ b フッ化ナトリウム c フッ化カルシウム d リン酸酸性フッ化ナトリウム</p> <p>▶keyword: フッ化物配合歯磨剤、フッ化ナトリウム、フッ化第一スズ、モノフルオロリン酸ナトリウム</p>	<p>解答: a, b</p> <p>フッ化物配合歯磨剤に用いられるフッ化物はフッ化ナトリウム、フッ化第一スズ、モノフルオロリン酸ナトリウムである。</p> <p>a ○ フッ化物配合歯磨剤、フッ化物歯面塗布に用いられる。</p> <p>b ○ フッ化物配合歯磨剤、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口に用いられる。</p> <p>c × フッ化カルシウムは、フッ化物歯面塗布のように高濃度のフッ化物を歯の表面に作用させた際に形成されるものである。</p> <p>d × フッ化物歯面塗布に用いられる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 189</p>

問題 A	解答・解説
歯科保健指導論	
<p>78 歯科保健指導における対象者とのコミュニケーションについて適切なものはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ノンテクニカルスキルの向上が必要である。</p> <p>b インタラクティブなコミュニケーションが望まれる。</p> <p>c より多くの情報を引き出したい時に「閉ざされた質問」を多く用いる。</p> <p>d 歯科医療者側が自ら積極的に話すことが良好なコミュニケーションの基本である。</p> <p>▶keyword: コミュニケーション</p>	<p>解答: a, b</p> <p>歯科保健指導では、対象者と話し合いながら生活習慣と関連させて、その人の健康課題を発見したり、解決策を見つけることが重要となる。歯科保健行動への変容のためには、信頼関係の確立が必要であり、コミュニケーションスキルが不可欠である。</p> <p>a○ 社会生活に必要な常識や心構え、対人能力、思考力などのノンテクニカルスキル（非医療技術）は、対象者とのコミュニケーションなどで必要とされる。仕事を行う時には、その仕事を行うためのテクニカルスキル（専門的な知識や技術）が必要であるが、テクニカルスキルの向上には、ノンテクニカルスキルの習得が必要である。</p> <p>b○ インタラクティブ（対話型）なコミュニケーションであれば、対象者が不安を感じることは少ない。</p> <p>c× 「開かれた質問」のほうが、いろいろと考えて答えようと努力するため、より多くの情報を引き出せる。</p> <p>d× 良好なコミュニケーションの基本は、相手（患者側）に話をさせることである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 36、80-82 みがこう！コミュニケーション・センス 歯科医院での医療安全のために 12-31</p>
<p>79 フレイルで正しいのはどれか。</p> <p>a 日和見感染症である。</p> <p>b 症状は可逆的である。</p> <p>c 寝たきりの状態をさす。</p> <p>d 診断基準に腹囲が含まれる。</p> <p>▶keyword: フレイル</p>	<p>解答: b</p> <p>フレイルとは虚弱のことで、加齢に伴い心身の活力が低下して要介護状態に陥りやすくなることをいう。</p> <p>a× 日和見感染症とは、宿主の感染に対する防御能が低下したときに、通常ではほとんど病気を起こさないような病原体によって引き起こされる感染症のことである。</p> <p>b○ フレイルは、適切な介入により元の状態に戻る（近づく）ことが可能な可逆性のものである。早期発見・早期対処で、フレイルからの脱却や、生活機能の維持・向上が図れるとされている。</p> <p>c× フレイルは要介護状態に陥る前段階の状態をさす。</p> <p>d× フレイルは、体重減少、身体活動量の低下、疲労感、筋力低下などから判断される。腹囲が含まれるのはメタボリックシンドロームの診断基準である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 308 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 72</p>
<p>80 デンタルフロスの使用目的はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 根分岐部の清掃</p> <p>b 隣接面う蝕の検知</p> <p>c 余剰セメントの除去</p> <p>d 矯正装置周囲の清掃</p> <p>▶keyword: 歯間部清掃用具、デンタルフロス、歯間ブラシ</p>	<p>解答: b, c</p> <p>歯および歯肉の状態に適した歯間部清掃用具の選択は、歯科衛生士による歯科保健指導で重要なポイントとなる。デンタルフロスは歯間部隣接面やポンティック基底部などの清掃に使用されるほか、補綴装置装着時の余剰セメントの除去、コンタクトの確認、隣接面う蝕や二次う蝕の検知、充填物のマージンの確認、フッ化物などの薬剤の塗布に使用される。</p> <p>a× 根分岐部の清掃は歯間ブラシの使用が適している。</p> <p>b○</p> <p>c○</p> <p>d× 矯正装置周囲部の清掃は歯間ブラシの使用が適している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 215 ポイントチェック 第5版 ⑤ 73</p>

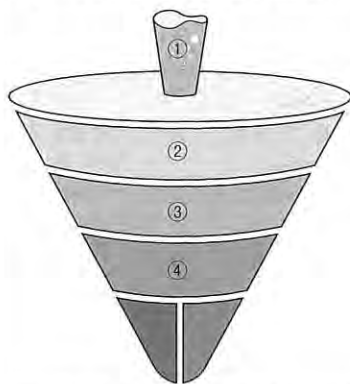
問題 A	解答・解説
<p>81 歯磨剤の基本成分と成分名の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 研磨剤—水酸化アルミニウム</p> <p>b 粘結剤—アルギン酸ナトリウム</p> <p>c 発泡剤—リン酸水素カルシウム</p> <p>d 湿潤剤—ラウリル硫酸ナトリウム</p> <p>▶keyword: 歯磨剤の成分</p>	<p>解答: a, b</p> <p>歯磨剤の基本成分は、清掃剤（研磨剤）、湿潤剤、発泡剤、粘結剤、香味剤、保存料である。</p> <p>a○ 水酸化アルミニウムは清掃剤（研磨剤）である。</p> <p>b○ アルギン酸ナトリウムは粘結剤である。</p> <p>c× リン酸水素カルシウムは清掃剤（研磨剤）である。</p> <p>d× ラウリル硫酸ナトリウムは発泡剤である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 210-214</p>
<p>82 歯肉のマッサージに効果があるブラッシング方法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 垂直法</p> <p>b チャーターズ法</p> <p>c スティルマン法</p> <p>d スクラッピング法</p> <p>▶keyword: 歯肉のマッサージ</p>	<p>解答: b, c</p> <p>歯ブラシを用いたブラッシングは、口腔内の付着物の効果的な除去、歯肉マッサージなどの目的に合わせたさまざまな方法が考案されている。</p> <p>a× いわゆる縦磨き法である。操作が簡単で歯間部の清掃が容易であるが、歯頸部の清掃効果は低い。</p> <p>b○ チャーターズ法は、歯間乳頭部の歯肉のマッサージに有効である。</p> <p>c○ スティルマン法は、歯肉のマッサージを主目的とした方法であり、プラークの除去効果は低い。</p> <p>d× スクラッピング法は歯ブラシの毛先を用いた方法で、歯頸部のプラーク除去が目的である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 216-219</p>
<p>83 口腔乾燥症により起こるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 口臭</p> <p>b 耳下腺の腫脹</p> <p>c 口腔粘膜の炎症</p> <p>d シェーグレン症候群</p> <p>▶keyword: 口腔乾燥症、唾液腺疾患、シェーグレン症候群</p>	<p>解答: a, c</p> <p>口腔乾燥症とは、唾液分泌量が低下して口腔内が持続的に乾燥状態になることである。その原因には、膠原病や糖尿病、ストレスや脱水、薬剤投与の副作用、口呼吸や口腔機能低下などがある。唾液の分泌量が低下することにより唾液が本来もつさまざまな働きも悪くなる。そのため、う蝕や歯周病の悪化に加え、口腔粘膜の炎症や疼痛、口臭が起りやすくなり、咀嚼障害や嚥下障害などの問題も生じる。</p> <p>a○ 唾液の洗浄作用の低下により、食物残渣や細菌の停滞が起り、口臭の原因となる。</p> <p>b× 耳下腺の腫脹は、ムンプスウイルスにより起こる流行性耳下腺炎などでみられる。</p> <p>c○ 唾液分泌量の減少により潤滑作用が低下すると粘膜の炎症が起りやすくなる。</p> <p>d× シェーグレン症候群は自己免疫性疾患であり、口腔乾燥（ドライマウス）はこの疾患によって生じる症状の1つである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 284 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 140-141 直前マスター 歯科保健指導！ 第2版 49</p>

問題 A		解答・解説
84	<p>5歳の女兒。指しゃぶりの習癖があり、しゃぶる頻度も減る様子がみられず、昼間もよくしゃぶっている。</p> <p>考えられる歯科的影響はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 舌癖 b 開咬 c 指だこ d 自食機能の低下</p> <p>▶keyword: 指しゃぶり</p>	<p>解答: a, b</p> <p>指しゃぶりは乳歯列期にみられる口腔習癖の1つである。乳児期・幼児期前半では生理的なものであるが、幼児期後半まで継続している場合は問題行動となり、舌癖を誘発するなど問題が複雑化する。開咬・上顎前突などの誘因ともなるので、保健指導ならびに治療の対象となる。その際、指しゃぶりの実態を総合的に判断して方針を決めていくことが重要である。</p> <p>a○ 幼児期後半まで継続している場合に誘発されることがある。 b○ 開咬・上顎前突などの誘因ともなる。 c× 身体的影響である。 d× 指しゃぶりの有無に影響を受けることは考えにくい。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 260 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 208-209</p>
85	<p>31歳の男性。歯肉の出血を主訴に来院した。10年間喫煙しており、禁煙する気はないという。</p> <p>この患者に対する指導で適切なのはどれか。</p> <p>a 歯ぐきの出血は喫煙が原因です。今すぐに止めてください。 b 喫煙が原因で歯周病が重症化しています。吸い続けると後悔することになります。 c 歯周病の原因は喫煙です。禁煙補助薬を使えば簡単に禁煙できるので、今日から始めましょう。 d 喫煙を続けると歯周病のリスクが増えます。禁煙に向けて少しずつ始められそうなことはありますか。</p> <p>▶keyword: 喫煙、禁煙支援、歯周病</p>	<p>解答: d</p> <p>禁煙支援では面接による動機づけが重要となる。一方的な権威的面接でなく、患者の意思決定や自立を尊重した動機づけ面接技法が推奨されている。</p> <p>a× 権威的面接であり、適切な指導ではない。 b× 権威的面接で脅すような指導は適切ではない。 c× 禁煙補助薬は禁煙を開始した人が離脱症状の緩和のために用いるものであり、すぐに禁煙ができるようになるものではない。 d○ 禁煙に関心をもたない無関心期にある患者へは、まずは禁煙実行への糸口をみつけることから始めるのが有効である。</p> <p>文献: ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック 84-89 歯科衛生士のための禁煙支援ガイドブック 39-42</p>
86	<p>41歳の女性。抗うつ薬を服用中である。口腔の乾燥感を訴えて来院した。</p> <p>適切な対応はどれか。</p> <p>a すぐに服薬を中止するよう指導する。 b 唾液腺マッサージの方法を指導する。 c 毎日欠かさず洗口剤を使うよう指導する。 d 薬の副作用であるため我慢するよう伝え、励ます。</p> <p>▶keyword: うつ病、抗うつ薬、口腔乾燥</p>	<p>解答: b</p> <p>抗うつ薬の副作用により口腔乾燥を訴えることがあり、症状によっては担当医と相談することも必要である。唾液分泌量の減少がないにもかかわらず、口腔乾燥に似た症状を訴える場合もある。</p> <p>a× 服薬の管理については主治医への相談が必要である。 b○ 唾液腺マッサージを行うことで唾液の流出が実感できれば、患者の安心感にもつながるため、有効である。 c× うつ病の患者に努力を強いるような指導は不適切である。また洗口剤は種類によっては口腔乾燥を増強するおそれがあるため注意が必要である。 d× うつ病患者に対して、励ますような声かけは不適切である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 43 ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック 128</p>

問題 A		解答・解説
87	<p>平成29年国民健康・栄養調査の栄養素摂取量の調査結果(性・年齢階級別)を図に示す。</p> <p>示されている栄養素はどれか。</p> <p>a 炭水化物 b たんぱく質 c カルシウム d n-6系脂肪酸</p> <p>▶keyword: 国民健康・栄養調査、日本人の食事摂取基準</p>	<p>解答: b</p> <p>問題を解くにあたっては、「日本人の食事摂取基準(2015)」に示されている数値も目安として参考となる。</p> <p>a× 平成29年国民健康・栄養調査では、炭水化物はすべての年齢階級で1日あたり男性280g前後、女性230g前後を摂取している。 b○ 「日本人の食事摂取基準(2015)」では、1日あたりのたんぱく質推奨量(18歳以上)を男性60g、女性50gとしている。 c× 「日本人の食事摂取基準(2015)」では、1日あたりのカルシウム推奨量(18~29歳)を男性800mg、女性650mgとしている。 d× 「日本人の食事摂取基準(2015)」では、1日あたりのn-6系脂肪酸目安量(18~29歳)を男性11g、女性8gとしている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 180-183、212-213、217</p>
88	<p>中性脂肪について正しいのはどれか。</p> <p>a エネルギー源となる。 b 複合脂質に分類される。 c 細胞膜の主要構成成分である。 d トリプシンによって分解される。</p> <p>▶keyword: 中性脂肪</p>	<p>解答: a</p> <p>中性脂肪はトリグリセリドともよばれ、グリセリン(グリセロール)に3分子の脂肪酸が結合した単純脂質の一種である。</p> <p>a○ 中性脂肪は生体内に貯蔵されてエネルギー供給源となる。 b× 中性脂肪は単純脂質に分類される。 c× 細胞膜の主要構成成分は複合脂質のリン脂質である。 d× 中性脂肪はリパーゼによって脂肪酸とモノグリセリドに分解される。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 16-18、24、153</p>
89	<p>乳幼児期の摂食嚥下機能の発達について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 生後2歳頃に口と手の協調運動を獲得する。 b 舌の機能は前後運動→左右運動→上下運動の順に発達する。 c 頸部の安定・哺乳反射の消失は離乳食開始時期の目安となる。 d 生後9~11か月頃に食物を奥の歯ぐきでつぶすことができるようになる。</p> <p>▶keyword: 離乳初期、離乳中期、離乳後期、離乳完了期</p>	<p>解答: c, d</p> <p>離乳期は食べ方の変化により、離乳初期(口唇食べ期)・離乳中期(舌食べ期)・離乳後期(歯ぐき食べ期)・離乳完了期(歯食べ期)の4期に分けられる。離乳は乳児の摂食行動、舌・口唇・顎などの形態の成長と機能の発達を考慮し、成長の経過を評価しながら進めていく。</p> <p>a× 口と手の協調運動を獲得する時期は生後12~18か月頃である。 b× 舌の機能は前後運動→上下運動→左右運動の順に発達する。 c○ d○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 249、255</p>

問題 A

90 食事バランスガイドの概念を図に示す。



①～④にあてはまる食品で正しいのはどれか。

- a ①—牛乳・乳製品
- b ②—主食
- c ③—主菜
- d ④—副菜

▶keyword: 食事バランスガイド

91 3歳の男児。う蝕治療のため歯科医院を来院。偏食が目立ち野菜を全く食べず、毎回食事を残してしまうと母親から相談があった。間食は1日3～5回で、チョコレートやビスケットが多いという。

食生活に関する歯科保健指導で伝えるべきことはどれか。2つ選べ。

- a 食事の回数を減らす。
- b 野菜の調理方法を工夫する。
- c 間食回数を1日1～2回に減らす。
- d ただちに甘いものを与えるのをやめる。

▶keyword: 幼児、間食、偏食

解答・解説

解答: b

食事バランスガイドは「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるものとして、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安をイラストで示したものである。食生活指導を行う際、特徴と問題点を十分に把握したうえで実生活に反映できるような知識をもつ必要がある。

- a × ①は水・お茶である。
- b ○
- c × ③は副菜である。
- d × ④は主菜である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 40-41
最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 185-187

解答: b, c

自我が芽生える3歳頃から、食べ物の好き嫌いがはっきりして偏食が始まる。食事の強要などの精神的な要因や間食の摂り過ぎにより、食欲不振になることもある。子ども1人で食事をする孤食や、朝食などを抜く欠食を避け、食事時間をなるべく一定にすることが、規則正しい食生活を送るために重要である。

- a × 1日3回の食事に加えて1～2回の間食を摂ることが、幼児期には必要である。よって、食事の回数を減らすことは適切ではない。
- b ○ 子どもが野菜を美味しく食べられるよう工夫するのはよいことである。この男児は偏食だけでなく、毎回食事を残すという問題もあるため、まずは間食を減らして、徐々に野菜も食べられるように工夫することが望ましい。
- c ○ 1日に必要な栄養を3回の食事では満たせない幼児にとって間食は必要である。ただし、適切な間食回数は1～2回であり、多すぎる間食は食欲不振を招き、肝心の食事が食べられないという問題が発生する。この男児は間食回数が多いうえ、内容が甘いものであるため、間食回数を減らすことが優先となる。
- d × 砂糖の過剰摂取はう蝕の原因となるため、間食ではなるべく甘いものを避けたほうがよい。しかし、急に甘いものを制限することは子どもにとっても親にとってもストレスとなる可能性が高いため、今回のケースにおいては、まず間食回数を減らし、そこから徐々に間食の内容も検討していくことが妥当だと考えられる。

文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 137-138
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 258-263

問題 A

92 摂食嚥下について下線部で正しいのはどれか。2つ選べ。

摂食嚥下とは、食物を認知し、口腔に取り込み、口腔、喉頭、食道を経て胃に送り込まれるまでの一連の随意運動による過程である。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶keyword: 摂食嚥下

解答・解説

解答: a, c

摂食嚥下とは、食物が認知されることに始まり、口腔、咽頭・食道を経て胃に送り込まれる反射性の過程のことをいう。呼吸のための空気の通り道を気道とよび、空気は「鼻腔→咽頭→喉頭→気管→気管支→肺」の順に体内をめぐる。一方、飲食物は「口腔→咽頭→食道→胃」という順序をたどる。空気と飲食物の通り道は咽頭を共有する。

- a ○
- b × 喉頭は飲食物の通り道ではなく、空気の通り道である。
- c ○
- d × 摂食嚥下の一連の動作は、随意運動に始まり反射運動へ移行する複雑な一連の動作である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 18-20
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 23-25、36

93 高齢者歯科口腔健診票を図に示す。

評価する項目はどれか。

- a PCR
- b FIM
- c RSST
- d MMSE

▶keyword: 口腔機能の評価

解答: c

図の健診票には口腔機能を評価する項目が含まれており、口腔機能の低下や、口腔内細菌を起因とする誤嚥性肺炎などの疾病を予防するために実施されている。

- a × PCRはPlaque Control Recordの略でプラークの付着の有無を評価するものである。プラーク染色後、歯面を頰側・舌側・近心・遠心の4つに分け、染色された歯頸部歯面数をカウントする。
- b × FIMは機能的自立度評価表(Functional Independence Measure)のことで、ADLの評価を行うものである。「運動項目」と「認知項目」で構成されており、ADLの実行状況を評価する。
- c ○ RSSTは反復唾液嚥下テスト(Repetitive Saliva Swallowing Test)のことで、「5. 嚥下機能評価」に用いる。30秒間で何回唾液を嚥下できるかを観察するもので、触診にて喉頭挙上を確認しながら行う。嚥下回数が3回未満だった場合、「要注意」と判定する。
- d × MMSEはMini Mental State Examinationの略で、認知症(認知機能)のスクリーニング検査のことである。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 105-109
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 76-86、166-171

問題 A	解答・解説
<p>91 75歳の男性。脳梗塞で右片麻痺となりベッド上での生活が主体であるが、介助により座位を保つことができる。また自分で義歯を外し、電動歯ブラシや手用歯ブラシで前歯だけは磨くことができる。ブクブクうがいもできるが、義歯の装着はできない。この男性の改訂 BDR 指標と自立度の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a うがい (R)——ランク a b 歯磨き (B)——ランク b c 歯磨き (B)——ランク c d 義歯着脱 (D)——ランク c</p> <p>▶keyword: 改訂 BDR 指標</p>	<p>解答: a、b</p> <p>高齢者、特に要介護高齢者においては、口腔清掃状態を良好に維持するために、口腔清掃の自立度がどの程度であるかを把握することが大切である。口腔清掃自立度判定基準 (BDR 指標) は、歯磨き、義歯着脱、うがいの3項目を a (自立)、b (一部介助)、c (全介助) の3段階で評価する。歯磨きには電動歯ブラシの使用を含む。</p> <p>a○ 自分でブクブクうがいができることから、改訂 BDR 指標のうがいは自立であり、ランク a である。</p> <p>b○ 自分で前歯だけは磨くことができるのは一部介助であることから、改訂 BDR 指標の歯磨きはランク b である。</p> <p>c× ランク c は全介助であり、自分では磨けない状態が当てはまる。</p> <p>d× 義歯の着脱については、外すことはできるが装着できないことから一部介助であり、改訂 BDR 指標の義歯着脱はランク b である。ランク c は全介助であり、自分では全く着脱できない状態をさす。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 111 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 78-80</p>
<p>95 写真 (別冊 No. 11) を別に示す。この媒体の名称はどれか。</p> <p>a 紙芝居 b リーフレット c ペープサート d パネルシアター</p> <p>▶keyword: パネルシアター</p>	<p>解答: d</p> <p>健康教育を効果的に行うためには、対象者や場所に適した媒体を選択する必要がある。</p> <p>a×</p> <p>b× リーフレットとは宣伝・案内などのための、一枚刷りにした印刷物で、折りたたんで冊子状にしたものも含まれる。</p> <p>c× 紙に人物や動物などを描いたものを割りばしなどの棒につけ、背景の前で動かして演じる紙人形劇のことである。</p> <p>d○ パネルシアターとは、フランネルなどの布を貼ったパネル (舞台) に、人形や絵を貼ったり外したりして、おはなし、歌あそび、ゲームなどを展開するものである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 331-333</p>
歯科診療補助論	
<p>96 バイオハザードマークの図 (別冊 No. 12) を別に示す。このマークの付いた容器に廃棄するのはどれか。</p> <p>a 血液 b 血液の付着したメス刃 c 血液の付着したガーゼ d 唾液の付着したガーゼ</p> <p>▶keyword: 感染性廃棄物</p>	<p>解答: b</p> <p>感染性廃棄物は、形状によって3種類に分別しバイオハザードマークのついた容器に廃棄する。液状または泥状のものは「赤」、固形状のものは「橙」、鋭利なものは「黄」に分類される。</p> <p>a× 液状または泥状のものは、「赤」のバイオハザードマークの容器に廃棄する。</p> <p>b○ 注射針やメス刃のような鋭利なものは、「黄」のバイオハザードマークの容器に廃棄する。</p> <p>c× 固形状のものは、「橙」のバイオハザードマークの容器に廃棄する。</p> <p>d× 固形状のものは、「橙」のバイオハザードマークの容器に廃棄する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 45</p>

問題 A	解答・解説
<p>97 スタンダードプレコーションにおいて、血液、体液、排泄物などが床にこぼれた時に使用する消毒薬はどれか。</p> <p>a フタラール b ポビドンヨード c 次亜塩素酸ナトリウム d クロロヘキシジングルコン酸塩</p> <p>▶keyword: スタンダードプレコーション</p>	<p>解答: c</p> <p>標準予防策 (スタンダードプレコーション) において、血液、体液、排泄物などが床にこぼれた時は、グローブ、プラスチックエプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム処理を行う。</p> <p>a× フタラールは高水準消毒薬で、医療器具に使用する。</p> <p>b× ポビドンヨードは中水準消毒薬で、手指や皮膚などの消毒に使用する。</p> <p>c○ 次亜塩素酸ナトリウムは中水準消毒薬で、医療器具の消毒や、血液や体液、排泄物に汚染された床や器具の消毒などに使用する。</p> <p>d× クロロヘキシジングルコン酸塩は低水準消毒薬で、手指や皮膚、医療器具の消毒に使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 19、39 ポイントチェック 第5版 ⑤ 153、158</p>
<p>98 シリコンゴム印象材の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 安価である。 b 寸法変化が大きい。 c 引裂き強さが大きい。 d 不快な味やにおいが無い。</p> <p>▶keyword: シリコンゴム印象材</p>	<p>解答: c、d</p> <p>シリコンゴム印象材は不可逆性の弾性印象材で、付加型と縮合型がある。シリコンゴム印象材の長所は、①寸法変化が小さい (特に付加型)、②弾性回復がよい、③引裂き強さが大きい、④不快な味やにおいが無い、などがある。短所は、①弾性ひずみが小さいため大きなアンダーカット部位では印象の撤去が困難である (特に付加型)、②硬化後に経時的に収縮する (縮合型)、③高価、などがある。</p> <p>a× ほかの印象材に比べて高価である。</p> <p>b× 寸法変化は小さい。</p> <p>c○</p> <p>d○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科材料 49-51</p>
<p>99 印象用トレーの写真 (別冊 No. 13) を別に示す。トレーと印象材との組合せで誤っているのはどれか。</p> <p>a ①—アルジネート印象材 b ②—ゴム質印象材 c ③—モデリングコンパウンド d ④—酸化亜鉛ユージノール印象材</p> <p>▶keyword: 印象用トレー、有歯顎、無歯顎</p>	<p>解答: d</p> <p>印象採得に用いられるトレーには、金属やプラスチックで製作された既製トレーと、患者の歯列や顎堤の状態に合わせて常温の重合レジンで製作する個人トレーがある。</p> <p>a○ ①はリムロックトレーで、アルジネート印象材、シリコンゴム印象材での印象採得に用いる。</p> <p>b○ ②は個人トレーであり、接着材を塗布して用いる。個人トレーを用いた精密印象採得には、シリコンゴム印象材などの寸法精度のよい印象材を用いる。</p> <p>c○ ③は無歯顎用トレーである。無歯顎の概形印象に用いる。モデリングコンパウンドは非弾性印象材で、無歯顎の概形印象や筋圧形成に用いる。</p> <p>d× ④は有孔トレーで、主にアルジネート印象材での印象採得に用いる。酸化亜鉛ユージノール印象材は非弾性印象材のため、アンダーカットのない無歯顎の精密印象に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 120-124 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 193-213 最新歯科衛生士教本 歯科材料 46-55 ポイントチェック 第5版 ⑤ 201-203</p>

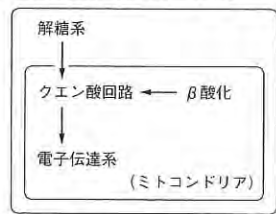
問題 A		解答・解説
100	<p>コンボジットレジン修復の接着システムを図に示す。</p> <pre> graph TD A[エッチング] --> B[水洗・乾燥] B --> C[プライマー塗布] C --> D[乾燥] D --> E[ボンディング材塗布] E --> F[光照射] </pre> <p>この接着システムはどれか。</p> <p>a スリーステップシステム b エッチアンドリンスシステム c セルフエッチングプライマーシステム d オールインワンアドヒーズシステム</p> <p>▶keyword: コンボジットレジン修復、接着システム</p>	<p>解答: a</p> <p>コンボジットレジンと歯質が接着するために必要なのは、①エッチングとよばれる歯面処理を行うことで歯面をきれいにする、②表面を改質してレジンの浸透をよくする(プライミング)、③ボンディング材であるレジンをしみこませて十分に硬化させる、という基本ステップである。基本的にはこの3ステップを行うが、最近ではステップ数を減らした簡便なシステムが開発されている。</p> <p>a○ エッチング、プライミングそしてボンディングを行うシステムである。 b× プライミングアドヒーズともよばれ、プライミングとボンディングを同時処理することによってツーステップとしたシステムである。 c× プライマーの中に酸性のレジンモノマーを配合し、歯質のエッチングと象牙質のプライミングを同時に行い、ボンディング材を塗布するツーステップシステムである。 d× ワンステップシステムともよばれ、エッチング、プライミングおよびボンディングのプロセスを1回の処理で行うシステムである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 43-44、86 最新歯科衛生士教本 歯科材料 101-104</p>
101	<p>器具の写真(別冊 No. 14)を別に示す。この器具を用いる外科的歯内療法はどれか。</p> <p>a 根尖搔爬法 b 根尖切除法 c 歯根切断法 d 歯根分離法</p> <p>▶keyword: 外科的歯内療法、使用器具</p>	<p>解答: c</p> <p>写真は上顎の残根用抜歯鉗子である。外科的歯内療法では歯根を除去するのは歯根切断法およびヘミセクション(トライセクション)である。</p> <p>a× 根尖病変を搔爬して除去する処置である。 b× 根尖病変とともに根尖の一部を切断し、周囲の感染組織を除去する処置である。必要に応じて逆根管充填を行う。 c○ 複根歯において、パーで保存不可能な1根を切断し、他の歯根と歯冠部はそのまま残して歯を保存する処置である。 d× 複根歯において、歯根を分割分離し、単根歯2歯として歯を保存する処置である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 172-178、213-216 最新歯科衛生士教本 歯科機器 134-136 ポイントチェック 第5版 ⑤ 189-191</p>

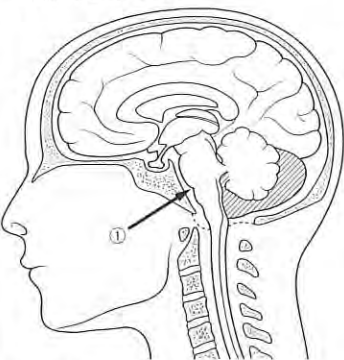
問題 A		解答・解説
102	<p>写真(別冊 No. 15)を別に示す。この器具を用いる処置に準備する器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬合紙 b 咬合平板 c ワックススパチュラ d モデリングコンパウンド</p> <p>▶keyword: 咬合床、咬合採得、有床義歯</p>	<p>解答: b, c</p> <p>写真は咬合床であり、有床義歯の製作において、咬合採得時に使用するものである。全部床義歯の顎間関係の記録では、仮想咬合平面を決定し、垂直的顎間関係の記録、水平的顎間関係の記録を行う。部分床義歯においても、残存歯があっても対合関係がない場合などは咬合床による咬合採得が必要となる。</p> <p>a× 咬合紙は義歯の咬合採得ではなく、咬合調整に用いる。 b○ 咬合平板は仮想咬合平面を決定する際に用いる。 c○ ワックススパチュラは咬合床の調整時に用いる。 d× モデリングコンパウンドは印象採得に用いる。棒状やシート状があり、精密印象の際の筋圧形成には棒状を、無歯顎の概形印象採得にはシート状を用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 94-100、163-164 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 138-143 ポイントチェック 第5版 ⑤ 204-205</p>
103	<p>45歳の女性。スタディモデルを製作するために概形印象採得を行うことになった。患者には嘔吐反射がある。歯科衛生士の対応で適切なのはどれか。</p> <p>a 頭部を後屈させる。 b 上顎から印象採得する。 c 口呼吸を促すように促す。 d 上顎のトレーは後方から前方へ圧接する。</p> <p>▶keyword: 嘔吐反射</p>	<p>解答: d</p> <p>嘔吐反射の既往がある場合の印象採得は、①デンタルチェアを起し座位にする、②鼻呼吸を促す、③頭部を前屈させる、④トレーに印象材を盛り過ぎないようにする、⑤下顎から印象採得を行う、⑥上顎のトレーは後方から前方へ圧接する、⑦必要に応じて表面麻酔を応用する、などの対応を行う。</p> <p>a× 頭部を前屈させることにより、印象材が喉へ流れないようにする。 b× c× トレーを口腔内挿入する前に鼻で深呼吸させ、挿入後も鼻呼吸を続けるように促す。 d○ 上顎のトレーは後方から前方へ圧接することにより、軟口蓋への刺激を抑える。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 196-197</p>
104	<p>局所止血薬はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 酸化セルロース b ビタミンK製剤 c ゼラチンスポンジ d アドレノクロム製剤</p> <p>▶keyword: 局所止血薬</p>	<p>解答: a, c</p> <p>止血薬には、局所的に適応するものと全身的に適応するものがある。全身性疾患に基づく出血性素因を有する場合には、外科的処置、全身性止血薬および局所止血薬の併用を必要とするが、出血性素因を有さない場合には、局所止血薬の使用により止血効果が期待できる。</p> <p>a○ 酸化セルロースは局所止血薬である。綿やガーゼを酸化して柔軟にしたもので、成分中のポリ無水グルコン酸はヘモグロビンと親和性があり、結合することにより凝血塊ができて止血する。 b× ビタミンK製剤は全身性止血薬である。抗菌薬の長期投与などによるビタミンKの合成阻害などでビタミンKが欠乏した場合に使用する。 c○ ゼラチンスポンジは局所止血薬である。血小板を破壊する作用があり、血小板から血液凝固因子を放出させて血液凝固を亢進させる。 d× アドレノクロム製剤は全身性止血薬である。毛細血管の透過性の抑制作用、および血管抵抗性の増強作用を有しており、漏出性出血に対して有効である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 166 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 114-115</p>

問題 A	解答・解説
<p>105 器具の先端の写真(別冊 No. 16)を別に示す。 ワイヤーの切断に用いる器具はどれか。 2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: ワイヤーの切断、ワイヤーの屈曲</p>	<p>解答: a, d 矯正装置の製作および調整には、多くの種類のワイヤー(金属線)やブライヤー(鉗子)類が使用される。</p> <p>a ○ ①はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー(結紮線)やロックピンなど細い線の切断に用いる。</p> <p>b × ②はツイードアーチベンディングブライヤーである。レクタングュラーワイヤー(角線)にトルク(アーチワイヤーをねじるような屈曲)を付与するために用いる。</p> <p>c × ③はヤングブライヤーである。比較的太いワイヤーを屈曲するためのブライヤーで、舌側弧線装置の主線や補助弾線、クラスプの屈曲、調整に用いる。</p> <p>d ○ ④はディスタルエンドカッターである。バックルチューブの遠心端から突き出たアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するのに用いる。先端はバックルチューブの遠心端に到達するようL字型になっており、切断したワイヤーが飛ばないように把持できる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 173-182 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 127-132 最新歯科衛生士教本 歯科機器 159-163</p>
<p>106 25歳の男性。矯正治療を希望し来院した。診断のための資料として顔面規格写真撮影を行う。 撮影準備で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬頭嵌合位で咬合せせる。 b カンベル平面と床面を平行にする。 c カメラレンズは咬合平面の高さに合わせる。 d 頭部固定装置のイヤードットと耳の高さをそろえる。</p> <p>▶keyword: 顔面規格写真</p>	<p>解答: a, d 顔面規格写真撮影は初診時、治療経過、治療終了後まで定期的に撮影する。そのため、カメラの距離や光量、倍率などの規格を一定にする必要がある。</p> <p>a ○ b × フランクフルト平面と床面を平行にする。 c × カメラレンズは目の高さに合わせる。 d ○ 患者の耳介を露出し、頭部固定装置のイヤードットと耳の高さをそろえる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 120-121</p>
<p>107 小児における口腔習癖に起因する不正咬合の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 弄舌癖——開咬 b 咬爪癖——叢生 c 吸指癖——下顎前突 d 舌小帯の付着異常——正中離開</p> <p>▶keyword: 口腔習癖に起因する不正咬合</p>	<p>解答: a, b 歯列は外側の口唇や頬筋と内側の舌の筋力のバランスのうえに成り立っている。しかし口腔習癖が長期間継続すると、このバランスが崩れて歯列や咬合に悪影響をきたすようになる。それぞれの癖が及ぼす不正咬合について理解しておくことが大切である。</p> <p>a ○ 弄舌癖は、舌を上下顎歯列間に入れ込む癖である。異常嚥下癖と一緒に起こる場合が多い。上下顎前歯部の唇側傾斜や開咬がみられる。</p> <p>b ○ 咬爪癖は、爪を咬む癖である。3歳頃から始まり学童期に増加する。原因としては、精神的緊張の高まりがあげられる。歯列への影響としては、正中離開や前歯部の叢生がみられることがある。</p> <p>c × 吸指癖は、指を吸う癖である。上顎乳前歯部の唇側傾斜と下顎乳前歯部の舌側傾斜が起り、結果的に上顎前突や前歯部の開咬、上顎歯列弓の狭窄がみられる。</p> <p>d × 正中離開を引き起こすのは舌小帯ではなく上唇小帯の付着異常である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 43</p>

問題 A	解答・解説
<p>108 摂食嚥下障害患者の栄養管理中の写真(別冊 No. 17)を別に示す。 この栄養管理法はどれか。</p> <p>a 胃瘻 b 経鼻経管栄養 c 中心静脈栄養 d 末梢静脈栄養</p> <p>▶keyword: 代替栄養法、末梢静脈栄養、摂食嚥下障害</p>	<p>解答: d 栄養管理の方法は経腸栄養法と静脈栄養法に大別される。腸管を利用して栄養を吸収する経腸栄養法には、経鼻経管栄養法や胃瘻などがある。直接血管内に栄養剤を投与する静脈栄養法には、中心静脈栄養法と末梢静脈栄養法がある。</p> <p>a × 腹部の皮膚から胃まで到達するカテーテルを留置し、そこから経腸栄養剤を投与する方法である。</p> <p>b × 外鼻孔から挿入したチューブの先端を胃まで入れ、そのチューブを通して胃まで栄養剤を投与する方法である。</p> <p>c × 上大静脈や下大静脈のような太い中心静脈から輸液を投与して栄養管理を行う方法である。カテーテルは鎖骨下静脈から挿入されることが多い。</p> <p>d ○ 四肢の細い末梢静脈から輸液を投与して栄養管理を行う方法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 103-105</p>
<p>109 生体モニタの写真(別冊 No. 18)を別に示す。 正しい組合せはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①——心電図 b ②——経皮的動脈血酸素飽和度 c ③——拡張期血圧 d ④——収縮期血圧</p> <p>▶keyword: 心電図、経皮的動脈血酸素飽和度、収縮期血圧、拡張期血圧</p>	<p>解答: a, b 生体モニタでは、血圧、心拍数、経皮的動脈血酸素飽和度、心電図などが表示される。</p> <p>a ○ b ○ c × ③は収縮期血圧である。 d × ④は拡張期血圧である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 170-172 最新歯科衛生士教本 歯科機器 57 ポイントチェック 第5版 ⑤ 249-252</p>
<p>110 一次救命処置はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 気管内挿管 b 昇圧剤投与 c CPRの実施 d AEDの使用</p> <p>▶keyword: 一次救命処置、二次救命処置</p>	<p>解答: c, d 一次救命処置(BLS: basic life support)は、器具を用いない気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫(心肺蘇生/CPR: cardiopulmonary resuscitation)、自動体外式除細動器(AED)の使用、窒息に対する気道異物除去をさす。気管内挿管や薬剤投与は医療行為であり、高度な救命処置(二次救命処置/ALS: advanced life support)である。</p> <p>a × 二次救命処置である。 b × 二次救命処置である。 c ○ d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 210 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 14</p>

問題 B	解答・解説
人体と歯・口腔の構造と機能	
111 異物や不要物を分解する細胞内小器官はどれか。 a 中心小体 b 滑面小胞体 c ゴルジ装置 d ライソゾーム (水解小体) ▶keyword: 細胞内小器官、細胞分裂、細胞の機能	解答: d 細胞内小器官は細胞質内に存在し、特有の形態と機能をもっている。選択肢の細胞内小器官に加えて、粗面小胞体、ミトコンドリアの機能、特にミトコンドリアに関しては、細胞のエネルギー源である ATP を産生すること、核とは異なる独自の DNA (ミトコンドリア DNA) をもつことも併せて理解する。 a × 中心小体は細胞分裂の際、細胞の両端に移動して、染色体を引っ張る細胞内小器官で、有糸分裂に関係する。 b × 小胞体には、表面にタンパク質を合成するリボソームが付いている粗面小胞体と、付いていない滑面小胞体がある。前者は細胞外に分泌するタンパク質を合成し、後者はステロイドホルモンや電解質や糖などの代謝に関わる細胞内小器官である。 c × ゴルジ装置は、小胞体で合成され、運搬されてきたタンパク質などを濃縮・加工し、分泌顆粒として送り出すものである。 d ○ ライソゾーム (水解小体) は一枚の膜で包まれた球状の細胞内小器官で、内部に加水分解酵素を含み、異物や不要になったものを消化・分解する。 文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 14-17 ポイントチェック 第5版 ① 6-7
112 頭蓋骨側面の写真 (別冊 No. 1) を別に示す。 矢印が示す部位に停止するのはどれか。 a 咬筋 b 側頭筋 c 内側翼突筋 d 外側翼突筋 ▶keyword: 下顎骨、下顎枝、筋突起、咀嚼筋、側頭筋	解答: b 咀嚼筋はすべて下顎枝に停止する。側頭筋は側頭窩に起始し、写真の矢印が示す筋突起に停止する。 a × 咬筋が停止するのは下顎角外面の咬筋粗面である。 b ○ 側頭筋が停止するのは下顎枝の筋突起である。 c × 内側翼突筋が停止するのは下顎角内面の翼突筋粗面である。 d × 外側翼突筋が停止するのは下顎頭 (翼突筋窩) と関節円板である。 文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 30-32、37-38
113 上顎の歯に分布するのはどれか。 a 上唇動脈 b 下歯槽動脈 c 眼窩下動脈 d 眼窩上動脈 ▶keyword: 外頸動脈、顎動脈、眼窩下動脈	解答: c 外頸動脈の枝のなかで上下の歯に分布するのは顎動脈である。顎動脈から分岐して上顎歯に分布するのが後上歯槽動脈と眼窩下動脈、下顎歯に分布するのが下歯槽動脈である。 a × 上唇動脈は顔面動脈の枝で、上唇周囲に分布する。 b × 下歯槽動脈は下顎歯に分布した後、オトガイ孔から出る。 c ○ 眼窩下動脈は眼窩下管中で前上歯槽動脈を出し、上顎前歯部に分布する。その本幹は眼窩下管中を前進し、眼窩下孔から出る。 d × 眼窩上動脈は内頸動脈の眼動脈の枝で、前頭部に分布する。 文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 49-50

問題 B	解答・解説
114 タンパク質とその機能に基づく分類の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。 a フェリチン———輸送タンパク質 b アミラーゼ———酵素タンパク質 c エラスチン———構造タンパク質 d トランスフェリン———貯蔵タンパク質 ▶keyword: タンパク質の働き、トランスフェリン、フェリチン、アミラーゼ、エラスチン	解答: b, c タンパク質は 20 種類のアミノ酸が鎖状に連結してできた高分子化合物で、生体内でさまざまな役割を果たしている。タンパク質は体の構造を保つ構造タンパク質 (コラーゲン、エラスチン、ケラチン) とその他の機能性タンパク質に大別される。 a × フェリチンは鉄の貯蔵に関与するタンパク質である。 b ○ アミラーゼは唾液や涙液に存在する消化酵素で、デンプンやグリコーゲンを分解する。 c ○ エラスチンは大動脈壁や靭帯に存在する構造タンパク質である。 d × トランスフェリンは鉄の輸送を担うタンパク質である。 文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 18-20、24、53、168
115 細胞内の代謝過程を図に示す。  示しているのはどれか。 a 糖の新生 b 脂肪の合成 c アミノ酸の分解 d エネルギーの獲得 ▶keyword: 解糖、β酸化、エネルギー代謝	解答: d 図は細胞内でのエネルギー代謝 (エネルギー獲得反応) 過程を示している。細胞質基質で起こる解糖系は酸素の十分でない状況で ATP を産生する。また、ミトコンドリア内では酸素存在下で多くの ATP を産生している。 a × 糖質が不足している時、新たに糖質を生成する経路である。一部を除き、解糖系の逆反応で生成される。 b × 脂肪の合成は細胞質で行われる。まず、アセチル CoA から脂肪酸を合成し、その後脂肪酸とグリセロールが結合し脂肪となる。 c × アミノ酸は、アミノ基転移反応でグルタミン酸に集約された後に、酸化的脱アミノ反応でアンモニアと炭素骨格部分に分解される。炭素骨格部分はクエン酸回路に入り分解される。アンモニアは尿素回路で尿素となり、尿中に排泄される。 d ○ 糖質 (単糖) は、細胞質での解糖系に引き続き、ミトコンドリア内でのクエン酸回路と電子伝達系で完全に分解され、エネルギー (ATP) を産生する。脂肪酸は、ミトコンドリア内でβ酸化を受けアセチル CoA となって、クエン酸回路と電子伝達系に入り分解される。 文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 29-30

問題 B	解答・解説
<p>116 中枢神経を図に示す。</p>  <p>①に存在するのはどれか。</p> <p>a 嚥下中枢 b 摂食中枢 c 飲水中枢 d 体温調節中枢</p> <p>▶keyword: 摂食嚥下、嚥下反射、嚥下中枢</p>	<p>解答: a</p> <p>延髄と橋および中脳を合わせて脳幹という。図の①は橋と延髄の境の部分(みんそく)をさしている。脳幹には生命維持に必要な自律機能の中枢がある。中脳よりさらに吻側に位置する視床下部は、自律神経系の最高中枢とされている。</p>  <p>a○ 脳幹の延髄と橋の境には、嚥下中枢および咀嚼中枢が存在する。 b× 摂食中枢には空腹中枢と満腹中枢があり、ともに視床下部に存在する。 c× 視床下部にある。塩分を過多に摂取すると体液の浸透圧が高まり飲水中枢は刺激される。その結果、水分摂取が促される。 d× 体温調節中枢は視床下部にある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 149-152 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 117-118</p>
<p>117 成人では消失している反射はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 口唇反射 b 開口反射 c 吸啜反射 d 屈曲反射</p> <p>▶keyword: 吸啜、原始反射</p>	<p>解答: a、c</p> <p>乳児では、母乳の摂取に関わる一連の反射がみられる。これらの多くは生後数か月で消失するため、原始反射とよばれる。乳児にみられる特有の反射に、口唇反射、吸啜反射などがある。口唇反射は、口唇に食刺激が加わると、口唇で乳首を挟み込むような動きを行う。吸啜反射は、乳首などが口に入ると、口唇と舌の協調的な運動で吸啜を行う。</p> <p>開口反射は、口腔内に痛み刺激が加えられると開口する反射である。屈曲反射は、手足に痛み刺激が加わった時に、手や足を引っ込める反射である。いずれも痛み刺激から身体を防御するための反射であり、成人になっても消失しない。</p> <p>a○ 口唇反射は、乳児にみられ、生後6か月頃に消失する。 b× 開口反射は、成人でもみられる。 c○ 吸啜反射は、乳児にみられ、生後6か月頃に消失する。 d× 屈曲反射は、成人でもみられる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 103-104 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 78</p>

問題 B	解答・解説
<p>118 血清カルシウム濃度を低下させるホルモンを分泌するのはどれか。</p> <p>a 副腎 b 腎臓 c 甲状腺 d 副甲状腺</p> <p>▶keyword: 内分泌、ホルモン、カルシウムの制御機構</p>	<p>解答: c</p> <p>血液中のカルシウム濃度を調節する主要ホルモンは、副甲状腺ホルモン(上皮小体ホルモンまたはパロトルモン)、甲状腺ホルモン(カルシトニン)である。副甲状腺ホルモンは血清カルシウム濃度を上昇させ、甲状腺ホルモンは低下させる。カルシウム濃度調節にはそのほかに活性型ビタミンD₃が関与する。活性型ビタミンD₃は腎臓や肝臓で代謝により生成され、腸管でのカルシウムの吸収や腎臓でのカルシウム再吸収を促進し、血清カルシウム濃度を上昇させる働きがある。</p> <p>a× 副腎からは副腎皮質ホルモンと副腎髄質ホルモンが分泌される。これらのホルモンには血糖値を上昇させる作用がある。 b× 腎臓は活性型ビタミンD₃を生成し血清カルシウム濃度を上昇させる働きがある。 c○ d× 副甲状腺からは副甲状腺ホルモンが産生・分泌される。このホルモンは骨吸収(骨のカルシウムイオンを血液中に放出する)および腎臓でのカルシウムの再吸収を促進する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 230-231</p>
疾病の成り立ち及び回復過程の促進	
<p>119 細胞の自立的増殖を示すのはどれか。</p> <p>a 扁平苔癬 b カンジダ症 c 扁平上皮癌 d ハンター舌炎</p> <p>▶keyword: 自立的増殖、腫瘍、過形成</p>	<p>解答: c</p> <p>腫瘍は、自立的な過剰増殖を示す病変である。自立的とは、生体の恒常性の維持の支配を受けないで、勝手に振る舞い(特に増殖)をする病変のことである。肥大との違いは、肥大は何らかの病的刺激が誘因となる反応性の病変であるが、腫瘍は反応性の病変ではない。</p> <p>a× 扁平苔癬は、中年女性の両側頬粘膜に生じ、レース様模様を示す網状型が最も多い。組織学的には上皮下を主としてTリンパ球の帯状浸潤という特徴的な所見が認められる。 b× カンジダ症は、<i>Candida albicans</i>の感染で生じる粘膜炎の1つである。高齢者や小児などの抵抗力の弱い人に好発する。日和見感染で生じることが多い。 c○ 扁平上皮癌は悪性上皮性腫瘍(癌腫)であり、自律増殖能が高く、早期発見を見逃すと予後不良である。最近では、口腔に発生するがんの発見率をあげるため口腔がん検診が行われている。 d× ハンター舌炎とは、悪性貧血などのビタミンB₁₂の欠乏で生じる舌粘膜の萎縮である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 60</p>
<p>120 う蝕円錐の頂点がエナメル象牙境側にあるのはどれか。</p> <p>a 平滑面から生じた象牙質う蝕 b 小窩裂溝から生じた象牙質う蝕 c 平滑面から生じたエナメル質う蝕 d 小窩裂溝から生じたエナメル質う蝕</p> <p>▶keyword: う蝕円錐、エナメル質平滑面う蝕</p>	<p>解答: c</p> <p>エナメル質および象牙質において、う蝕はエナメル小柱や象牙細管の走向に沿って進行するため、う蝕病巣の形態は円錐状を呈する。これをう蝕円錐という。平滑面から生じたエナメル質う蝕では底面が外側に、頂点がエナメル象牙境側にある。これに対し、小窩裂溝から生じたエナメル質う蝕では逆に底面がエナメル象牙境側にある。象牙質う蝕ではいずれの部位でも頂点が歯髄側にある(エナメル象牙境を底面としている)。</p> <p>a× 平滑面から生じた象牙質う蝕では頂点が歯髄側にある(エナメル象牙境を底面としている)。 b× 小窩裂溝から生じた象牙質う蝕では頂点が歯髄側にある(エナメル象牙境を底面としている)。 c○ 平滑面から生じたエナメル質う蝕では頂点がエナメル象牙境側にある。 d× 小窩裂溝から生じたエナメル質う蝕では頂点が外側にある(エナメル象牙境を底面としている)。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 91-94</p>

問題 B		解答・解説
121	<p>ウイルスにあるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 核酸 b 細胞壁 c カプシド d リボソーム</p> <p>▶keyword: ウイルス核酸、カプシド、エンペロープ</p>	<p>解答: a、c</p> <p>偏性細胞内寄生性で自己増殖能をもたないウイルスの基本構造は単純で、遺伝情報をもつウイルス核酸とそれを保護するカプシドからなる。さらにそれをエンペロープとよばれる(感染した細胞由来の)脂質膜で覆われたウイルスもある。</p> <p>a○ ウイルスは自身の遺伝情報を保存する核酸としてDNAまたはRNAをもつ。 b× ウイルスは細胞構造をもたない。細胞壁は原核生物では細菌、真核生物では真菌や植物がもつ構造で、ウイルスにはない。 c○ ウイルス核酸を格納して保護するタンパク質性の殻のことをカプシドとよぶ。 d× リボソームは自己増殖能のあるすべての生物がもつタンパク質合成装置である。ウイルスにはない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 49-50</p>
122	<p>グラム陽性菌はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 大腸菌 b 髄膜炎菌 c 黄色ブドウ球菌 d 化膿レンサ球菌</p> <p>▶keyword: グラム染色、ペプチドグリカン、黄色ブドウ球菌、化膿レンサ球菌</p>	<p>解答: c、d</p> <p>細菌は、その細胞壁の構造によってグラム染色性が異なり、グラム陽性菌とグラム陰性菌に分けられる。グラム陽性菌は分厚く密なペプチドグリカン層をもち、グラム染色でクリスタルバイオレットの青紫色に染まる。一方グラム陰性菌のペプチドグリカン層は薄くて疎であるためアルコール処理でクリスタルバイオレットが容易に溶出し(脱色)、後染色のサフラニンで赤色に染まる。</p> <p>a× 大腸菌はグラム陰性桿菌である。 b× 流行性脳脊髄膜炎を起こす髄膜炎菌はグラム陰性球菌である。 c○ 黄色ブドウ球菌はグラム陽性球菌であり、毒素を産生して皮膚の化膿性疾患や食中毒などさまざまな病気を起こす。近年、MRSAなどの薬剤耐性菌の増加が問題になっている。 d○ 化膿レンサ球菌はA群レンサ球菌ともいい、溶血毒などさまざまな病原因子を産生する。咽頭炎やリウマチ熱のほか、致死性の高い劇症型感染症を起こす。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 19、28-31</p>
123	<p>プラークの形成初期から成熟期にわたって最も優勢な細菌はどれか。</p> <p>a <i>Actinomyces</i> 属 b <i>Streptococcus</i> 属 c <i>Fusobacterium</i> 属 d <i>Porphyromonas</i> 属</p> <p>▶keyword: プラーク、レンサ球菌、歯周病原細菌</p>	<p>解答: b</p> <p>プラークの形成初期から成熟期の全期間において、最も優勢な細菌は <i>Streptococcus</i> 属(レンサ球菌)であるが、成熟に伴って <i>Fusobacterium</i> 属、<i>Actinomyces</i> 属、<i>Veillonella</i> 属などの嫌気性菌(偏性嫌気性菌)の増加が認められる。</p> <p>a× <i>Actinomyces</i> 属はグラム陽性の通性嫌気性から偏性嫌気性の桿菌で、プラークの成熟に伴いその数が増加する。 b○ <i>Streptococcus</i> 属はグラム陽性通性嫌気性球菌で、口腔細菌の中でも最も数が多く、プラークの形成初期にペリクルを介して歯面へ付着する。 c× <i>Fusobacterium</i> 属はグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、歯周病原細菌の1つである。プラークの成熟に伴いその数が増加する。 d× <i>Porphyromonas</i> 属はグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、代表的な歯周病原細菌の1つである。プラークの成熟に伴いその数が増加する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 115-120</p>

問題 B		解答・解説
124	<p>がんの薬物療法で口腔に発生する有害事象はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 顎骨壊死 b 口腔乾燥症 c 線維性異形成症 d エナメル質形成不全</p> <p>▶keyword: 抗悪性腫瘍薬、有害事象</p>	<p>解答: a、b</p> <p>a○ 顎骨壊死は骨転移阻害薬として用いられるビスホスホネート、抗RANKL抗体の副作用として生じる。 b○ 抗悪性腫瘍薬治療により、唾液腺の細胞が傷害を受け、口腔乾燥症が出現する。 c× 線維性異形成症は原因不明である。 d× エナメル質形成不全はテトラサイクリン抗生薬の副作用である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 127-128 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 85 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 51-52</p>
125	<p>末梢神経系の構成を図に示す。</p> <p>末梢神経系が薬理作用を現すのはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 局所麻酔薬、末梢神経、感覚神経、運動神経、交感神経、副交感神経</p>	<p>解答: d</p> <p>局所麻酔薬は、適用した局所周辺で作用し、感覚神経の刺激伝導を可逆的に遮断して痛みを抑制する。末梢神経系は自律神経系と体性神経系で構成されており、それぞれが中枢の情報をもつ末梢に伝える遠心性神経と末梢の情報をもつ中枢へ伝える求心性神経からなる。自律神経系に作用する交感神経作動薬や副交感神経作動薬、感覚神経系に作用する局所麻酔薬、および運動神経と骨格筋の接合部に作用する筋弛緩薬など、これら神経に関わる薬物は多い。</p> <p>a× 交感神経(①)に作用する薬物には、アドレナリンなどの交感神経作動薬がある。 b× 副交感神経(②)に作用する薬物には、アトロピンなどの副交感神経遮断薬がある。 c× 運動神経(③)に作用する薬物には、ツボクラリンなどの筋弛緩薬がある。 d○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 150</p>
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み		
126	<p>う蝕の特異的防御はどれか。</p> <p>a 栄養指導 b 歯科検診 c フッ化物洗口 d 口腔清掃指導</p> <p>▶keyword: 疾病予防の概念、第一次予防、第二次予防、第三次予防</p>	<p>解答: c</p> <p>疾病予防の概念は、Leavell & Clark によって第一次予防(健康増進、特異的防御)、第二次予防、第三次予防に分類されている。第一次予防は、生活習慣の改善、生活環境の改善、健康教育などによる健康増進と、特定の疾病予防を目的とする特異的防御とに分けられる。フッ化物の応用はう蝕予防を目的として行われるため特異的防御に該当するが、栄養指導と口腔清掃指導は、う蝕予防だけではなく歯周病などの予防にもあたるため、第一次予防の健康増進にあてはまる。また、歯科検診は存在する疾病を早めに見つけることであるのに対して、歯科健診(歯科健康診査)は健康の総合的なチェックであるため、疾病が存在しない状態があるので注意が必要である。</p> <p>a× 第一次予防の健康増進である。 b× 第二次予防の早期発見である。 c○ う蝕に対する特異的防御(第一次予防)である。 d× 第一次予防の健康増進である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 5-7、150-151</p>

問題 B	解答・解説
<p>127 歯磨剤の薬用成分と効能との組合せて正しいのはどれか。</p> <p>a 乳酸アルミニウム——う蝕予防</p> <p>b モノフルオロリン酸ナトリウム——歯周病予防</p> <p>c ピロリン酸ナトリウム——歯石の沈着予防</p> <p>d デキストラナーゼ——象牙質知覚過敏対策</p> <p>▶keyword: 歯磨剤の薬用成分、歯石の沈着予防、ピロリン酸ナトリウム</p>	<p>解答: c</p> <p>歯磨剤の薬用成分は、う蝕予防、歯周病予防、象牙質知覚過敏対策、歯石の沈着予防などの目的で配合されている。フッ化物（フッ化ナトリウムなど）、殺菌剤（クロルヘキシジン塩類など）、プラーク分解酵素（デキストラナーゼ）は、う蝕予防を効能とする。消炎剤（アズレンスルホン酸ナトリウムなど）、収斂剤（ヒノキチオールなど）、血行促進剤（塩化ナトリウムなど）、組織修復促進剤（ジヒドロコレステロールなど）、抗プラスミン剤（トラネキサム酸）、殺菌剤（クロルヘキシジン塩類など）は、歯周病予防を効能とする。乳酸アルミニウムや硝酸カリウムは、象牙質知覚過敏対策を効能とする。ピロリン酸ナトリウム、ポリリン酸ナトリウムなどは、歯石の沈着予防を効能とする。</p> <p>a × 乳酸アルミニウムは象牙質知覚過敏対策を効能とする。</p> <p>b × モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物であり、う蝕予防を効能とする。</p> <p>c ○ ピロリン酸ナトリウムは歯石の沈着予防を効能とする。</p> <p>d × デキストラナーゼはプラーク分解によるう蝕予防を効能とする。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 130</p>
<p>128 フッ素イオン濃度が最も高いのはどれか。</p> <p>a 唾液</p> <p>b 血清</p> <p>c 水道水</p> <p>d プラーク</p> <p>▶keyword: フッ化物イオン濃度、プラーク、唾液、血清、飲料水</p>	<p>解答: d</p> <p>フッ素（フッ化物）は自然界に広く存在しており人体にも含まれる。選択肢以外にも骨中には小児で200~300 ppm、高齢者で1,000~1,500 ppm、エナメル質で300~1,000 ppm 程度含まれている。プラーク中にフッ素イオンが多く存在すると、プラークが存在しても歯質の脱灰抑制および再石灰化促進が期待できる。</p> <p>a × 唾液中のフッ素イオン濃度は0.01~0.05 ppm である。</p> <p>b × ヒト血清中のフッ素イオン濃度は0.01~0.04 ppm である。</p> <p>c × 水道水中のフッ素イオン濃度は通常1 ppm 以下である。緑茶はフッ素イオン濃度が高いとされているが1 ppm 前後である。また、我が国の水道は水道法による水質基準として0.8 ppm 以下と定められている。</p> <p>d ○ プラーク中のフッ素イオン濃度は約14~20 ppm とされており、口腔内のフッ化物応用の環境により変動する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 111、158-160 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 60、100-101 口腔保健・予防歯科学 19</p>
<p>129 歯周病がリスクファクターとなりうる疾患はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 胃がん</p> <p>b 糖尿病</p> <p>c 心内膜炎</p> <p>d 甲状腺疾患</p> <p>▶keyword: 歯周病、糖尿病、心臓血管疾患</p>	<p>解答: b、c</p> <p>歯周組織の炎症性疾患である歯周病が存在することによって、全身の他部位の疾患や状態にも影響を及ぼすことが明らかとなっている。それらには、糖尿病や誤嚥性肺炎、血管障害、早産・低体重児出産、肥満などが報告されている。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 歯周病は糖尿病の第6の合併症と提唱されている。歯周病に罹患した歯周組織から産生されるサイトカインが血管内のインスリンの機能を低下させることによって糖尿病が悪化する。</p> <p>c ○ 歯周病原細菌が血流によって運ばれ、心内膜に付着して炎症を起こす。</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 188-189 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 37-39 ポイントチェック 第5版 ⑤ 13-14</p>

問題 B	解答・解説												
<p>130 歯周病に関する指標はどれか。</p> <p>a PII</p> <p>b CPI</p> <p>c CFI</p> <p>d OHI</p> <p>▶keyword: 歯周病に関する指標、CPI</p>	<p>解答: b</p> <p>歯科疾患の指標には、う蝕に関する指標、歯周病に関する指標、口腔清掃状態に関する指標、歯のフッ素症に関する指標、不正咬合に関する指標などがある。歯周病に関する指標には、PMA Index、Periodontal Index (PI)、Gingival Index (GI)、Community Periodontal Index (CPI) などがある。</p> <p>a × PII (Plaque Index) は口腔清掃状態に関する指標である。</p> <p>b ○ CPI (Community Periodontal Index) は歯周病に関する指標である。</p> <p>c × CFI (Community Fluorosis Index) は歯のフッ素症に関する指標である。</p> <p>d × OHI (Oral Hygiene Index) は口腔清掃状態に関する指標である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 45-57、65</p>												
<p>131 3歳児歯科健康診査の受診者100人の結果を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1492 625 1854 819"> <thead> <tr> <th>診査結果</th> <th>人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>う蝕はない</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>上顎前歯部のみう蝕がある</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>白歯部のみう蝕がある</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>上顎前歯部と白歯部にう蝕がある</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>下顎前歯部と白歯部にう蝕がある</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>う蝕罹患型 A 型の割合はどれか。</p> <p>a 5%</p> <p>b 7%</p> <p>c 12%</p> <p>d 14%</p> <p>▶keyword: 3歳児歯科健康診査、う蝕罹患型</p>	診査結果	人数(人)	う蝕はない	80	上顎前歯部のみう蝕がある	7	白歯部のみう蝕がある	7	上顎前歯部と白歯部にう蝕がある	5	下顎前歯部と白歯部にう蝕がある	1	<p>解答: d</p> <p>母子保健法に基づく3歳児歯科健康診査では、う蝕の有無と存在部位をもとに5つのう蝕罹患型に区分される。A型は上顎前歯部のみ、または白歯部のみう蝕がある場合である。A型の人数は、7人（上顎前歯部のみう蝕がある）+7人（白歯部のみう蝕がある）=14人である。なお、B型（上顎前歯部と白歯部にう蝕がある）は5人、C2型（下顎前歯部とほかの部位にう蝕がある）は1人である。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○ A型の人数は14人であり、その割合は14人/100人×100(%)=14%である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 259</p>
診査結果	人数(人)												
う蝕はない	80												
上顎前歯部のみう蝕がある	7												
白歯部のみう蝕がある	7												
上顎前歯部と白歯部にう蝕がある	5												
下顎前歯部と白歯部にう蝕がある	1												
<p>132 学校歯科健康診断でGOと判定された者への事後措置で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 個別の口腔清掃指導を行う。</p> <p>b 学校で生活習慣指導を行う。</p> <p>c 歯科医院でのスケーリングを勧める。</p> <p>d フッ化物配合歯磨剤の使用を勧める。</p> <p>▶keyword: 学校歯科健康診断、GO、事後措置</p>	<p>解答: a、b</p> <p>GO（歯周疾患要観察者）とは、歯肉に軽度の炎症症状があるが、歯石沈着はないため、注意深くブラッシングすることで症状の改善が期待できる者である。したがって、事後措置は直ちに歯科医院での治療勧告をするのではなく、学校での口腔清掃指導や生活習慣指導などの保健指導を行う。また、歯肉炎は口呼吸により口腔内が乾燥するため症状が増悪することから、口呼吸のみられる者には、その改善を指導することも歯肉炎の改善につながる。</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c × 歯科健康診断でG（歯周疾患要処置者）やZS（歯石沈着）のある者についてはスケーリングなどの処置が必要となり、歯科医院での受療勧告を行う。</p> <p>d × フッ化物配合歯磨剤の使用はう蝕予防が目的である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 272-279</p>												

問題 B		解答・解説	
133	<p>国際協力における多国間協力機関はどれか。</p> <p>a JICA b WHO c IADR d JAICOH</p> <p>▶keyword: 国際協力と関連機関、WHO、多国間協力</p>	<p>解答: b</p> <p>国際保健医療分野の機関として多国間協力や多国間交流の中心的な役割を果たしているのは WHO (World Health Organization: 世界保健機関) である。</p> <p>a × JICA (Japan International Cooperation Agency: 国際協力機構) は、日本が開発途上国に対して 2 国間の国際協力を行う政府援助機関である。</p> <p>b ○ WHO は、保健医療分野で重要な役割を担う国際機関である。</p> <p>c × IADR (International Association for Dental Research: 国際歯科研究学会) は、歯学を中心とした学問を取り扱う国際学術団体である。</p> <p>d × JAICOH (Japan Association of International Cooperation for Oral Health: 歯科保健医療国際協力協議会) は、日本で歯科保健医療の国際協力を行う非政府機関である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 326-329</p>	
134	<p>我が国の人口 (2017 年) で正しいのはどれか。</p> <p>a 年少人口は 1,600 万人を下回っている。</p> <p>b 老年人口は総人口の 30% を超えている。</p> <p>c 総人口に占める男性の割合は女子より多い。</p> <p>d 総人口に占める生産年齢人口の割合は約 50% である。</p> <p>▶keyword: 人口、年齢 3 区分別人口</p>	<p>解答: a</p> <p>人口は、総務省統計局による「国勢調査報告」や「人口推計」から知ることができ。総人口は、2017 年 10 月 1 日現在 1 億 2,671 万人であるが、2011 年以降減少を続けている。</p> <p>a ○ 年少人口 (0~14 歳) は 1,559 万 2 千人である。</p> <p>b × 老年人口 (65 歳以上) 割合は 27.7% である。</p> <p>c × 男子 6,165 万 5 千人、女子 6,505 万 1 千人である。</p> <p>d × 生産年齢人口 (15~64 歳) 割合は約 60% である。</p> <p>文献: デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 11-14 国民衛生の動向 2018/2019 (厚生労働統計協会) 47-49</p>	
135	<p>廃棄物処理法による特別管理一般廃棄物はどれか。</p> <p>a 血液が付着した紙くず b フッ化物を塗布した小綿球 c 針刺し事故を起こした注射針 d 切削前に破折したダイヤモンドポイント</p> <p>▶keyword: 廃棄物処理法、特別管理一般廃棄物</p>	<p>解答: a</p> <p>廃棄物処理法では、廃棄物を定義し、さらに廃棄物のうち産業廃棄物以外を一般廃棄物と分類している。また、廃棄物のうち、爆発性、毒性、感染性、人の健康や生活環境に被害を生じる恐れがあるものを特別管理産業廃棄物または特別管理一般廃棄物としている。</p> <p>a ○</p> <p>b × 特別管理一般廃棄物以外の一般廃棄物である。</p> <p>c × 特別管理産業廃棄物である。</p> <p>d × 産業廃棄物である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 56-59 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 47</p>	

問題 B		解答・解説	
136	<p>感染者に対する措置として指定業務への就業が制限されるのはどれか。</p> <p>a 結核 b B 型肝炎 c 日本脳炎 d 細菌性赤痢</p> <p>▶keyword: 感染症、感染症類型</p>	<p>解答: d</p> <p>我が国では既知の感染症について、感染力と罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性により、感染症法において一類感染症から五類感染症までに分類している。</p> <p>a × 必要に応じて入院措置がとられる二類感染症である。</p> <p>b × 発生病向の把握と公表が行われる五類感染症である。</p> <p>c × 動物の輸入時検疫・輸入禁止、汚染物件の廃棄・消毒が行われる四類感染症である。</p> <p>d ○ 指定業務への就業制限がとられる三類感染症である。その他に腸管出血性大腸菌感染症やコレラなどがある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 67 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 66-72、77-78</p>	
137	<p>平成 30 年 12 月別食中毒発生状況を図に示す。</p> <p>点線内の時期の主な病因物質はどれか。</p> <p>a ぶどう球菌 b ノロウイルス c ウェルシュ菌 d サルモネラ属菌</p> <p>▶keyword: 食中毒、食中毒統計</p>	<p>解答: b</p> <p>我が国の食中毒統計は、1952 年より集計されているが、年度により状況は大きく変化している。近年の食中毒患者数では、ノロウイルスによるものが最も多い。</p> <p>a × 7、8 月に多く発生する。</p> <p>b ○ ウイルスは乾燥した環境で繁殖しやすいため冬季に多く発生する。</p> <p>c × 5~10 月と比較的長期的に発生する。</p> <p>d × 6~9 月の湿気の多い時期に多く発生する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 78</p>	
138	<p>就学時の健康診断における事後措置に含まれるのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 治療の勧告 b 疾病の予防処置 c 保健上必要な助言 d 運動・作業の軽減</p> <p>▶keyword: 学校保健、就学時健康診断、事後措置</p>	<p>解答: a, c</p> <p>学校における健康診断は、学校保健安全法に基づいて実施されている。就学時の健康診断、児童生徒等の定期・臨時の健康診断、職員の定期・臨時健康診断がある。各健康診断について事後措置が示されている。</p> <p>a ○ 治療の勧告は就学時の健康診断、治療の指示は児童生徒等の定期健康診断の事後措置となっている。</p> <p>b × 児童生徒等の定期健康診断の事後措置である。</p> <p>c ○ 就学時の健康診断の事後措置である。</p> <p>d × 児童生徒等の定期健康診断の事後措置である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 3 版 270-271 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 148</p>	

問題 B

解答・解説

139 我が国で推進されている健康保持増進対策を図に示す。



対象はどれか。

- a 妊産婦
- b 労働者
- c 高齢者
- d 要介護者

▶ keyword : 産業保健、労働者、トータル・ヘルスプロモーション・プラン

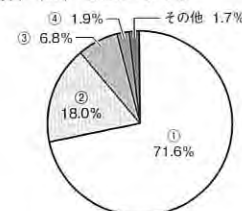
解答 : b

図は産業保健におけるトータル・ヘルスプロモーション・プラン (THP) の概要を示している。トータル・ヘルスプロモーション・プランは、事業場における積極的な労働者の健康づくりを目的としている。産業医による健康測定の後、健康づくりに関する全般的な指導が行われ、必要に応じて運動指導、保健指導、メンタルヘルスカケアや栄養指導が実施される。

- a × 妊産婦が対象ではない。
- b ○ すべての年齢の労働者が対象となる。
- c × 高齢者が対象ではない。
- d × 要介護者が対象ではない。

文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 296-297
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 180-181

140 平成 28 年度の診療種別国民医療費の構成割合 (%) を図に示す。



医科診療医療費、歯科診療医療費、薬局調剤医療費、入院時食事・生活医療費の区分のうち、歯科診療医療費はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ keyword : 国民医療費、歯科診療医療費

解答 : c

平成 28 年度の国民医療費 (42 兆 1,381 億円) を診療種別にみると、医科診療医療費は 30 兆 1,853 億円 (71.6%)、歯科診療医療費は 2 兆 8,574 億円 (6.8%)、薬局調剤医療費は 7 兆 5,867 億円 (18.0%)、入院時食事・生活医療費は 7,917 億円 (1.9%) である。加えて、その他として訪問看護医療費は 1,742 億円 (0.4%)、療養費等は 5,427 億円 (1.3%) である。また、医科診療医療費 (30 兆 1,853 億円) は入院医療費 15 兆 7,933 億円 (37.5%) と入院外医療費 14 兆 3,920 億円 (34.2%) に分けることができる。

- a × ①は医科診療医療費である。
- b × ②は薬局調剤医療費である。
- c ○ ③は歯科診療医療費である。
- d × ④は入院時食事・生活医療費である。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 129-130
ポイントチェック 第5版 ② 143

141 地域包括支援センターの設置について定めた法律はどれか。

- a 医療法
- b 介護保険法
- c 健康保険法
- d 地域保健法

▶ keyword : 介護保険法 地域包括支援センター

解答 : b

地域包括支援センターの設置は介護保険法に定められている。市町村および特別区あるいはその委託を受けた者が設置できる。

- a × 医療法は診療所、病院、助産所の設置などを定めている。
- b ○ 地域包括支援センターの設置は、介護保険法第 115 条の 46 に定められている。
- c ×
- d × 地域保健法は保健所、市町村保健センターの設置などを定めている。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 113-114
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第9版 26-27

問題 B

解答・解説

歯科衛生士概論

142 非言語的コミュニケーションはどれか。2つ選べ。

- a 目線
- b 手話
- c うなずき
- d 話し言葉

▶ keyword : 非言語的コミュニケーション

解答 : a, c

コミュニケーションには、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションがある。言語的コミュニケーションは、言葉を用いた伝達方法で、手話も含まれる。非言語的コミュニケーションは、言葉以外の手段を用いた伝達方法で、身振り、表情、目線、声の大きさやトーンなどがある。コミュニケーションでは、非言語的コミュニケーションが大半を占めるといわれている。

- a ○ 目線は、非言語的コミュニケーションである。
- b × 手話は、言語的コミュニケーションである。
- c ○ うなずきは、非言語的コミュニケーションである。
- d × 話し言葉は、言語的コミュニケーションである。

文献 : みがこう！コミュニケーションセンス 歯科医院での医療安全のために 89-93

143 歯科衛生計画の立案における目標設定について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 短期目標の設定を優先する。
- b 期待される効果を検討する。
- c 経過観察はケア計画に含める。
- d 対象者と話し合って設定する。

▶ keyword : 歯科衛生計画、目標設定

解答 : b, d

具体的な歯科衛生計画を立案する際には、患者の問題点を踏まえ、目標の設定を行う。問題の解決のために必要なことは何かを具体的に検討し、実施計画を立てる。目標の設定は、その達成度の評価方法も踏まえて行う。

- a × 目標設定は、長期目標を立て、その目標を達成するための短期目標を設定する。
- b ○ 目標が達成されることで、どのような効果が期待されるかを考慮して計画を立案する。
- c × 歯科衛生計画には、歯科衛生士が対象者に行う処置であるケア計画 (C-P)、情報提供や技術を伝授する教育計画 (E-P)、患者の行動や表情、口腔内状態の変化を確認する観察計画 (O-P) がある。経過観察は、観察計画に含める。
- d ○ 計画立案では、医療者は対象者と話し合い、希望や意志を考慮して達成可能な目標を設定する。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 37-38
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 67-69

144 歯科医師の指示により診療の補助を行うことができるのはどれか。2つ選べ。

- a 看護師
- b 理学療法士
- c 作業療法士
- d 言語聴覚士

▶ keyword : 診療の補助

解答 : a, d

診療の補助は看護師の業務独占である。除外規定として、看護師のほか歯科衛生士、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師が歯科医師の指示の下に診療の補助を行うことができる。

- a ○ 看護師は、医師、歯科医師の指示の下に診療の補助を行うことができる。
- b × 理学療法士に診療の補助を指示できるのは、医師のみである。
- c × 作業療法士に診療の補助を指示できるのは、医師のみである。
- d ○ 言語聴覚士は、医師、歯科医師の指示の下に、診療の補助として嚥下訓練などを行うことができる。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 59-60

臨床歯科医学

145 エックス線画像 (別冊 No. 2) を別に示す。撮影法はどれか。

- a 咬合法
- b 咬翼法
- c 平行法
- d 二等分法

▶ keyword : 咬合法

解答 : a

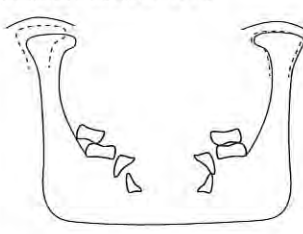
a ○ 上顎前歯部の咬合法による写真である。上顎前歯部のフィルムに入りきらない大きな病巣や、埋伏歯の唇・口蓋的な位置関係を把握するのに用いる。

- b × 咬翼法は、上下顎の歯でフィルムの翼部を咬ませて撮影する。隣接面う蝕などを観察する。
- c × 平行法は、歯軸とフィルムを平行にして、それに対して垂直にエックス線を入射させる撮影法である。
- d × 二等分法はフィルムと歯軸のなす角の二等分線に対し、垂直にエックス線を入射させる撮影法である。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 41-44

問題 B	解答・解説
<p>146 ガスクロマトグラフィを用いるのはどれか。</p> <p>a 味覚検査 b 口臭検査 c 唾液分泌量検査 d 金属アレルギー検査</p> <p>▶keyword: ガスクロマトグラフィ、口臭検査</p>	<p>解答: b</p> <p>ガスクロマトグラフィは気体の分析手法で、口臭の原因となる揮発性イオウ化合物 (VSC) を測定するものである。</p> <p>a × 味覚検査には、ろ紙ディスク法や電気味覚検査法がある。 b ○ 口臭の主原因物質である口腔内の VSC 濃度を測定するのがガスクロマトグラフィである。 c × 唾液検査で分泌量を測定するのはガムテスト、サクソテストなどがある。 d × 金属アレルギー検査にはパッチテスト、DLST がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 臨床検査 50-53、55-58</p>
<p>147 62歳の女性。下顎左側犬歯の咀嚼時疼痛を主訴に来院した。6か月前から、咀嚼時と冷水を口に含んだ際に一過性の疼痛を感じるという。夫からは就寝時の歯ぎしりを指摘されている。初診時の口腔内写真(別冊 No. 3)を別に示す。</p> <p>原因として考えられるのはどれか。</p> <p>a う蝕 b 咬耗症 c 酸蝕症 d 歯のフッ素症</p> <p>▶keyword: 歯の硬組織疾患、咬耗症</p>	<p>解答: b</p> <p>口腔内写真からは、下顎左側犬歯切縁と第一小臼歯咬合面のエナメル質が損耗し、象牙質が露出されているのが判別でき、典型的な咬耗症であることがわかる。咬耗症は、歯ぎしりや過大な咬合力によって生じ、中高年層の患者に頻発する。</p> <p>a × 写真では平滑的なエナメル質の損耗が認められるため、う蝕ではない。 b ○ c × 酸蝕症であれば、酸に触れる広い面積の欠損が生じるはずである。 d × 歯のフッ素症であれば、斑状歯を呈するはずである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 16</p>
<p>148 回転切削器具の写真(別冊 No. 4)を別に示す。</p> <p>共通する用途はどれか。</p> <p>a 角形穿下の付与 b 全部金属冠の除去 c う蝕罹患象牙質の切削 d コンポジットレジン形態修正</p> <p>▶keyword: 回転切削器具、形態修正</p>	<p>解答: d</p> <p>写真は微粒子(ファイン)と超微粒子(スーパーファイン)のダイヤモンドポイントである。コンポジットレジンなど修復物の形態修正や、エナメル質窩縁形態の付与などに使用される。</p> <p>a × 角形穿下の付与には、インパーテッドコーンバーを用いる。 b × 全部金属冠の除去には、タングステンカーバイドバー製の除去バーを用いる。 c × う蝕罹患象牙質の切削には、スチールラウンドバーを用いる。 d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 91 最新歯科衛生士教本 歯科機器 81</p>
<p>149 直接的に窩洞へ充填を行う修復法に含まれるのはどれか。</p> <p>a メタルアンレー修復 b セラミックインレー修復 c コンポジットレジンインレー修復 d レジン添加型ガラスイオノマーセメント修復</p> <p>▶keyword: 修復法の分類、成形修復</p>	<p>解答: d</p> <p>修復法は、直接修復か間接修復か、あるいは成形修復法とインレー・アンレー修復法とに大別される。成形修復法は、直接的に口腔内の窩洞に充填を行う修復法で、可塑性のコンポジットレジン、ガラスイオノマーセメントなどが用いられる。一方、インレー・アンレー修復法は、原則として印象採得を行った後に作業用模型を調整し、その模型上で修復物を製作する方法である。金合金や金銀パラジウム合金などの歯科用合金、セラミック、コンポジットレジンなどが用いられる。</p> <p>a × 模型上でロストワックス法によって金属製のアンレーを製作する方法である。 b × 模型上で焼成、ミリング、加圧押し込み法などによってセラミック製のインレーを製作する方法である。 c × 模型上でコンポジットレジンを充填・重合してインレーを製作する方法である。 d ○ 直接、口腔内の窩洞に充填を行う方法であり、成形修復法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 36</p>

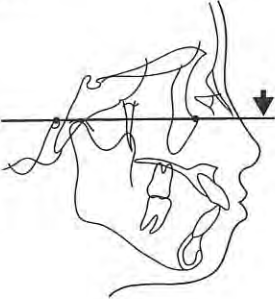
問題 B	解答・解説
<p>150 直接覆髄法で用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a MTAセメント b ホルムアルデヒド糊剤 c 水酸化カルシウム製剤 d グラスイオノマーセメント</p> <p>▶keyword: 直接覆髄薬、歯髄保存</p>	<p>解答: a, c</p> <p>直接覆髄法は露出した健康歯髄を覆髄薬で被覆し、歯髄保護、創傷治癒を促進する方法である。</p> <p>a ○ 封鎖性と組織親和性に優れた材料で、直接覆髄に使用する。 b × 歯髄失活剤として使用する。 c ○ 持続的な消毒効果があり、直接覆髄に使用する。 d × 充填材、仮封材として使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 132-133</p>
<p>151 根管充填材の所要性質はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 除去困難である。 b 充填後収縮する。 c 組織親和性がある。 d エックス線不透過性がある。</p> <p>▶keyword: 所要性質、根管充填材</p>	<p>解答: c, d</p> <p>根管充填材は、化学的安定性などの理工学的性質に加え、組織親和性などの生物学的所要条件を満たす必要がある。</p> <p>a × 再治療ができるように除去が可能であることが必要である。 b × 化学的・物理的に安定であることが必要である。充填後に収縮すると、封鎖性が低下する。 c ○ 生体に対して無害である必要性から、組織親和性が求められる。 d ○ 充填状態を確認するために、エックス線不透過性が必要である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 161-162</p>
<p>152 歯周病のリスクファクターのうち環境因子はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 肥満 b 糖尿病 c ストレス d <i>Porphyromonas gingivalis</i></p> <p>▶keyword: 歯周病のリスクファクター、喫煙、ストレス、環境因子</p>	<p>解答: a, c</p> <p>歯周病のリスクファクターは、細菌因子、環境因子、宿主因子の3つに大別されるが、そのうち環境因子には、喫煙、ストレス、食生活、肥満、薬剤などがある。</p> <p>a ○ 肥満は環境因子である。 b × 糖尿病は宿主因子である。 c ○ ストレスは環境因子である。 d × <i>Porphyromonas gingivalis</i> は歯周病原菌であり、細菌因子である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 28-36</p>
<p>153 器具の写真(別冊 No. 5)を別に示す。</p> <p>歯肉縁下のスケーリング・ルートプレーニングを行う際に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 口腔内診査、スケーリング・ルートプレーニング (SRP)</p>	<p>解答: b, c</p> <p>a × シックルタイプスクレーパーである。両刃で刃部が大きいため歯肉縁下のスケーリング・ルートプレーニング (SRP) には適さない。 b ○ グレーシー型のキュレットタイプスクレーパーである。SRP に用いる。 c ○ 歯周プローブである。SRP を行う際に歯肉縁下の根面の状態を探索するために用いる。 d × シュガーマンファイルである。骨ファイルの一種で、骨整形に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 78、161-165、179-187</p>

問題 B	解答・解説
<p>154 歯周外科治療の写真(別冊 No. 6)を別に示す。 術式で正しいのはどれか。 a 局所麻酔 → SRP → 歯周ポケットの搔爬 → 洗浄 → 歯周バック b 局所麻酔 → ポケット底印記 → 歯肉内斜切開 → 歯肉片除去 → SRP → 洗浄 → 歯周バック c 局所麻酔 → ポケット底印記 → 歯肉内斜切開 → 上皮・結合組織除去 → SRP → 洗浄 → 縫合 → 歯周バック d 局所麻酔 → 歯肉内斜切開 → 歯肉弁剥離 → 肉芽組織除去 → SRP → 歯肉整形 → 洗浄 → 縫合 → 歯周バック</p> <p>▶keyword: 歯周外科治療、フラップ手術</p>	<p>解答: d 写真は下顎前歯のフラップ手術 (FOP) 中の写真であり、歯肉弁の剥離がなされている。フラップ手術は、歯や歯槽骨から歯肉弁を剥離回転することにより、深部の歯石除去やルートプレーニング、炎症性肉芽組織の除去を明視下で行う方法である。 a × 歯周ポケット搔爬術の術式である。 b × 歯肉切除術の術式である。 c × 新付着術の術式である。 d ○ フラップ手術の術式である。写真で歯肉弁の剥離と炎症性肉芽組織の除去がなされていることがポイントである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 104-107、110-111、181-184</p>
<p>155 咬合様式を模式図に示す。</p>  <p>正しいのはどれか。 a 義歯の安定に寄与する。 b 天然歯列に多くみられる。 c 側方運動時の筋活動量が小さい。 d グループとして咬合力を分散させる。</p> <p>▶keyword: 咬合様式、バランスオクルージョン、犬歯誘導咬合、グループファンクション</p>	<p>解答: a 側方滑走運動時の咬合様式は、水平圧の分散のさせ方により生じる臼歯部の接触状態により、バランスオクルージョン、犬歯誘導咬合、ならびにグループファンクションの3種類に分類される。模式図は下顎の左側への運動を示しており、作業側(左側)の臼歯部だけでなく、非作業側(右側)の臼歯部でも上下顎歯が接触していることから、バランスオクルージョンと判断できる。 a ○ バランスオクルージョンである。側方運動時に作業側の歯だけでなく非作業側の歯も接触滑走している咬合様式である。特に全部床義歯において推奨されている。側方運動時に非作業側の人工歯が接触することで、作業側の人工歯の接触滑走による義歯の浮き上がりが防止でき、義歯の安定に寄与するとされる。 b × 天然歯に多くみられるのはグループファンクションである。グループファンクションとは、側方運動時に非作業側の歯は離開しているが、作業側(一般的に犬歯から小白歯部)の複数の歯が接触滑走する咬合様式である。 c × 犬歯誘導咬合である。側方滑走運動時に作業側犬歯だけが接触している咬合様式をいう。カスピッドプロテクテッドオクルージョンともいう。側方運動時に臼歯が咬合接触するときよりも、犬歯が接触する場合のほうが筋活動量が小さくなることが知られている。 d × グループファンクションである。グループとして咬合力を分散させる咬合様式で、歯冠補綴処置においても幅広く使用されている。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 18-20</p>

問題 B	解答・解説
<p>156 全部床義歯の構成要素はどれか。2つ選べ。 a 連結子 b 義歯床 c 人工歯 d 支台装置</p> <p>▶keyword: 全部床義歯、部分床義歯</p>	<p>解答: b, c 全部床義歯の構成要素は、人工歯と義歯床である。部分床義歯の構成要素は、支台装置(維持装置)、連結子、人工歯と義歯床である。 a × 部分床義歯の構成要素である。離れた位置にある義歯床と義歯床、義歯床と支台装置などを連結するものを大連結子、クラスプやレストなどを義歯床や大連結子に連結するものを小連結子という。 b ○ 全部床義歯、部分床義歯の構成要素である。材質からレジン床と金属床に分けられる。 c ○ 全部床義歯、部分床義歯の構成要素である。材質からレジン歯(硬質レジン歯)、陶歯、金属歯に分けられる。また、部位からは前歯部人工歯と臼歯部人工歯に分けられる。 d × 部分床義歯の構成要素であり、クラスプ、アタッチメント、レスト、フック、スパーなどがある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 52-61</p>
<p>157 レジン前装鑄造冠のレジン応用部位はどれか。 a 舌側面 b 咬合面 c 近遠心隣接面全体 d 唇側面から隣接面の一部</p> <p>▶keyword: レジン前装鑄造冠</p>	<p>解答: d レジン前装鑄造冠は、唇側面や頬側面など外観に触れる部分に歯冠色レジン前装し、天然歯の色調を再現したクラウンである。 a × b × c × d ○ 外観に触れる唇側面や頬側面をレジンで被覆することで、審美性を確保する。陶材焼付鑄造冠では、唇側面から隣接面の一部だけではなく、舌側面、咬合面、近遠心隣接面全体の部位も陶材が応用される。レジンに比べ強度や耐摩耗性に劣るため、前装範囲が狭い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 47</p>
<p>158 口腔乾燥を引き起こす可能性が高いのはどれか。2つ選べ。 a 降圧薬 b 抗うつ薬 c 血糖降下薬 d 非ステロイド性抗炎症薬</p> <p>▶keyword: 口腔乾燥、薬剤の副作用</p>	<p>解答: a, b 副作用として口腔乾燥症(薬剤性口腔乾燥症)を引き起こす可能性の高い薬物には、副交感神経遮断薬、カルシウム拮抗薬(降圧薬)、抗うつ薬、抗精神病薬などがある。 a ○ 降圧薬は口腔乾燥を起こす可能性がある。 b ○ 抗うつ薬は口腔乾燥を引き起こす可能性がある。 c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 69 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 42</p>


問題 B		解答・解説	
159	<p>唾液腺疾患の特徴について、<input type="checkbox"/>に入る語句の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>唾石は<input type="checkbox"/>に生じることが多い。</p> <p>小唾液腺の粘液嚢胞は<input type="checkbox"/>に好発する。</p> <p>唾液腺腫瘍は<input type="checkbox"/>に好発する。</p> <p>① ② ③</p> <p>a 耳下腺 下唇 顎下腺 b 顎下腺 下唇 耳下腺 c 耳下腺 上唇 舌下腺 d 顎下腺 上唇 舌下腺</p> <p>▶keyword: 唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍</p>	<p>解答: b</p> <p>唾液腺疾患には炎症性疾患、唾石症、唾液腺腫瘍がある。炎症性疾患は、ムンプスウイルス感染による流行性耳下腺炎（いわゆるおたふく風邪）や口腔常在菌が腺体内に侵入して起こる化膿性唾液腺炎がある。唾石は唾液導管内または唾液腺体内にできた結石である。顎下腺の導管（ワルトン管）は比較的長く、顎舌骨筋後縁で屈曲するため、唾石が形成されやすい。唾液腺腫瘍は多形腺腫、ワルチン腫瘍、粘表皮がん、腺様嚢胞がんなどが代表的である。これらのうち、腺様嚢胞がん以外は耳下腺に好発する。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 112-121 ポイントチェック 第5版 ④ 15-16</p>	
160	<p>アミド型局所麻酔薬はどれか。</p> <p>a コカイン b プロカイン c リドカイン d テトラカイン</p> <p>▶keyword: 局所麻酔薬、アミド型、エステル型</p>	<p>解答: c</p> <p>局所麻酔薬は、化学構造の違いにより、一般にアミド型とエステル型に分類される。エステル型局所麻酔薬はアミド型局所麻酔薬に比べてアレルギー反応を起こしやすい。</p> <p>a × コカインはエステル型である。 b × プロカインはエステル型である。 c ○ リドカインはアミド型である。 d × テトラカインはエステル型である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 187 最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 153-154</p>	

問題 B		解答・解説	
161	<p>58歳の男性。上顎左側臼歯部の疼痛を主訴に来院した。全身的既往歴に特記事項なし。智歯周囲炎と診断され、消炎療法後に抜歯することになった。5日後、急性炎症は消退していたため抜歯することになり、浸潤麻酔を実施したところ、気分不良と手足のしびれを訴えた。その時の手の写真（別冊 No. 7）を別に示す。ただちに脈拍と血圧を測定したが正常値であった。</p> <p>偶発症として考えられるのはどれか。</p> <p>a 過換気症候群 b 神経性ショック c 局所麻酔薬中毒 d アナフィラキシーショック</p> <p>▶keyword: 神経性ショック（血管迷走神経反射）、過換気症候群、アナフィラキシーショック</p>	<p>解答: a</p> <p>歯科治療時の全身的偶発症として、主なものに、神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシーショックがある。前2者は歯科治療に対する不安や緊張がベースにあつて、注射や治療の痛みによって誘発される。頻度が高いのは神経性ショックである。アナフィラキシーは薬物などに対するI型アレルギー反応で、死に至ることもある。</p> <p>a ○ 過換気症候群は、呼吸数増加により血中炭酸ガス濃度が減少し、呼吸性アルカローシスとなった状態である。息苦しさ（呼吸困難感）や手足のしびれや不安感を覚える。四肢の痙攣や、写真のように手をすばめた形になる、いわゆる「助産師の手つき」とよばれる症状がみられる。バイタルサインは呼吸数以外は正常なことが多い。治療に対する不安や恐怖心、治療時の痛みなどが誘因で、一般に若年女性に起こりやすいが、不安感や恐怖心を我慢してしまう男性患者にも発現する。</p> <p>b × 神経性ショックは疼痛性ショック、血管迷走神経反射とほぼ同義である。過労や睡眠不足、体調不良の状態、注射や処置の痛み刺激により、副交感神経緊張状態となり、徐脈、血圧低下、意識消失が起こる。歯科治療に対する不安や恐怖心が背景にある。</p> <p>c × 局所麻酔薬中毒は、局所麻酔薬が血管内に入り、血中濃度が上昇して発現する中毒症状である。血中濃度が低い場合は悪心、ふらつき、めまい、続いて視覚や耳鳴り異常を呈する。中濃度では興奮状態で多弁になり、呼吸促進や血圧上昇があり、四肢の振戦から全身性痙攣となる。高濃度では意識消失、昏睡、呼吸抑制がみられる。伝達麻酔注射の血管内注入や表面麻酔薬スプレーでも誘発されることがある。</p> <p>d × アナフィラキシーはアレルゲンに対する全身的アレルギー反応で、生命に危機を与える過敏反応である。これに血圧低下や意識低下を伴う場合をアナフィラキシーショックという。局麻薬や抗菌薬、消炎鎮痛薬のみならず、ゴム手袋やラバーダムシートが原因になることがあるので、医療面接における確認が重要である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 206-208 ポイントチェック 第5版 ④ 33</p>	
162	<p>口腔内写真（別冊 No. 8）を別に示す。Angleの不正咬合の分類はどれか。</p> <p>a I級 b II級1類 c II級2類 d III級</p> <p>▶keyword: Angleの不正咬合の分類</p>	<p>解答: a</p> <p>Angleの不正咬合の分類は、Angleが1899年に発表した不正咬合の分類法で、理解しやすく、特別な検査を要しないことから歯科矯正学分野で最も広く用いられている。上顎歯列を基準とし、上顎第一大臼歯の位置を正しいものとして、下顎歯列（同第一大臼歯）の近遠心的咬合関係で3型に分類した。欠点として、上顎第一大臼歯の位置が正しいと仮定していること、顔面頭蓋と歯列との関係を表現せず、上下的、水平的不正を示さないこと、形態的分類に機能的原因が含まれている点などが指摘されているが、治療上も有用な分類法として用いられている。設問の口腔内写真はI級の関係を示している。</p> <p>a ○ I級は上下歯列弓が正常な近遠心的関係にある不正咬合をいう。写真は上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭が下顎第一大臼歯の顔面溝に位置しており、正常な近遠心的関係にある。</p> <p>b × II級は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対し遠心にあるものをいう。II級1類は下顎遠心咬合で、上顎前歯が前突しているものをさし、口呼吸を伴う。</p> <p>c × II級は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対し遠心にあるものをいう。II級2類は下顎遠心咬合で、上顎前歯が後退しているものをさし、正常な鼻呼吸を伴う。</p> <p>d × III級は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対し近心にあるものをいう。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 32</p>	

問題 B	解答・解説
<p>163 側面頭部エックス線規格写真のトレース図を示す。</p>  <p>矢印で示す基準平面（線）はどれか。</p> <p>a SN 平面 b FH 平面 c 顔面平面 d 下顎下縁平面</p> <p>▶keyword: 頭部エックス線規格写真、FH 平面</p>	<p>解答: b</p> <p>頭部エックス線規格写真分析は、エックス線写真の上にトレーシングペーパーを置き、頭部の骨と軟組織の輪郭を描記し、トレース図を作成する。次に分析に必要な計測点と基準平面をトレース図に記入し、顎骨の大きさ、歯の位置を分析する。図の左の点は外耳道 (Po: ポリオン)、右の点は眼窩の最下点 (Or: オルビターレ) であるから、矢印の平面は FH 平面 (フランクフルト平面) である。</p> <p>a × セラ (S) とナジオン (N) を結んだ線である。 b ○ オルビターレ (Or) とポリオン (Po) を結んだ線である。 c × ナジオン (N) とポゴニオン (Pog) を結んだ線である。 d × メントン (Me) を通り下顎下縁に接する線である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50</p>
<p>164 外科的矯正治療で正しいのはどれか。</p> <p>a 日帰り処置される。 b 全身麻酔下での外科処置を行う。 c 矯正歯科治療に伴う抜歯術のことである。 d 通常の矯正歯科治療より著しく治療期間が短い。</p> <p>▶keyword: 外科的矯正治療</p>	<p>解答: b</p> <p>上下顎骨の形、大きさあるいは位置の著しい異常 (顎変形) を伴う患者では、矯正歯科治療単独ではよい咬合を獲得することが困難であるため、マルチブラケット装置による矯正歯科治療と骨切り手術を併用する外科的矯正治療が行われる。</p> <p>a × 10 日から 3 週間程度の入院を必要とする。 b ○ 骨切り手術は全身麻酔下で行われる。 c × 骨切り手術を併用した矯正歯科治療のことである。 d × 治療期間は通常の矯正歯科治療とほぼ同等である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 100-104</p>
<p>165 小児の口腔内写真 (別冊 No. 9) を別に示す。</p> <p>みられる空隙はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 顎間空隙 b 霊長空隙 c 発育空隙 d リーウェイスペース</p> <p>▶keyword: 生理的歯間空隙、発育空隙、霊長空隙</p>	<p>解答: b, c</p> <p>乳歯列では、歯と歯の間に空隙が存在することが多い。このような空隙を生理的歯間空隙とよび、永久歯への交換をスムーズに行うための重要な役割を果たす。乳歯列期の歯間空隙には、霊長空隙と発育空隙がある。霊長空隙は上顎の乳側切歯と乳犬歯の間および下顎の乳犬歯と第一乳臼歯の間に存在する空隙であり、発育空隙は霊長空隙以外の空隙をいう。</p> <p>a × 出生時、乳歯未萌出の時期に、臼歯部では上下の歯槽堤は近接しているが、前歯部では空隙がみられる。これを顎間空隙という。 b ○ 写真は、上顎の乳側切歯と乳犬歯の間および下顎の乳犬歯と第一乳臼歯の間に空隙があり、霊長空隙がみられる。 c ○ 写真は、上下顎乳側切歯部に歯間空隙があり、発育空隙がみられる。 d × 乳歯列の側方歯群 (乳犬歯、第一乳臼歯、第二乳臼歯) と永久歯列の側方歯群 (犬歯、第一小臼歯、第二小臼歯) の歯冠近遠心幅径の総和の差がリーウェイスペースであり、歯間空隙の名称ではない。リーウェイスペースは上顎で 1 mm、下顎で 3 mm であり、この分だけ乳歯側方歯群のほうが大きい。このスペースは側方歯群の交換をスムーズに行うために利用される。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 38</p>

問題 B	解答・解説
<p>166 4 歳の男児。う蝕治療を希望して来院したが、治療に対する不安感が強かった。治療内容の説明時の写真 (別冊 No. 10) を別に示す。</p> <p>行った対応法はどれか。</p> <p>a TSD 法 b モデリング法 c トークンエコノミー法 d ハンドオーバーマウス法</p> <p>▶keyword: 歯科的対応法、行動変容法、TSD 法</p>	<p>解答: a</p> <p>写真は、患児に手鏡を持たせて、治療行為を見せながら行っているところである。この方法は、これから行うことについて、話して (Tell)、見せて (Show)、行う (Do) という TSD 法である。この方法によって、未知なものに対する不安を軽減することができる。</p> <p>a ○ b × ほかの小児や兄弟が歯科診療に適應している場面を見学させることによって、恐怖心や不安感を取り除く方法である。 c × 治療後にうまくできたことへのご褒美としてシールやコインなどを与えて、複数枚集まったら好きなものと交換するという方法である。 d × 興奮して大声を出したり暴れたりする小児に対して、術者が小児の口を手で覆うことで術者に注意を引きつけ、耳元で穏やかに語りかける方法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 75</p>
<p>167 乳歯の外傷の特徴はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 女児より男児に多い。 b 下顎前歯に好発する。 c 脱臼よりも破折が多い。 d 1~2 歳児での発現頻度が高い。</p> <p>▶keyword: 乳歯外傷</p>	<p>解答: a, d</p> <p>歯の外傷の好発年齢は、乳歯では 1~3 歳、永久歯では 7~9 歳である。受傷部位は上顎前歯部が多い。受傷様式は、乳歯の外傷では歯の破折より歯の脱臼、特に陥入が多く、永久歯では歯の破折をきたしやすい。</p> <p>a ○ 男女比は 2:1 で、男児に多い。 b × 上顎乳前歯部に多い。 c × 乳歯の歯槽骨は柔らかく、受傷時の外力を受傷のみでなく骨全体で受け止めることにより、破折よりも脱臼が多い。 d ○ 1~2 歳児は歩行が熟達していないので外傷の頻度が高い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 101</p>
<p>168 サルコペニアで減少するのはどれか。</p> <p>a 骨量 b 尿量 c 骨格筋量 d 唾液分泌量</p> <p>▶keyword: サルコペニア</p>	<p>解答: c</p> <p>サルコペニアは、ギリシャ語の筋肉 (sarco) と減少 (penia) を合わせてつくられた造語で、筋肉量が減少し、筋力が低下した状態のことをさす。サルコペニアの診断には歩行速度や握力が用いられる。</p> <p>a × サルコペニアでは骨量は低下しない。骨粗鬆症では骨リモデリングの亢進により骨量が低下する。 b × サルコペニアでは尿量は減少しない。腎不全などにより腎機能が低下すると尿量は減少する。 c ○ サルコペニアでは骨格筋量が減少し、筋力が低下する。 d × サルコペニアでは唾液分泌量は減少しない。加齢による唾液腺の萎縮や薬剤の副作用により唾液分泌量は減少する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第 2 版 34-45</p>
<p>169 栄養状態を評価するのはどれか。</p> <p>a VAS b SGA c MMSE d MWST</p> <p>▶keyword: 栄養評価、主観的栄養評価</p>	<p>解答: b</p> <p>高齢者の栄養状態の評価方法には、SGA や MNA[®]-SF (簡易栄養状態評価法) の 2 つがある。</p> <p>a × VAS (Visual Analogue Scale: 視覚評価法) は感覚を直線上の点として評価する方法で、疼痛の評価や健康関連 QOL の調査などに用いられている。 b ○ 主観的包括的評価 (Subjective Global Assessment) である。 c × Mini Mental State Examination は認知症の診断ツールである。 d × 改訂水飲みテスト (Modified Water Swallowing Test) は嚥下機能のスクリーニング方法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第 2 版 80、83、99、166</p>

問題 B		解答・解説
170	不注意や多動性、衝動性を特徴とする発達障害はどれか。 a LD b ASD c ALS d ADHD	<p>解答：d</p> <p>ADHDは、不注意や多動性、衝動性を特徴とする発達障害で、精神遅滞（知的障害）や広汎性発達障害と診断された場合を除く。学童期の有病率は3~7%、成人では約1%とされている。男女比は4:1で男性に多い。多動性、衝動性の強いタイプ、不注意の強いタイプ、その両方を併せもつタイプがある。また、学習障害（50~80%）を合併し、境界知能の者が多い。</p> <p>a × LD：Learning Disability は学習障害（※ DSM-5 では SLD：Specific Learning Disorders、限局性学習症）で、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聴く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態を示す。</p> <p>b × ASD：Autism Spectrum Disorder は自閉症スペクトラム障害（※ DSM-5 では自閉スペクトラム症）で、3歳以前に、①対人関係の質的障害、②コミュニケーションの質的障害、③興味・関心の限局と常同的な反復的行動、の症状がみられる先天性の脳の障害である。発生率は約1%で、男女比は4:1で男性に多い。</p> <p>c × ALS：Amyotrophic lateral sclerosis は筋萎縮性側索硬化症で、脳から脊髄まで信号を伝える上位運動ニューロンと、脊髄から筋肉に信号を送る下位運動ニューロンが、進行性に変性消失していく原因不明の疾患である。筋力低下、筋萎縮、球麻痺などを呈するが、感覚神経や自律神経などは侵されない。</p> <p>d ○ ADHD：Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder は注意欠陥/多動性障害（※ DSM-5 では注意欠陥・多動症）である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 20-25、36-38</p>
▶keyword：ADHD		
171	水平位による歯科治療時に反射抑制肢位が有効な障害はどれか。 a 脳性麻痺 b 知的能力障害 c ダウン症候群 d 自閉症スペクトラム障害	<p>解答：a</p> <p>脳性麻痺では、消失すべき原始反射が乳幼児期以降も残る場合がある。このなかには、歯科治療時に支障となる反射がある。仰臥位にしたり、不安や刺激（タービンの回転音、突然の大きな音や接触刺激など）が加わると、原始反射や不随意運動が生じやすく、反射抑制肢位（姿勢緊張調整パターン）をとらせると体位が安定しやすくなる。治療の支障となる原始反射には、①非対称性緊張性頸反射、②緊張性迷路反射、③驚愕反射、④咬反射などがある。</p> <p>a ○</p> <p>b × 知的能力障害者の歯科治療時の留意点としては、対象者の発達年齢に応じた平易な言葉を用いて説明し、子ども扱いせず、年齢相応の敬意を払って対応する必要がある。</p> <p>c × ダウン症候群の歯科治療時の留意点としては、罹患率の高い心疾患や環軸椎不安定症などに対する対応があげられる。</p> <p>d × 自閉症スペクトラム障害の歯科治療時の留意点としては、コミュニケーション障害やパニック、自傷行為などの問題行動を有することがあるため、視覚的情報による TEACCH 法や PECS を用いたコミュニケーション方法が有効である。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 16、21-23、25-27、55-58、69</p>
▶keyword：脳性麻痺、反射抑制肢位		

問題 B		解答・解説
172	摂食嚥下機能訓練の方法を図に示す。  行われているのはどれか。 a 冷圧刺激法 b ガムラビング c 筋刺激訓練法 d メンデルソン手技	<p>解答：c</p> <p>摂食機能療法には、食環境指導、食内容指導および摂食機能訓練がある。摂食機能訓練法には、食物を用いない間接訓練と、実際の食物を用いる直接訓練がある。患者の状況に適した指導訓練法を選択することが重要である。</p> <p>a × 冷圧刺激法は、間接訓練の嚥下促進訓練に含まれる。前口蓋弓に冷刺激および触圧刺激を加えることで、嚥下を誘発するための感受性を高め、咽頭期の誘発を高める。</p> <p>b × ガムラビングは、間接訓練の嚥下促進訓練に含まれる。前歯部から臼歯部に向かって歯肉をリズムカルにこすり、自己唾液を嚥下させる。口腔内の感覚機能を高め、唾液の分泌を促し、嚥下機能を獲得させる。</p> <p>c ○ 筋刺激訓練法は、間接訓練であり、口腔内外の筋群（口唇、頬、舌）を刺激することによって、筋力の維持や回復・増強、関節の可動域の拡大、運動コントロールの改善をはかることを目的に行われる。</p> <p>d × メンデルソン手技は、間接訓練の嚥下促進訓練に含まれる。食道入口部の開大が不良な場合に、嚥下時の舌骨喉頭挙上の改善・延長および食道入口部の開大強化を目的に行う。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 125-126 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 146-148</p>
▶keyword：摂食嚥下障害、摂食機能療法の間接訓練		
歯科予防処置論		
173	ブラークの説明で正しいのはどれか。2つ選べ。 a ブラークの有機成分の約5%は細菌である。 b 歯肉縁上ブラークは洗口で除去することができる。 c ブラーク中のフッ素イオン濃度は唾液よりも高い。 d 歯肉縁下ブラークは歯肉縁上ブラークより偏性嫌気性グラム陰性桿菌の割合が高い。	<p>解答：c、d</p> <p>歯の付着物・沈着物は複数あるが、そのなかでもブラークは、歯科の二大疾患であるう蝕や歯周病の発症・進行に関与する重要な因子であるとともに、高齢者における誤嚥性肺炎などの全身疾患との関連もある。</p> <p>a × ブラークの有機成分の約70%が細菌で、約5%がタンパク質である。</p> <p>b × 歯肉縁上ブラークは歯面に強く付着し、洗口では除去することができない。歯ブラシやデンタルフロスで除去する。</p> <p>c ○ ブラーク中にはフッ素などの微量元素も存在しており、ブラーク中のフッ素イオン濃度（14~20 ppm）は唾液（0.01~0.05 ppm）に比較して高い。</p> <p>d ○ 歯肉縁下は空気と直接触れず、歯肉溝滲出液に満たされた環境であるため、偏性嫌気性グラム陰性桿菌が増加してくる。</p> <p>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 22-24 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 110-114</p>
▶keyword：歯肉縁上ブラーク、歯肉縁下ブラーク		

	問題 B	解答・解説
174	<p>歯周病の後天的リスクファクターと考えられるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 喫煙 b 血液疾患 c 経済的環境 d 歯周病原細菌</p> <p>▶keyword: 歯周病の後天的リスクファクター、環境因子</p>	<p>解答: a, c</p> <p>歯周病のリスクファクターは直接因子である細菌因子、および修飾因子である宿主因子、環境因子に分類される。宿主因子の中でも、遺伝的な因子(遺伝性疾患、代謝性疾患、血液疾患など)は先天的リスクファクター、後天的に獲得されるさまざまな環境因子は後天的リスクファクターとされる。後天的リスクファクターには、喫煙、ストレス、食生活、肥満、薬剤、社会的・経済的環境などがあり、これらは歯周病の発症や進行に影響を及ぼし、歯周治療を複雑にする。</p> <p>a ○ 喫煙により微小血管が収縮し、血行障害を起こすため、歯周組織が病原因子の影響を受けやすくなる。また、創傷治癒能力が劣るため、歯周外科治療の予後などに影響を及ぼす。また、喫煙による歯面へのタールやニコチンの付着はプラークリテンションファクターにもなる。</p> <p>b × 遺伝因子(先天的リスクファクター)である。</p> <p>c ○ 受療行動の頻度などに関与する。</p> <p>d × 細菌因子である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 28-36 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 276-277</p>
175	<p>ファーケーションプローブにて検査を行っている顎模型の写真(別冊 No. 11)を別に示す。</p> <p>Lindhe & Nymanの水平的分類はどれか。</p> <p>a 0度 b 1度 c 2度 d 3度</p> <p>▶keyword: 根分岐部病変の検査</p>	<p>解答: d</p> <p>複根歯の根分岐部の水平的な歯周組織の破壊状態を診査するには、専用のプローブ(ファーケーションプローブ)を用いて検査を行う。写真ではファーケーションプローブが頰側から舌側に貫通していることがわかる。</p> <p>a × Lindhe & Nymanの水平的分類に0度の判定はない。</p> <p>b × 1度はプローブが分岐部に入るが、歯冠幅径の1/3以内のものである。</p> <p>c × 2度はプローブが分岐部に入り、歯冠幅径の1/3を超えるが貫通しないものである。</p> <p>d ○ 3度はプローブが分岐部に入り貫通するものをさす。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 62 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 110</p>
176	<p>プロービングについて正しいのはどれか。</p> <p>a プロービング圧は20~25g前後が適切である。</p> <p>b 歯周プローブは歯面に対して垂直・斜めなどさまざまな方向にストロークさせる。</p> <p>c 4点法による測定部位は頰側近心、頰側中央、舌側遠心、舌側中央の4か所である。</p> <p>d ポケットデプスとはセメント-エナメル境からポケット底部までの距離の測定値をいう。</p> <p>▶keyword: プロービング、ポケットデプス(PD)、アタッチメントレベル(AL)</p>	<p>解答: a</p> <p>歯周プローブの使い方は、①執筆状変法把持法で軽く保持する、②測定部位のできるだけ近いところに固定点をとる、③プローブの先端を歯軸に平行に挿入し、ポケット底部まで到達させる。次に歯根面に沿わせ、1~2mmの間隔で上下に動かしながら近遠心方向に1mm位ずつ移動させる、④プロービング圧は20~25g前後の一定の圧力が適切である、⑤測定部位は4点法と6点法がある。</p> <p>a ○</p> <p>b × 歯軸に平行に挿入した状態を保ち、上下に動かしながら近遠心方向に1mm位ずつ移動させる。</p> <p>c × 4点法は、頰側近心、頰側中央、頰側遠心、舌側中央の4か所を測定する。6点法は、頰側近心、頰側中央、頰側遠心、舌側近心、舌側中央、舌側遠心の6か所を測定し、最も深い値を記録する。</p> <p>d × ポケットデプスとは、歯肉辺縁からポケット底部までの距離の測定値をいう。セメント-エナメル境からポケット底部までの距離はアタッチメントレベル(AL)である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-97</p>

	問題 B	解答・解説
177	<p>下顎前歯部に垂直的な動揺がみられた。Millerの分類はどれか。</p> <p>a 0度 b 1度 c 2度 d 3度</p> <p>▶keyword: 歯の動揺、Millerの分類</p>	<p>解答: d</p> <p>歯の動揺度の検査は、前歯部はピンセットで切縁を挟んで唇舌的に動かし、臼歯部はピンセットを閉じて咬合面に押し当てて、頰舌的・近遠心的に動かして行い、Millerの分類を用いて判定する。</p> <p>a × 0度は生理的な動揺の範囲をさす。</p> <p>b × 1度は唇(頰)舌(口蓋)的にわずかに動揺している状態をさす。</p> <p>c × 2度は唇(頰)舌(口蓋)的、近遠心的に中程度動揺している状態をさす。</p> <p>d ○ 3度は唇(頰)舌(口蓋)的、近遠心的に動揺している、または垂直的に動揺している状態をさす。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 99-100 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 143 ポイントチェック 第5版 ⑤ 21-22</p>
178	<p>超音波スケーラーについて正しいのはどれか。</p> <p>a 深い歯周ポケットにも使用できる。</p> <p>b 術前のキャビテーションの確認は口腔内で行う。</p> <p>c インサートチップの使用角度は70~85度である。</p> <p>d エアタービンの圧搾空気を応用してインサートチップを微振動させる。</p> <p>▶keyword: 超音波スケーラー、インサートチップ、キャビテーション</p>	<p>解答: a</p> <p>超音波スケーラーの利点は、①術者と患者の疲労が比較的少ない、②歯質切削量が少ない、③器具の到達性がよい、④洗浄効果や抗菌作用がある、⑤プラーク除去、バイオフィルムの形成阻止、⑥深い歯周ポケットへの対応が可能、などがある。欠点としては、①歯石の触知が難しい、②過度の器具操作による軟組織・歯質の損傷、③エアゾルの浮遊、④ペースメーカー使用者に対しては使用できない、などがあげられる。</p> <p>a ○ 先端が細くて長い形態のインサートチップの使用により、深いポケットにも処置ができる。</p> <p>b × 術前にキャビテーションが起こるかどうかは、口腔外で発振させて確認する。</p> <p>c × インサートチップの基本の使用角度は、歯面に対して15度前後である。</p> <p>d × エアスケーラーについての説明である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-166</p>
179	<p>グレーシータイプキュレットでスケーリングを行っている写真(別冊 No. 12)を別に示す。</p> <p>この部位に使用しているのはどれか。</p> <p>a #5 b #7 c #11 d #13</p> <p>▶keyword: グレーシータイプキュレット</p>	<p>解答: a</p> <p>グレーシータイプキュレットは部位特異的であるため、決まった部位に決まったスケーラーを使用する。写真は下顎前歯部をスケーリングしている。</p> <p>a ○ 前歯部、小白歯部に使用する。</p> <p>b × 臼歯部頰舌側面に使用する。</p> <p>c × 臼歯部近心面および近心方向の隣接歯間部に使用する。</p> <p>d × 臼歯部遠心面および遠心方向の隣接歯間部に使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 142 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 165、171</p>

問題B	解答・解説
<p>180 歯面研磨・歯面清掃に関する器材と患者の症状との組合せで禁忌となるのはどれか。</p> <p>a ラバーポイント——象牙質知覚過敏症</p> <p>b エバチップ——矯正治療中の患者</p> <p>c デンタルフロス——エナメル質形成不全症患者</p> <p>d 歯面清掃器——ナトリウム摂取制限を必要とする患者</p> <p>▶keyword: 歯面研磨、歯面清掃器</p>	<p>解答: d</p> <p>歯面研磨・歯面清掃ではさまざまな器材を使用するため、口腔内の状態に合わせて器材を選択する必要がある。また、「禁忌症」と「注意を要する症例」についても正しく理解しておかなければならない。</p> <p>a × ラバーポイントは、コントラアングルハンドピースに装着し隣接面の清掃に用いる。象牙質知覚過敏症患者にも使用可能ではあるが、症状の出現状況を確認しながら用いる。</p> <p>b × エバチップは、往復運動するコントラハンドピースに装着して使用し隣接面の清掃に用いる。矯正治療中のう蝕の管理にも使用できるが、矯正装置の脱離や破損に注意する必要がある。</p> <p>c × デンタルフロスは、歯間部の清掃に最も適した補助的清掃用具である。セルフケアとしてもプロフェッショナルケアとしてもさまざまな用途で使用され、エナメル質形成不全症患者にも使用可能である。ただし、エナメル質形成不全症によりエナメル質が薄い部分は、歯面研磨により知覚過敏症状が出る場合があるので、注意が必要である。</p> <p>d ○ 歯面清掃器は、霧状の水とともに射出する炭酸水素ナトリウム（重炭酸ナトリウム）パウダーにより、プラークや色素沈着（ステイン）除去を目的に使用する。ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症など）は禁忌症である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174-183</p>
<p>181 55歳の男性。歯周治療終了後に再評価検査で治癒と判定されたためメンテナンスに移行した。治療内容について適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 矯正治療</p> <p>b 外傷性因子の除去</p> <p>c 専門的機械的歯面清掃</p> <p>d スケーリング・ルートプレーニング</p> <p>▶keyword: メンテナンス</p>	<p>解答: c, d</p> <p>歯周治療におけるメンテナンスとは、歯周基本治療、歯周外科治療、口腔機能回復治療により回復した歯周組織を長期間維持し、再発を防止するために行う管理のことである。</p> <p>a × 口腔機能回復治療の内容である。</p> <p>b × 咬合調整や固定のことで、歯周基本治療の内容である。</p> <p>c ○ プロフェッショナルケアによるプラーク除去を行う専門的機械的歯面清掃（PMTC）はメンテナンスの治療内容である。</p> <p>d ○ 原因因子の除去を行うスケーリング・ルートプレーニングはメンテナンスの治療内容である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 53-54、128-133</p>
<p>182 フッ素イオン濃度が最も高いのはどれか。</p> <p>a フッ化物バーニッシュ</p> <p>b リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液</p> <p>c フッ化ナトリウム溶液（週1回洗口法）</p> <p>d モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤</p> <p>▶keyword: フッ素イオン濃度</p>	<p>解答: a</p> <p>フッ化物はさまざまな方法でう蝕の予防に応用されている。特に局所応用では、フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法、フッ化物配合歯磨剤などに多く取り入れられている。使用方法を誤ると急性中毒になることも考えられるため、それぞれのフッ素イオン濃度を把握する必要がある。</p> <p>a ○ フッ化物バーニッシュのフッ素イオン濃度は22,600 ppmである。</p> <p>b × リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液は第1法であれば12,300 ppm、第2法であれば9,000 ppmである。</p> <p>c × 週1回法のフッ化ナトリウム溶液は900 ppmである。</p> <p>d × モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤は最大1,500 ppmである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 188-189 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 165-169</p>

問題B	解答・解説
<p>183 Dentobuff-STRIP®の結果（別冊 No.13A）とミューカウント®の結果（別冊 No.13B）を別に示す。</p> <p>う蝕リスクの評価で正しいのはどれか。</p> <p>宿主因子 微生物因子</p> <p>a 低い 低い</p> <p>b 低い 高い</p> <p>c 高い 低い</p> <p>d 高い 高い</p> <p>▶keyword: Dentobuff-STRIP®, ミューカウント®, 宿主因子、微生物因子、唾液緩衝能、う蝕リスク評価</p>	<p>解答: d</p> <p>写真AはDentobuff-STRIP®で、唾液緩衝能を評価する。唾液緩衝能とは、唾液が口腔内のpHの変動に抵抗する能力のことであり、唾液を検体として宿主因子を評価するう蝕活動性試験である。緩衝能が高ければpHは予想されるほど低下せず、酸性の食品や炭水化物の摂取後もpHの低下は短時間しか続かないことを意味する。また、刺激唾液のほうが安静唾液より緩衝能は高いとされる。Dentobuff-STRIP®の結果では、緩衝能は青色が高、緑色は中、黄色は低と判定される。写真Bはミューカウント®で、唾液を用いてミュータンスレンサ球菌数を測定するう蝕活動性試験である。唾液を専用培地に接種後、37°Cで24時間培養し、ガラス管壁に付着したコロニー数でスコアリングする。コロニー数が多いほうがミュータンスレンサ球菌数が多い。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○ 緩衝能が低いと宿主因子としてのう蝕リスクが高く、細菌数も多いと微生物因子としてのう蝕リスクも高い。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 120、125 歯科衛生士のための齧蝕予防処置法 第2版 139</p>
<p>184 綿球塗布法によるフッ化物歯面塗布で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 5 mLのフッ化物溶液を使用する。</p> <p>b フッ化物塗布前の歯面清掃は必要ない。</p> <p>c 塗布後30分間はうがいや飲食は避けるように注意する。</p> <p>d フッ化物溶液を含ませた綿球で何回も歯面に塗りつける。</p> <p>▶keyword: フッ化物歯面塗布法、綿球塗布法</p>	<p>解答: c, d</p> <p>フッ化物歯面塗布法には、綿球・綿棒塗布法、トレー法、イオン導入法などがあり、使用するフッ化物製剤にも種類がある。塗布の手順と使用するフッ化物製剤の種類と特徴をよく理解する必要がある。</p> <p>a × 2 mL以下のフッ化物溶液を使用する。</p> <p>b × 歯面にフッ化物を十分に作用させるために、プラークを可及的に除去することが必要である。一般的にはラバーカップやポリッシングブラシで清掃する。</p> <p>c ○ 塗布後の注意事項として、塗布後30分間はうがいや飲食は避けるように指導する。</p> <p>d ○ フッ化物溶液を使用する場合は、3~4分間歯面が湿潤状態を保つように、溶液を何回も綿球に含ませながら歯面に塗りつける。ゲルの場合は繰り返し塗布する必要はない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 190-195</p>
<p>185 レジン系（Bis-GMA）材料を用いて小窩裂溝充填法を行う際に使用する器材・薬剤の写真（別冊 No.14）を別に示す。</p> <p>使用順序で正しいのはどれか。</p> <p>a ②→③→①→④</p> <p>b ④→③→①→②</p> <p>c ③→②→①→④</p> <p>d ②→④→③→①</p> <p>▶keyword: 小窩裂溝充填法</p>	<p>解答: c</p> <p>小窩裂溝充填法は、萌出直後の乳歯、永久歯を対象に、う蝕に罹患しやすい小窩裂溝を歯質を削らずに充填材で封鎖し、う蝕を予防する方法である。材料はレジン系のBis-GMAとセメント系のガラスイオノマーセメントがあり、重合型には、光重合型と化学重合型がある。写真の①は光重合器、②は小窩裂溝充填材、③は酸処理剤、④は咬合紙である。光重合型を使用した小窩裂溝充填法の手順は、ラバーダム防湿（酸処理が必要な場合）→歯面清掃→水洗→乾燥→酸処理（必要な場合）→水洗→乾燥→充填→照射→未重合部の除去→ラバーダム防湿の除去→咬合調整である。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ○</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-203</p>

問題 B		解答・解説	
186	<p>フッ化物洗口法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 対象年齢は4歳以上である。</p> <p>b 吐き出した洗口液は排水口に流してよい。</p> <p>c 実施当日はフッ化物配合歯磨剤の使用を控える。</p> <p>d 洗口用顆粒剤は毒薬扱いになるため厳重な管理が必要である。</p> <p>▶keyword: フッ化物洗口法、洗口用顆粒剤</p>	<p>解答: a、b</p> <p>フッ化物局所応用法の1つで、歯の表面にフッ素イオンを作用させ、歯質強化をはかる方法である。洗口ができる4歳以上を対象とすることから、永久歯を対象としたう蝕予防対策として効果的である。家庭で行う場合と、学校など集団で行う場合がある。また、毎日法と週1回法がある。</p> <p>a○ ぶくぶくうがいができる4歳以上を対象としている。</p> <p>b○</p> <p>c× フッ化物洗口と、フッ化物配合歯磨剤やフッ化物歯面塗布を併用しても問題はない。</p> <p>d× 調製前の洗口用顆粒剤は劇薬扱いとなる。洗口液の調製は、専門家または専門家の指導を受けた監督者や保護者が行う。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-200 最新歯科衛生士教本 小児歯科 134 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 170-171 ポイントチェック 第5版 ⑤ 53-54</p>	
187	<p>乳児の保護者にフッ化物配合歯磨剤の使用について説明することとなった。正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 使用量は子どもの切った爪程度の少量でよい。</p> <p>b うがいができないため残余物は軽く拭き取る。</p> <p>c 保護者が使用する歯磨剤を併用することを勧める。</p> <p>d 乳歯が完全に萌出するまで歯磨剤の使用は控える。</p> <p>▶keyword: フッ化物配合歯磨剤、フッ化物イオン濃度</p>	<p>解答: a、b</p> <p>日本で販売されている歯磨剤のうち、約90%はフッ化物配合歯磨剤である。う蝕予防率は30~40%程度で、乳幼児から高齢者まで、セルフケアとして実施できるフッ化物応用法である。フッ化物配合歯磨剤の使用を勧める際は、成長や発達に応じた使用量と使用方法を指導することが大切である。フッ素イオン濃度の上限は、2017年にそれまでの1,000 ppm (0.1%) から1,500 ppm (0.15%) に変更された。</p> <p>a○</p> <p>b○</p> <p>c× 市販のフッ化物配合歯磨剤は、多くが1,000~1,500 ppmのフッ素イオン濃度であるため、6歳未満には500 ppm または1,000 ppmの泡状歯磨剤を用いる。</p> <p>d× 乳歯が萌出したら、フッ化物配合歯磨剤の使用を開始する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 212-214 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 172-174 ポイントチェック 第5版 ⑤ 55</p>	
歯科保健指導論			
188	<p>65歳の男性。定期健康診査で来院した。澄たい飲み物を飲むと歯がしみると言っており、口腔内を観察すると歯肉に退縮がみられた。歯は1日に3回磨いているという。磨き方をみせせらうと歯ブラシを横に大きく動かしていた。</p> <p>客観的情報 (O データ) はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▶keyword: 主観的情報 (S データ)、客観的情報 (O データ)</p>	<p>解答: b、d</p> <p>情報の種類には、主観的情報 (S データ) と客観的情報 (O データ) の2つがある。主観的情報とは、たとえば既往歴や自覚症状、価値観といった、対象者が話したことや書いたことなど、対象者自身から発せられた情報である。客観的情報とは、たとえば視診や口腔内写真による所見、プロービング値など、専門家の観察によって得られた所見や検査データのことである。</p> <p>a× 本人の訴えで、S データである。</p> <p>b○ 歯肉の観察によって得られた所見である。</p> <p>c× 本人から聴取した生活習慣で、S データである。</p> <p>d○ ブラッシングの観察によって得られた所見である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 63-64 ポイントチェック 第5版 ⑤ 59</p>	

問題 B		解答・解説	
189	<p>地域保健活動でハイリスクアプローチに比べたポピュレーションアプローチの利点はどれか。</p> <p>a 実施効果が測りやすい。</p> <p>b 実施計画の立案が容易である。</p> <p>c 計画実施のための費用が少ない。</p> <p>d 地域全体に及ぼす効果が大きい。</p> <p>▶keyword: ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ</p>	<p>解答: d</p> <p>地域保健活動の方法は、その働きかけの対象設定の違いにより、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチに分けられる。ポピュレーションアプローチは広く地域住民全体に働きかける方法で、公衆衛生的効率を重視する。これに対してハイリスクアプローチは対象を病気に罹りやすい人に絞り込んだ予防方法である。例として、健康診査で検査数値の異常者に早期治療を行うなどがある。</p> <p>a× ポピュレーションアプローチではリスクの高い住民にも低い住民にも同じように働きかける。リスクの低い住民も含むため、効果は測りにくい。</p> <p>b× ポピュレーションアプローチには地域全体の問題点を把握することが必要であり、計画の立案段階での調査には費用や時間がかかる。</p> <p>c× 地域の人々を対象とするので、1人あたりの費用は少なく済む方法がとられるが、全体にかかるコストはハイリスクアプローチに比べて小さいとはいえない。</p> <p>d○ キャンペーン活動のように、広く地域全体にアプローチできる方法である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 5-6 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 237</p>	
190	<p>音波歯ブラシについて正しいのはどれか。</p> <p>a 毛先が回転する。</p> <p>b ストロークは必要である。</p> <p>c 不溶性グルカンを破壊する。</p> <p>d 振動数は毎分約3万回である。</p> <p>▶keyword: 音波歯ブラシ</p>	<p>解答: d</p> <p>音波歯ブラシは高速振動による音波エネルギーによってプラークを破壊する音波方式、微振動タイプの電動歯ブラシの1つである。</p> <p>a× 毛先が回転するのは、電動歯ブラシである。音波歯ブラシおよび超音波歯ブラシは毛先が微振動する。</p> <p>b× ストロークは不要である。歯面に毛先が触れる程度にあてながら少しずつ移動させて使用する。</p> <p>c× 音波歯ブラシはバイオフィルムを破壊するが、不溶性グルカンは破壊できない。超音波歯ブラシは不溶性グルカンを破壊する。</p> <p>d○ 音波歯ブラシの振動数は毎分約3万回である。電動歯ブラシは、毎分2,000~1万回の振動であり、超音波歯ブラシは120万~160万 Hzの振動である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 207-210 最新歯科衛生士教本 歯科機器 41-43</p>	
191	<p>洗口剤で除去できるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ペリクル</p> <p>b 食物残渣</p> <p>c プラーク</p> <p>d マテリアルバ</p> <p>▶keyword: 洗口剤、口腔内の付着物・沈着物</p>	<p>解答: b、d</p> <p>洗口剤は口中の浄化や口臭を防ぐために使用されるが、プラークなどの付着物を除去することはできない。</p> <p>a× エナメル質の保護膜であるが、一方でプラーク形成の足がかりともなる。洗口および通常の歯磨きでは除去できない。</p> <p>b○ いわゆる食べかすのことで、プラーク中の細菌の栄養源となる。洗口や唾液の自浄作用によって除去できる。</p> <p>c× ペリクル上に口腔細菌とその産生物が付着・増殖したものである。歯面に強固に付着し、洗口では取れないが、歯ブラシやデンタルフロスで除去できる。</p> <p>d○ 白質ともいい、剥離した上皮、白血球、細菌、唾液などを含んだ白色の軟らかい物質である。口腔内の特に不潔な箇所では認められることがあり、強い洗口やスプレー洗浄で除去できる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 21-25</p>	

問題 B		解答・解説						
198	<p>エネルギー産生栄養素バランス (%エネルギー) の目標量を図に示す。</p> <p>正しい組合せはどれか。</p> <p>① ② ③</p> <p>a 炭水化物 脂質 タンパク質 b 炭水化物 タンパク質 脂質 c 脂質 炭水化物 タンパク質 d 脂質 タンパク質 炭水化物</p> <p>▶keyword: エネルギー産生栄養素バランス、PFC 比</p>	<p>解答: b</p> <p>日本人の食事摂取基準 (2015) では、エネルギー産生栄養素バランス (%エネルギー) はタンパク質 13~20%、脂質 20~30%、炭水化物 50~65% を男女共通の目標量として定めている。</p> <p>a × b ○ ①が約55%を、②が約18%を、③が約27%をそれぞれ占めている。したがって、①が炭水化物、②がタンパク質、③が脂質である。 c × d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 131、214</p>						
199	<p>多糖とその構成単糖の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a イヌリン——果糖 b フルクタン——ブドウ糖 c ムタン——マンノース d セルロース——ガラクトース</p> <p>▶keyword: 多糖、セルロース、イヌリン、ムタン、フルクタン</p>	<p>解答: a</p> <p>単糖が多数結合したものを多糖 (多糖類) という。</p> <p>a ○ イヌリンは果糖 (フルクトース) が多数結合した多糖類の一種で、ユリ科やキク科の根茎に含まれる。 b × フルクタンは果糖 (フルクトース) が多数結合した水溶性の菌体外多糖である。 c × ムタンはブドウ糖 (グルコース) が多数結合した水に不溶性の菌体外多糖である。 d × セルロースはブドウ糖 (グルコース) が多数結合した多糖で、植物の細胞壁の主成分である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 94-96、141-142</p>						
200	<p>22歳の女性。食生活指導を行うこととなった。女性の主訴と食習慣およびBMIを表に示す。</p> <table border="1"> <tr> <td>主訴</td> <td>自分は太っているように感じる。もっと痩せたい。</td> </tr> <tr> <td>食習慣</td> <td>ダイエットのため、朝食は食べない。糖質制限を行っている。</td> </tr> <tr> <td>BMI</td> <td>17.5 kg/m²</td> </tr> </table> <p>指導内容で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 毎朝の朝食摂取 b 代用甘味料の利用法 c 肥満症に対する食事療法 d ダイエット行動の問題点</p> <p>▶keyword: 国民健康・栄養調査、食生活指導、BMI (体格指標)</p>	主訴	自分は太っているように感じる。もっと痩せたい。	食習慣	ダイエットのため、朝食は食べない。糖質制限を行っている。	BMI	17.5 kg/m ²	<p>解答: a、d</p> <p>設問の女性は、BMI (体格指標) が18.5未満で、「低体重」に該当するにもかかわらずさらに痩せたいと思っており、強い痩せ願望をもっていることがわかる。平成29年「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)の結果では、20歳代女性のやせの割合は21.7%である。「健康日本21 (第二次)」では、若年女性のやせは骨量減少、低出生体重児出産のリスクなどとの関連があることが示されている。適正体重のコントロールも食生活指導において重要である。</p> <p>a ○ 適正体重コントロールだけではなく、栄養不足にも繋がるため、朝食を摂ることは重要である。 b × すでにこの女性は糖質制限を行っているため、代用甘味料の指導は必要ない。 c × この女性は、BMIの値からやせ型ということがわかるため、肥満症についての指導は必要ない。 d ○ この女性は適正体重と理想体重との乖離がみられる。過度なダイエット行動によるリスクの説明、適正体重コントロールの指導が重要になる。BMI 18.5以上25未満が普通体重である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 182-184 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 84-85 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 279</p>
主訴	自分は太っているように感じる。もっと痩せたい。							
食習慣	ダイエットのため、朝食は食べない。糖質制限を行っている。							
BMI	17.5 kg/m ²							

問題 B		解答・解説
201	<p>妊娠期の食生活指導として適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 妊娠後期は葉酸をたくさん摂取しましょう。 b 妊娠後期は間食をうまくとり入れましょう。 c 妊娠初期はビタミンAをたくさん摂取しましょう。 d 本マグロやメカジキなどの魚は摂取量に気をつけましょう。</p> <p>▶keyword: 妊娠期、栄養、食生活</p>	<p>解答: b、d</p> <p>妊娠期では、妊娠期全般にわたり便秘予防、初期ではつわりや貧血対策、中・後期では肥満や妊娠高血圧症候群などの予防が必要である。特に妊娠初期は、胎児の器官形成に関わる時期であるため、妊婦の栄養管理に配慮することが重要である。</p> <p>a × 葉酸は造血に作用し、不足すると貧血が生じ、出生児の神経管閉鎖障害の発症リスクが高まる。よって、妊娠1か月以上前から3か月まで (妊娠初期) は葉酸を400μg/日摂取することが推奨される。 b ○ 妊娠後期は一度に多くの食事を摂れないことが多いので、食事の回数を増やしたり、間食を組み入れたりするとよい。 c × ビタミンAは、上皮細胞の器官の成長や分化に関わる。しかし、妊娠3か月以内に過剰摂取した場合、胎児の催奇形性を有することがあるため、耐容上限量が2,700μgRE/日と設定されている。よって、「たくさん摂取」という文言は誤解を招くため適切ではない。 d ○ 胎児の神経系の器官形成のためには、多価不飽和脂肪酸であるn-3系脂肪酸が多い魚介類の摂取が必要である。しかし、本マグロやメカジキ、キンメダイ、一部のクジラ類などはメチル水銀の含有濃度が高いため、感受性の高い胎児が体内にいる妊婦は摂取量に注意しなければいけない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 242-247 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 197-198</p>
202	<p>食物温度と嚥下反射の関係を図に示す。</p> <p>この図をもとにした嚥下を改善するための指導内容として適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 冷たいものは冷たいまま食べましょう。 b なるべく室温に近い状態で食べましょう。 c 鍋物は温度を感じない程度まで冷まして食べましょう。 d 作り置きしたものは電子レンジで温めて食べましょう。</p> <p>▶keyword: 温度感覚刺激</p>	<p>解答: a、d</p> <p>高齢者の嚥下機能は障害されていても温度刺激により改善されることが知られている。つまり、室温のものよりも熱いものや冷たいもののほうが食物を意識するので、不注意な誤嚥を防ぐことができる。食物の温度と嚥下反射の関係は図のようにベル形となり、常温の食物よりも冷たいもの、熱いもののほうがすばやく嚥下反射が起こることがわかる。このことは、嚥下の改善のために、温度に変化をつけた食事を出すことの重要性を示している。</p> <p>a ○ 食物の温度が体温付近よりも低くなると嚥下反射の潜時 (嚥下反射が起こるまでの時間) が短縮していることから、冷たいものは冷たいままのほうが嚥下を改善 (誘発) するといえる。 b × 食物の温度が体温付近 (30~40°C) において最も嚥下反射が遅延している。室温での食事は口の中であつという間に体温となり、食物が一番むせやすい温度となる。 c × 食物の温度が体温付近よりも高くなると嚥下反射の潜時が短縮していることから、高齢者の食事は熱いもののほうが嚥下を改善 (誘発) するといえる。熱いものは、温度を下げすぎるとむせを喚起する可能性があるため、温かいまままで食べるのが望ましい。 d ○ なるべく食べる直前に調理して出来たてを食べること、作り置きは電子レンジなどで直前に温めることで、嚥下の改善が期待される。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 182 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 94-95</p>

問題B	解答・解説
<p>203 摂食嚥下機能訓練のうち間接訓練はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咳嗽訓練 b 捕食訓練 c シャキア法 d ペーシング訓練</p> <p>▶keyword: 間接訓練、直接訓練</p>	<p>解答: a, c</p> <p>摂食嚥下障害に対する訓練には、飲食物を使わない間接訓練と、飲食物を使用した実際の食卓場面で行う直接訓練がある。</p> <p>a○ 間接訓練である。咽頭貯留・残留物や喉頭侵入物、誤嚥物の排出に必要な筋力を訓練するために、できるだけ深く吸気を行わせてから強い咳をさせる。</p> <p>b× 口唇を用いて食器上上の食物を摂り込む直接訓練である。</p> <p>c○ 間接訓練である。頭部挙上訓練のことで、舌骨上筋群を強化して舌骨・喉頭の前上方運動を改善させ、食道入口部を開大する。また、食道入口部の残留を少なくする効果もある。</p> <p>d× 食物を適切なスピードや一口量で口へ取り込むことができるよう声かけや介助を行う直接訓練である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 175-179 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 139-163</p>
<p>204 75歳の女性。最近食べ物が飲み込みづらく、よくむせるという。歯科医師から口腔機能のスクリーニングとして反復唾液嚥下テスト(RSST)の指示があった。</p> <p>検査方法と評価で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 30秒間で行う。 b 唾液の嚥下回数を評価する。 c 喉頭隆起の動きを目で確認する。 d 3回以下で嚥下障害の可能性ありとする。</p> <p>▶keyword: スクリーニング検査、RSST</p>	<p>解答: a, b</p> <p>摂食嚥下障害が疑われる対象者に精密検査が必要かどうかの判断のため、スクリーニングテストを行う。スクリーニングテストには反復唾液嚥下テスト(RSST)の他に、改訂水飲みテスト(MWST)、段階的フードテスト(FT)などがある。</p> <p>a○ この検査は30秒間で行う。</p> <p>b○ 30秒間に何回唾液を空嚥下できるかを調べる。</p> <p>c× 第2、3指の指腹を当てて、甲状軟骨の突起部喉頭隆起および舌骨部の動きを触知する。</p> <p>d× 30秒間に3回未満で嚥下障害の可能性が高いと評価する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 166 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 124</p>
<p>205 母子健康手帳の保護者の記録【1歳6か月の頃】に記載されているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 2語文などを言いますか。 b 哺乳ビンを使っていますか。 c いつも指しゃぶりをしていますか。 d 歯の仕上げみがきをしてあげていますか。</p> <p>▶keyword: 母子健康手帳、1歳6か月児健康診査</p>	<p>解答: b, d</p> <p>1歳6か月児健康診査には歯科健診が含まれている。この時期に保護者が適切な口腔清掃方法やう蝕予防法を知り、習慣化できるよう働きかけることが大切である。</p> <p>a× 2語文(ワンワンきた、マンマちょうだいなど)を話すようになるのは2歳頃である。</p> <p>b○ 含糖飲料を哺乳ビンに入れて飲ませることにより、哺乳ビンう蝕(ボトルカリエス)発生のリスクが高まる。</p> <p>c× 「いつも指しゃぶりをしていますか」は【3歳の頃】の記載事項である。</p> <p>d○ 乳歯が萌出したら歯ブラシに慣れる練習を始め、乳歯が生えてくる1歳6か月頃までには、仕上げみがきを習慣化するように指導する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 257</p>

問題B	解答・解説										
歯科診療補助論											
<p>206 滅菌法の特徴を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1468 260 1824 473"> <thead> <tr> <th>滅菌温度</th> <th>滅菌時間</th> <th>毒性</th> <th>環境汚染</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45°C</td> <td>75分</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>歯科用器材 過酸化水素を吸収する繊維製品、液体を除いて広く適用</td> </tr> </tbody> </table> <p>この滅菌法はどれか。</p> <p>a EOG滅菌 b 高圧蒸気滅菌 c 低温プラズマ滅菌 d 低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌</p> <p>▶keyword: 高圧蒸気滅菌、EOG滅菌、低温プラズマ滅菌、低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌</p>	滅菌温度	滅菌時間	毒性	環境汚染	適用	45°C	75分	なし	なし	歯科用器材 過酸化水素を吸収する繊維製品、液体を除いて広く適用	<p>解答: c</p> <p>対象物により滅菌法を選択する。その際、対象物への影響を極力少なくする方法、すなわち器材の形状と機能を変化させない方法を選択する。さらに、環境汚染にも考慮する必要がある。</p> <p>a× EOG(エチレンオキシドガス)滅菌は、滅菌温度40~60°C、滅菌時間2~24時間である。残留毒性があるため、エアレーション(空気置換)が必要である。適応は、金属製器材、プラスチック製品、ガラス製品である。</p> <p>b× 高圧蒸気滅菌は、滅菌温度121~134°C、滅菌時間10~50分である。残留毒性がなく、低コストで使用できる。適応は、ほとんどすべての金属製器材、リネン類、ガーゼ、ガラス製品、耐熱性のあるプラスチック製品などである。</p> <p>c○ 低温プラズマ滅菌は、高真空の状態で過酸化水素を噴霧し、高周波エネルギーを与えることで過酸化水素プラズマの状態を作って滅菌する方法である。滅菌温度・湿度が低く、耐熱性でないものも滅菌できる。残留毒性はないが、過酸化水素がセルロース類に吸着しやすいので繊維製品や紙などには使用できない。</p> <p>d× 低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌は、ホルムアルデヒドガスによる滅菌法である。滅菌温度50~80°C、滅菌時間は約4時間である。ホルムアルデヒドガスは毒性をもつが滅菌後、アルカリ蒸気により無毒化される。適応は歯科用器材であり、リネン、ガーゼ類は適さない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 32-36 最新歯科衛生士教本 歯科機器 23-25</p>
滅菌温度	滅菌時間	毒性	環境汚染	適用							
45°C	75分	なし	なし	歯科用器材 過酸化水素を吸収する繊維製品、液体を除いて広く適用							
<p>207 局所麻酔後の処理の様子の写真(別冊No.15)を別に示す。</p> <p>スタンダードプレコーションで推奨されている処理方法はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 局所麻酔、針刺し事故</p>	<p>解答: b</p> <p>スタンダードプレコーション(標準予防策)の考え方としては、局所麻酔使用後は、リキャップ時の針刺し事故による感染を防ぐため、原則としてリキャップを行わない処理方法を推奨している。リキャップせずに処理するためには、針捨てボックスに直接廃棄をしなければならない。</p> <p>a× ①は片手によるすくい取りリキャップである。やむを得ず使用中あるいは使用後にリキャップをしなければならない場合に行われる。</p> <p>b○</p> <p>c× ③はピンセットによるリキャップである。やむを得ず使用中あるいは使用後にリキャップをしなければならない場合に行われる。</p> <p>d× ④は両手によるリキャップである。針刺し事故対策としては不適切である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 226-227 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 19</p>										

問題 B	解答・解説
<p>208 オフィスブリーチ法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a カスタムトレーを製作する。 b 漂白剤は根管内に貼付する。 c プロテクトレジンで歯肉を保護する。 d 主成分が30～35%過酸化水素水の漂白剤を使用する。</p> <p>▶keyword: ホワイトニング、オフィスブリーチ法</p>	<p>解答: c、d</p> <p>ホワイトニングの方法には、失活歯に適用するウォーキングブリーチ法と、生活歯に適用するオフィスブリーチ法およびホームブリーチ法がある。オフィスブリーチ法は、歯科医院において1回から数回で行われる漂白法であり、過酸化水素水をエナメル質面に塗布し、光または熱刺激を与えて反応を促進させる。</p> <p>a × ホームブリーチ法である。印象採得により患者の歯列に合わせたカスタムトレーを製作し、患者自身が自宅でトレーに10～20%過酸化尿素を主成分とした漂白剤を填入して装着する。</p> <p>b × ウォーキングブリーチ法である。根管充填がなされた失活歯に対して、30～35%過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを混和したペーストを根管内に貼付する。</p> <p>c ○ オフィスブリーチ法である。漂白剤が周囲の歯肉に付着しないように、ラバーダムや歯肉保護材（プロテクトレジン）で歯肉を保護する。</p> <p>d ○ オフィスブリーチ法である。30～35%過酸化水素水を主成分とした漂白剤をエナメル質の表面に塗布する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 217-221 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 121-124 最新歯科衛生士教本 歯科材料 155-156</p>
<p>209 歯周バック装着時の操作方法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯間部に歯周バックを圧接する。 b 均一の色調になるまで手指で練和する。 c 前歯では歯の切端まで覆うように装着する。 d 歯肉歯槽粘膜境にかからないように注意する。</p> <p>▶keyword: 歯周外科治療、歯周バック、使用方法</p>	<p>解答: a、d</p> <p>a ○ 歯間部に歯周バックを圧接し形態を整える。その操作時間は練和後10～15分で、最終硬化は約20分である。</p> <p>b × 練和はスパチュラと練板を用いて30～45秒で行う。手指で行うのは練和後の成形で成形後創部に貼付する。</p> <p>c × 咬合面や前歯の切端などの咀嚼に関与する部分に歯周バックがかかると脱落の原因になるので注意する。</p> <p>d ○ 歯肉歯槽粘膜境や小帯などの可動部に歯周バックがかかると脱落の原因になるので注意する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 188-189</p>
<p>210 ブリッジの装着時に準備する器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬合紙 b 平行測定器 c コンタクトゲージ d テンポラリーセメント</p> <p>▶keyword: ブリッジの装着</p>	<p>解答: a、c</p> <p>ブリッジの装着時には、形態修正のための咬合紙、切削器具、適合試験材、コンタクトゲージ、デンタルフロスなどを準備する。</p> <p>a ○ 咬合紙は、対合歯列との咬合状態を印記し、咬合調整を行うために使用する。</p> <p>b × 平行測定器は、ブリッジの支台歯形成時などに支台歯の平行性を検査するために使用する。</p> <p>c ○ コンタクトゲージは隣接面の接触強さを測るのに用いる。</p> <p>d × 装着時は、着合材や接着材を準備する。テンポラリーセメントは仮着や暫間充填に用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 147、157-158 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 144-148 最新歯科衛生士教本 歯科機器 120 ポイントチェック 第5版 ⑤ 208-209</p>

問題 B	解答・解説
<p>211 78歳の女性。上顎全部床義歯を初めて装着した。3日後、上顎左側臼歯部付近の顎堤の痛みを訴え来院した。</p> <p>義歯の調整に必要な材料はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬合床 b パラフィンワックス c シリコン適合試験材 d プレッシャーインジケータペースト</p> <p>▶keyword: 適合試験材</p>	<p>解答: c、d</p> <p>義歯装着後に患者が痛みを訴える場合、義歯床粘膜面の適合不良により、義歯の一部が粘膜に強くあたってしまったことが考えられる。この場合、シリコン適合試験材、プレッシャーインジケータペースト（PIP）、スポットインジケータなどを使用した適合試験が必要となる。また、咬合時の義歯の動きによる痛みも考えられ、その場合は咬合調整を行う。咬合調整を行う場合は、咬合紙、咬合紙ホルダー、切削器具などを準備する。</p> <p>a × 咬合床は咬合採得に用いる。</p> <p>b × パラフィンワックスは義歯の仮床や咬合堤、ろう義歯製作のほか、咬合採得に用いる。</p> <p>c ○ 義歯床など補綴・修復物の適合状態をチェックするために用いる。</p> <p>d ○ 義歯床に塗布し、口腔粘膜面との適合異常を検出するのに用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 173 最新歯科衛生士教本 歯科材料 130-131</p>
<p>212 口腔外科用器具とその用途の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 持針器——縫合 b エレベーター——骨膜下剥離 c 鋭匙——膿瘍の穿刺 d 破骨鉗子——歯槽骨縁の整形</p> <p>▶keyword: 口腔外科処置、口腔外科用器具</p>	<p>解答: a、d</p> <p>a ○ 持針器は先端に縫合針を挟んで固定し、粘膜や皮膚、筋肉や結合組織の縫合処置に使用される鉗子状の器具である。マチウ式、ヘガール式が一般に用いられる。両者とも、把柄部を握ると“カチッ”と音がして固定され、さらに“カチッカチッ”と2回握ると固定が解除され、縫合針を着脱することができる。</p> <p>b × エレベーターは、ヘーベルあるいは抜歯鉗子ともよばれる抜歯器具である。環状靭帯（歯周靭帯）をメスで切離したあと、エレベーターの先端（喙部）を歯頸部の歯根膜内に挿入し歯根に力を加えて、くさび作用、回転作用、てこ作用により歯根膜靭帯を断裂させ、歯を脱臼させる。骨膜下剥離に用いられるのは骨膜剥離子である。</p> <p>c × 鋭匙の先端は鋭利なスプーン状になっており、部位や用途に応じて大きさと形に種々のものがある。歯科では抜歯窩の搔爬や歯周外科手術の際に、不良肉芽組織および歯石などの異物除去に使用される。膿瘍穿刺は切開排膿処置の前に膿汁の貯留を確認する方法で、18ゲージの注射針が使用される。</p> <p>d ○ 破骨鉗子は先端が鋭利な刃になっている鉗子で、骨鋭縁の除去や骨瘤の除去、骨片の把持などのほか、分割された埋伏歯冠の摘出などに使用される。抜歯鉗子と同様に上顎用と下顎用があり、嚙部と関節部の間が上顎用は2か所で、下顎用は1か所で屈曲している。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 138-147 最新歯科衛生士教本 歯科機器 133-147 ポイントチェック 第5版 ④ 19-20</p>

問題 B	解答・解説
<p>213 40歳の女性。病院で乳がんの外科治療を終え定期健診で歯科医院に来院した。今後は外来での化学療法を行うとのこと。この患者への指導で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a プラークコントロールの重要性を説明する。</p> <p>b 次回は化学療法終了後に来院するよう勧める。</p> <p>c 口腔に起こりうる有害事象への対応を指導する。</p> <p>d 乳がんの治療の進め方について詳細な知識を伝達する。</p> <p>▶keyword: 周術期の口腔機能管理、悪性腫瘍、有害事象</p>	<p>解答: a、c</p> <p>悪性腫瘍(がん)の種類により多種多様な治療法があり、そのうちの化学療法と放射線治療では、さまざまな有害事象(副作用)が口腔にも現れる。これから化学療法を行うことになっている場合、重要なのは起こりうる口腔粘膜炎や顎骨壊死などについての知識を伝えて、症状の予防または軽減を図ることである。そのためには、現在の口腔内環境を整え、また口腔内トラブルが起こった場合の対処法を事前に指導することが必要である。</p> <p>a○ 口腔粘膜炎や免疫力低下による菌性感染症については、プラークコントロールによって予防または軽減できることを説明する。</p> <p>b× 化学療法中にも口腔内トラブルは起こりうる。化学療法前、化学療法中、化学療法後の一連の期間を通じて、各場面の状態をみながら対応する必要がある。</p> <p>c○ 口腔粘膜炎や口腔乾燥に対応するための指導である。</p> <p>d× すでに病院で治療を受けていることから、治療法に関する詳細は医科の担当医が行っていると考えられる。ただし、特に口腔に関わる質問を患者から受けた場合は、適切に回答できるようにしておく必要がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 286-291 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 50-53 健康寿命の延伸をめざした 口腔機能への気づきと支援 149-154</p>
<p>214 器具の写真(別冊 No. 16)を別に示す。リガチャーワイヤーの結紮に使用するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▶keyword: 結紮のための器具</p>	<p>解答: b、c</p> <p>結紮は結紮線(リガチャーワイヤー)を用いる場合とエラストックを用いる場合がある。</p> <p>a× ①はヤングプライヤーである。比較的太いワイヤーを屈曲するためのプライヤーで、舌側弧線装置の補助弾線やクラスプの屈曲、調整に用いる。</p> <p>b○ ②はハウプライヤーである。ワイヤーの適合・着脱、リガチャーワイヤーの結紮などに用いる。</p> <p>c○ ③はリガチャータイピングプライヤーである。リガチャーワイヤーの結紮に用いる。</p> <p>d× ④はディスタルエンドカッターである。パッカルチューブの遠心端から突き出たアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するのに用いる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 179 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 128-131 最新歯科衛生士教本 歯科機器 159-166</p>

問題 B	解答・解説
<p>215 器具の写真(別冊 No. 17A)とその先端の写真(別冊 No. 17B)を別に示す。この器具を使用する処置はどれか。</p> <p>a 防湿</p> <p>b 止血</p> <p>c 結紮</p> <p>d 歯間分離</p> <p>▶keyword: 歯間分離用器具</p>	<p>解答: d</p> <p>矯正歯科治療において、バンドを装着するための空隙をつくるセパレーション(歯間分離)には、エラストックセパレーターを数日間、歯と歯の間に装着しておく必要がある。写真の器具はエラストックセパレーティングプライヤーであり、エラストックセパレーターを引き延ばして歯間に挿入するために用いる。エラストックセパレーティングプライヤーは、ピーク(先端)にエラストックセパレーターをかけるへこみがある。エラストックセパレーターをかけ、軽く引き伸ばした状態で歯間に挿入する。</p> <p>a×</p> <p>b×</p> <p>c×</p> <p>d○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 175-180 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 128-131、136-137、139-141 最新歯科衛生士教本 歯科機器 152、163-165</p>
<p>216 21歳の女性。装着している装置の写真(別冊 No. 18)を別に示す。指導内容で適切なのはどれか。</p> <p>a 食事の際は外す。</p> <p>b 装着したままブラッシングを行う。</p> <p>c レジン部分は歯磨剤をつけた歯ブラシで磨く。</p> <p>d 適合が悪くなった際は患者自身でワイヤー部分を調整する。</p> <p>▶keyword: リテーナー、矯正装置</p>	<p>解答: a</p> <p>写真の装置は可撤式保定装置の一種であるラップアラウンドリテーナーである。可撤式であるため着脱や管理は患者自身で行うが、不具合のある場合には受診が必要である。装置の特徴に合わせた指導を行う。</p> <p>a○ 原則24時間の装着が必要であるが、食事の際は外す。</p> <p>b× 必ず口腔内から外して清掃する。</p> <p>c× 研磨成分でレジンが削れるため、歯磨剤は使用しない。</p> <p>d× ワイヤ部分の調整は歯科医師が行うため、患者が勝手に行わないよう指導する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 77-78、164</p>
<p>217 10歳の男児。歯科治療中にてんかん発作を起こした。歯科衛生士として正しい対応はどれか。</p> <p>a 周囲の安全確保を行う。</p> <p>b ただちに救急車をよぶ。</p> <p>c 口腔内に開口器を入れる。</p> <p>d 抑制剤を用いて体を抑制する。</p> <p>▶keyword: てんかん、患者対応</p>	<p>解答: a</p> <p>てんかんとは、さまざまな原因で生じる慢性的な脳疾患で、大脳ニューロンの過剰な発射に由来する反復性の発作(てんかん発作)を主徴とし、多様な臨床および検査所見を伴うと定義されている。通常、発作は数分以内で止むため、周囲の安全を確保して経過を観察する。</p> <p>a○</p> <p>b× 意識が戻らず次の発作が起きた場合や、5~10分以上継続するような発作の場合には救急治療が必要であるが、ほとんどの発作は数分以内に止まるため、すぐに救急車をよぶ必要はない。</p> <p>c× 舌を咬まないように口腔内に器具や割りばしなどを入れると、歯の外傷や軟組織の外傷を引き起こすことがあるため、開口器を入れる必要はない。歯科治療中であれば、口腔内から器具などを除去し、気道の閉鎖を防ぐことを優先する。</p> <p>d× 発作が起きた際には周囲の安全確保を行うが、体をゆすったり、抑制したりせず様子を見守る。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 44</p>

問題 B	解答・解説
<p>218 高齢者の認知機能を評価するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a BDR b MMSE c NM スケール d IADL スケール</p> <p>▶keyword: 認知機能の評価</p>	<p>解答: b、c</p> <p>高齢者の認知機能を評価する方法は、質問式（テスト法）と観察式（行動観察法）がある。質問式には HDS-R（改訂長谷川式簡易知能評価スケール）や MMSE、観察式には NM スケールや CDR（臨床的認知症尺度）などがある。</p> <p>a × BDR は日常生活動作における口腔清掃の自立度を評価したものである。歯磨き（Brushing）、義歯装着（Denture wearing）、うがい（Mouth rinsing）の3項目を自立、一部介助、全介助の3段階で評価する。</p> <p>b ○ MMSE（Mini Mental State Examination）は認知機能を評価する方法であり、知的機能を評価する「見当識（時間・場所）」「短期記憶」「計算・注意力」などの11項目で構成されている。「図形模写（構成能力）」などのように動作を伴う点が HDS-R と異なる。合計最高点数は30点で、23点以下を認知症の疑いありと判定する。</p> <p>c ○ NM スケール（N式老年者用精神状態尺度）は認知機能を評価する観察式スケールである。「家事・身辺整理」「関心・意欲・交流」「会話」「記銘・記憶」「見当識」の5項目について7段階で評価する。認知症の程度（重症度）を判定することもできる。</p> <p>d × IADL スケールは手段的日常生活動作を評価する方法である。電話の使用、買い物、食事の支度、家屋維持、洗濯、外出時の移動、服薬、家計管理の8項目で構成されており、点数が高いほど IADL が自立していることを意味する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 76-86 ポイントチェック 第5版 ⑤ 231-233</p>
<p>219 反復唾液嚥下テストについて [] に入る語句の組合せで正しいのはどれか。意思の疎通が [①] な対象者に行うことができる。 [②] で喉頭挙上の動きを確認し、 [③] に連続して行われる唾液の嚥下回数を数える。 [④] 未満であれば摂食嚥下障害の可能性が高い。</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>a 可能 視診 30秒間 5回 b 困難 視診 60秒間 5回 c 可能 触診 30秒間 3回 d 困難 触診 60秒間 3回</p> <p>▶keyword: 嚥下機能評価、反復唾液嚥下テスト、RSST</p>	<p>解答: c</p> <p>摂食嚥下機能に関わるスクリーニング検査の1つとして、反復唾液嚥下テスト（RSST: Repetitive saliva swallowing test）があげられる。反復唾液嚥下テストは随意的な嚥下反射惹起性を評価するため、意思の疎通が可能な対象者に行う。まず、甲状軟骨を挟むように指を軽く添えて、喉頭挙上を触診する。30秒間に唾液を連続して嚥下するように指示し、嚥下回数を数える。30秒間での嚥下回数が3回未満だった場合、摂食嚥下障害ありと判定する。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 166 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 124</p>

問題 B	解答・解説
<p>220 検査装置の写真（別冊 No. 19）を別に示す。この装置について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 脈拍数の測定ができる。 b 激しい体動がないときに使用する。 c 静脈血中の酸素飽和度を測定できる。 d 発光部が指の腹側になるようにプローブを装着する。</p> <p>▶keyword: 経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO₂)</p>	<p>解答: a、b</p> <p>写真はパルスオキシメータである。経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO₂) と脈拍数を測定できる。SpO₂ は健康成人では97~98%であるが、高齢者では95%程度を示す人もいる。90%以下は低酸素症を意味し、チアノーゼ（全身の皮膚が暗紫色になる状態）の危険性がある。</p> <p>a ○ 動脈血の測定データから SpO₂ と脈拍数が計算され表示される。 b ○ 測定の誤差をできるだけ少なくするために、激しい体動のないときに使用し、周囲の明るさが極度に強い場合は避ける。 c × 動脈血中の酸素飽和度を測定する。 d × 発光部が爪側、受光部が指の腹側になるようにプローブを装着する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 81 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 179-180 最新歯科衛生士教本 臨床検査 22-23 最新歯科衛生士教本 歯科機器 55</p>

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生化学	3	問 5	問 114~115
生理学	6	問 6~8	問 116~118
病理学	5	問 9~11	問 119~120
微生物学	5	問 12~13	問 121~123
薬理学	5	問 14~16	問 124~125
口腔衛生学	15	問 17~23	問 126~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 24~31	問 134~141
歯科衛生士概論	7	問 32~35	問 142~144
臨床歯科総論	4	問 36~37	問 145~146
保存修復学	5	問 38~39	問 147~149
歯内療法学	5	問 40~42	問 150~151
歯周治療学	5	問 43~44	問 152~154
歯科補綴学	7	問 45~48	問 155~157
口腔外科学	7	問 49~51	問 158~161
歯科矯正学	7	問 52~55	問 162~164
小児歯科学	5	問 56~57	問 165~167
高齢者歯科学	5	問 58~60	問 168~169
障害児者歯科学	5	問 61~62	問 170~172
歯科予防処置	30	問 63~77	問 173~187
歯科保健指導	36	問 78~95	問 188~205
歯科診療補助	30	問 96~110	問 206~220
計	220		

(出題数は当社予測による)